

第 部 調 査 の 結 果

保護者を対象とする調査の結果

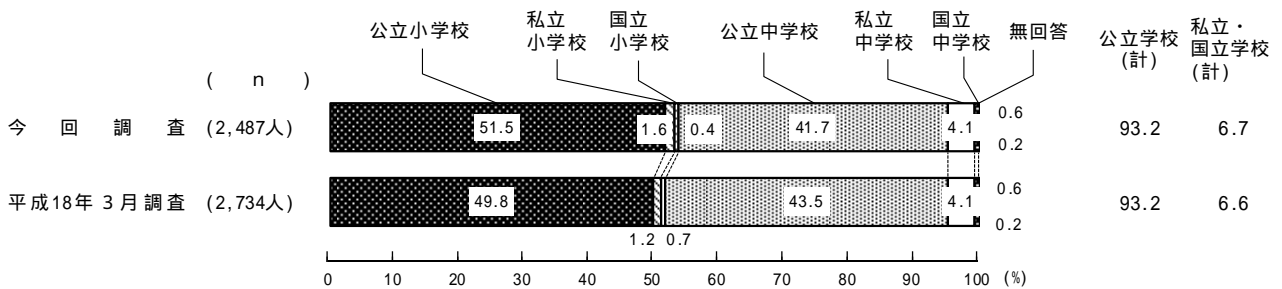
第2章 保護者を対象とする調査の結果

第1節 教育としつけ

1 学校の種類

F 11 さんの通っている学校は、公立ですか。私立ですか。

図 - 2 - 1 - 1 学校の種類



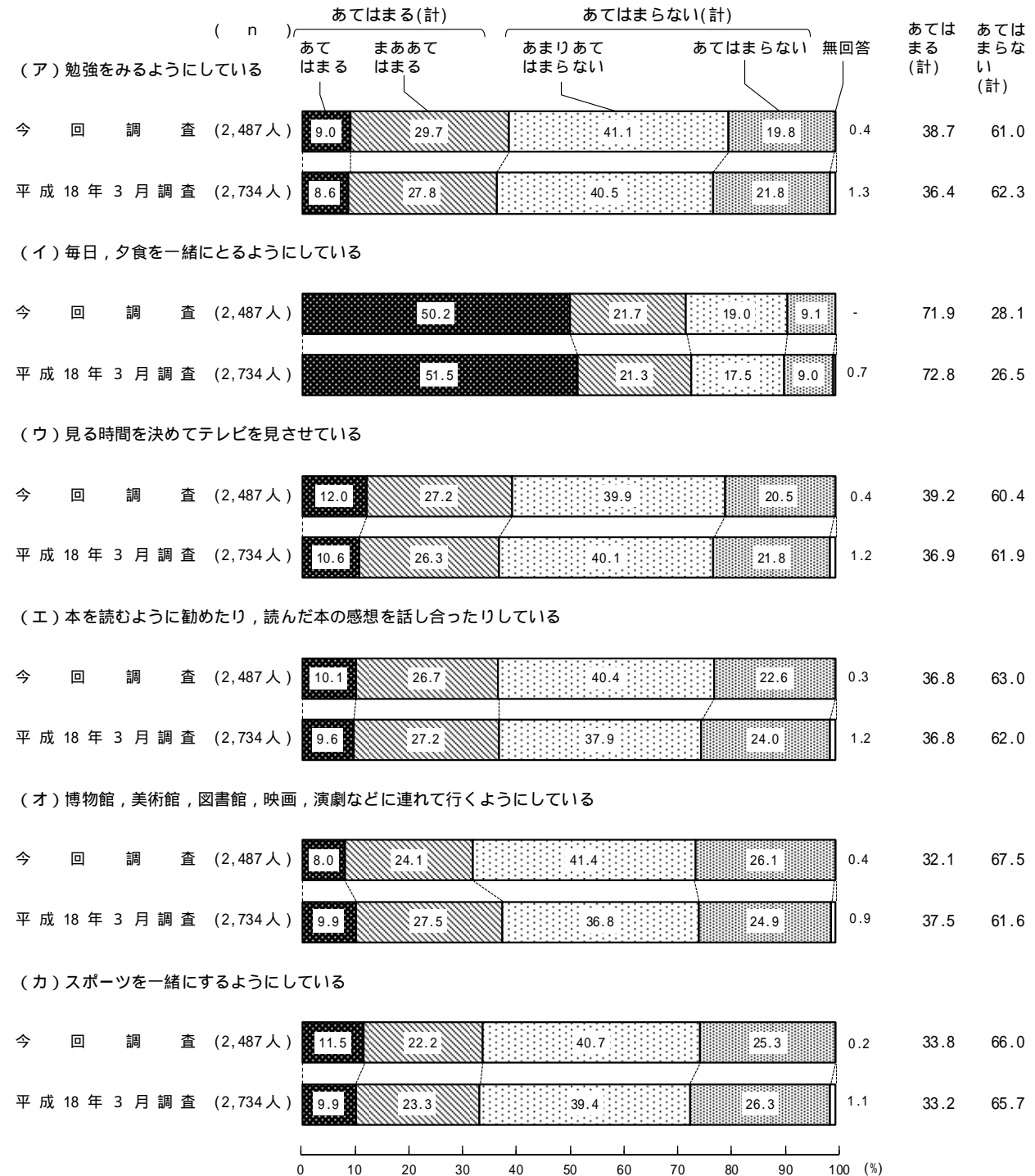
調査の対象となった子供の通っている学校の種類を聞いたところ、「小学校（公立，私立，国立）」と答えた者の割合が 53.5% ，「中学校（公立，私立，国立）」と答えた者の割合が 46.4% となっている。

また、「公立学校（計）」と答えた者の割合が 93.2% ，「私立・国立学校（計）」と答えた者の割合が 6.7% となっている。（図 - 2 - 1 - 1）

2 教育やしつけ

問1 お子さんの教育やしつけについて、あなたが心がけていることをうかがいます。次にあげることがらは、あなたにどの程度、あてはまりますか。(ア)から(シ)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

図 - 2 - 1 - 2 教育やしつけ(ア~カ)



< (ア) 勉強をみるようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が38.7%(「あてはまる」(9.0%)+「まああてはまる」(29.7%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が61.0%(「あまりあてはまらない」(41.1%)+「あてはまらない」(19.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 ア~カ)

< (イ) 毎日、夕食を一緒にとるようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が71.9%(「あてはまる」(50.2%)+「まああてはまる」(21.7%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が28.1%(「あまりあてはまらない」(19.0%)+「あてはまらない」(9.1%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 ア~カ)

< (ウ) 見る時間を決めてテレビを見させている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が39.2%(「あてはまる」(12.0%)+「まああてはまる」(27.2%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が60.4%(「あまりあてはまらない」(39.9%)+「あてはまらない」(20.5%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 ア~カ)

< (エ) 本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が36.8%(「あてはまる」(10.1%)+「まああてはまる」(26.7%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が63.0%(「あまりあてはまらない」(40.4%)+「あてはまらない」(22.6%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 ア~カ)

< (オ) 博物館、美術館、図書館、映画、演劇などに連れて行くようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が32.1%(「あてはまる」(8.0%)+「まああてはまる」(24.1%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が67.5%(「あまりあてはまらない」(41.4%)+「あてはまらない」(26.1%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合が低下(37.5%→32.1%)し、「あてはまらない(計)」とする者の割合が上昇(61.6%→67.5%)している。

(図 -2-1-2 ア~カ)

< (カ) スポ - ツを一緒にするようにしている >

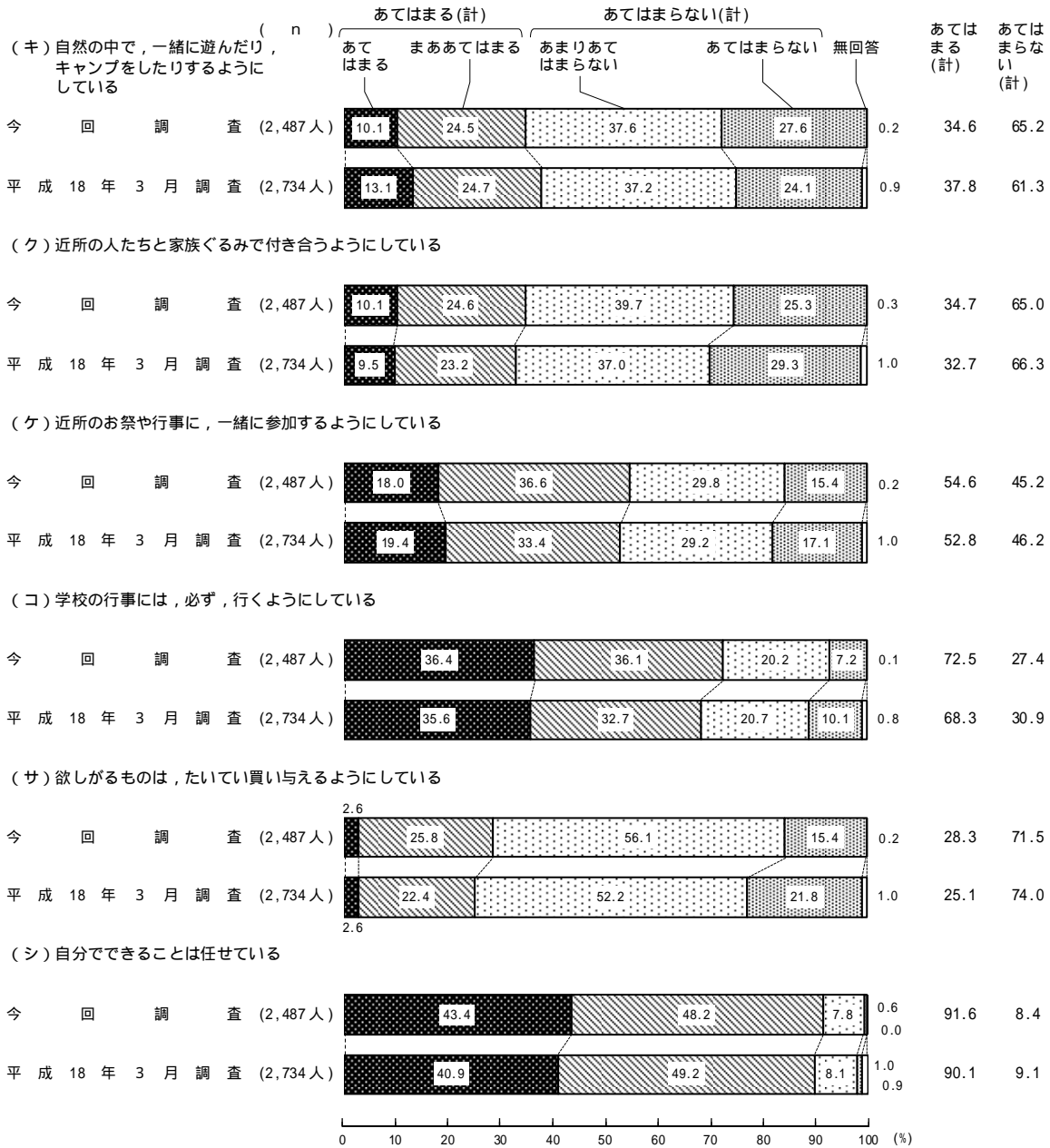
「あてはまる(計)」とする者の割合が33.8%(「あてはまる」(11.5%)+「まああてはまる」(22.2%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が66.0%(「あまりあてはまらない」(40.7%)+「あてはまらない」(25.3%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 ア~カ)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

問1 お子さんの教育やしつけについて、あなたが心がけていることをうかがいます。次にあげることがらは、あなたにどの程度、あてはまりますか。(ア)から(シ)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

図 - 2 - 1 - 2 教育やしつけ(キ~シ)



< (キ) 自然の中で、一緒に遊んだり、キャンプをしたりしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が34.6%(「あてはまる」(10.1%) + 「まああてはまる」(24.5%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が65.2%(「あまりあてはまらない」(37.6%) + 「あてはまらない」(27.6%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合が低下(37.8% 34.6%)し、「あてはまらない(計)」とする者の割合が上昇(61.3% 65.2%)している。

(図 - 2 - 1 - 2 キ~シ)

< (ク) 近所の人たちと家族ぐるみで付き合いようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が34.7%(「あてはまる」(10.1%)+「まああてはまる」(24.6%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が65.0%(「あまりあてはまらない」(39.7%)+「あてはまらない」(25.3%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合と、「あてはまらない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 キ~シ)

< (ケ) 近所のお祭や行事に、一緒に参加するようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が54.6%(「あてはまる」(18.0%)+「まああてはまる」(36.6%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が45.2%(「あまりあてはまらない」(29.8%)+「あてはまらない」(15.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合と、「あてはまらない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 キ~シ)

< (コ) 学校の行事には、必ず、行くようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が72.5%(「あてはまる」(36.4%)+「まああてはまる」(36.1%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が27.4%(「あまりあてはまらない」(20.2%)+「あてはまらない」(7.2%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合が上昇(68.3%→72.5%)し、「あてはまらない(計)」とする者の割合が低下(30.9%→27.4%)している

(図 -2-1-2 キ~シ)

< (サ) 欲しがるものは、たいてい買い与えるようにしている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が28.3%(「あてはまる」(2.6%)+「まああてはまる」(25.8%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が71.5%(「あまりあてはまらない」(56.1%)+「あてはまらない」(15.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「あてはまる(計)」とする者の割合が上昇(25.1%→28.3%)し、「あてはまらない(計)」とする者の割合が低下(74.0%→71.5%)している。

(図 -2-1-2 キ~シ)

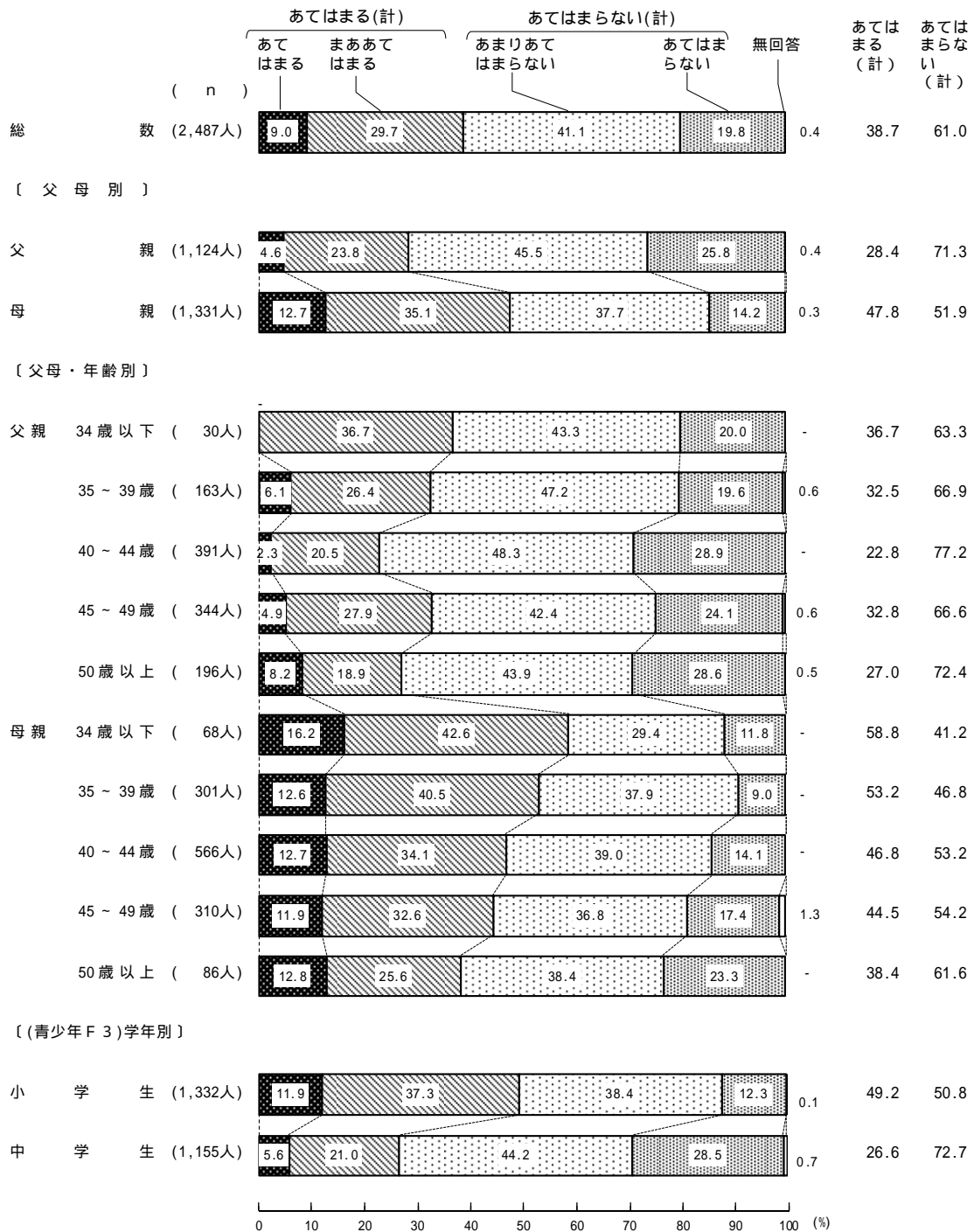
< (シ) 自分でできることは任せている >

「あてはまる(計)」とする者の割合が91.6%(「あてはまる」(43.4%)+「まああてはまる」(48.2%)), 「あてはまらない(計)」とする者の割合が8.4%(「あまりあてはまらない」(7.8%)+「あてはまらない」(0.6%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。(図 -2-1-2 キ~シ)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 1 教育やしつけ - (ア) 勉強をみるようにしている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



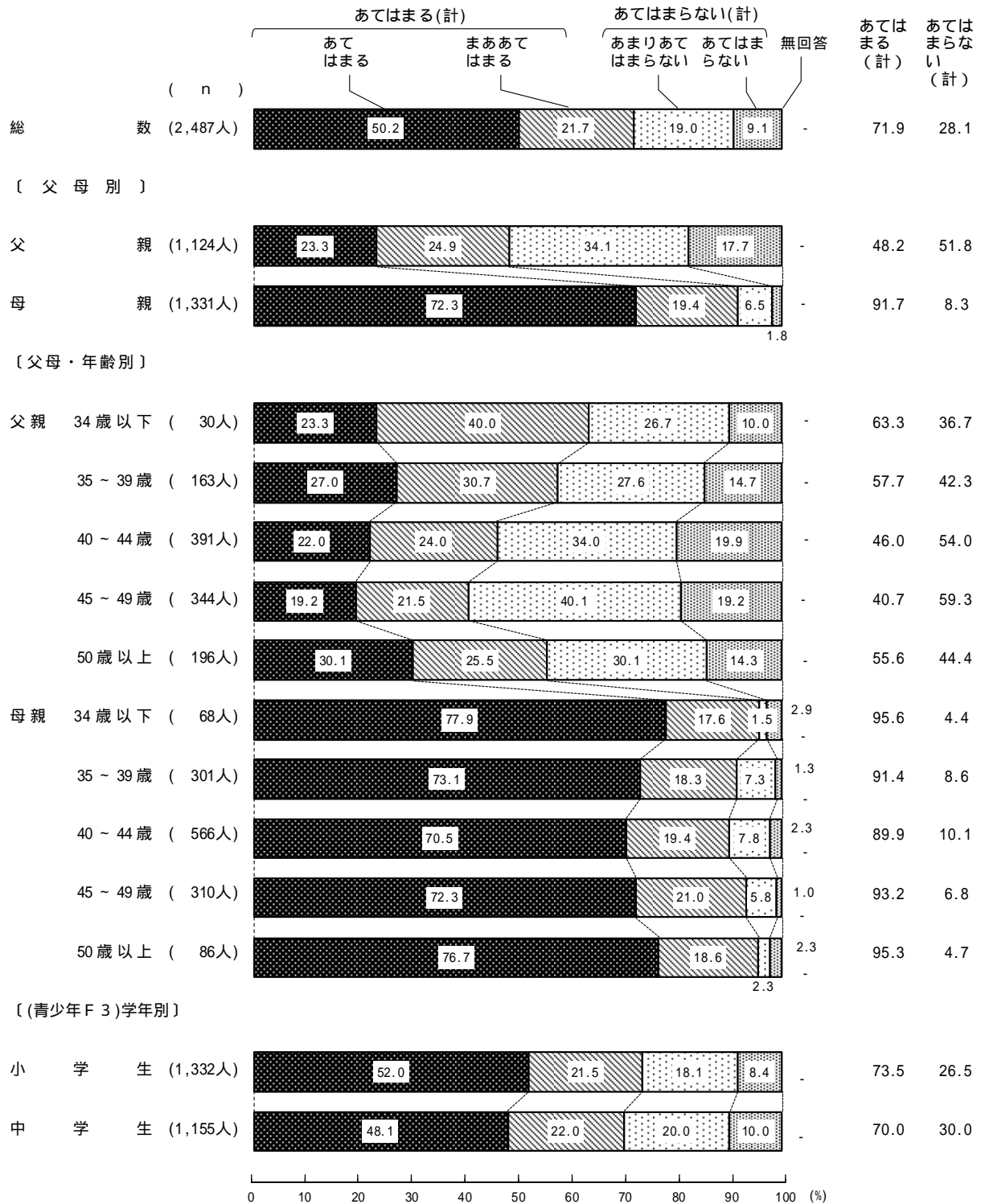
「勉強をみるようにしている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の40代以下で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の40代以上で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 2 教育やしつけ - (イ) 毎日、夕食を一緒にとるようにしている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)

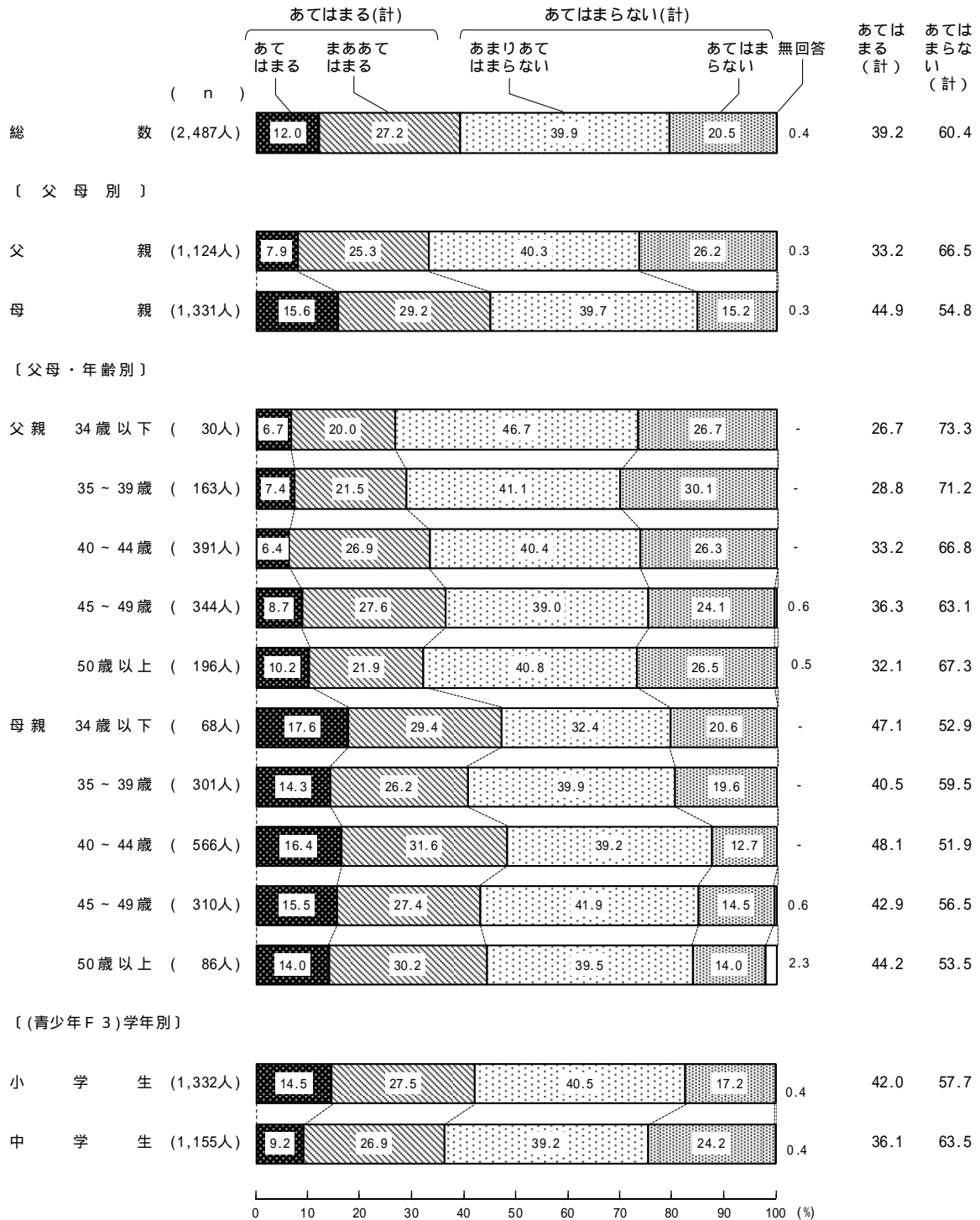


「毎日、夕食を一緒にとるようにしている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合と、「あてはまらない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 2 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 3 教育やしつけ - (ウ) 見る時間を決めてテレビを見させている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



「見る時間を決めてテレビを見させている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

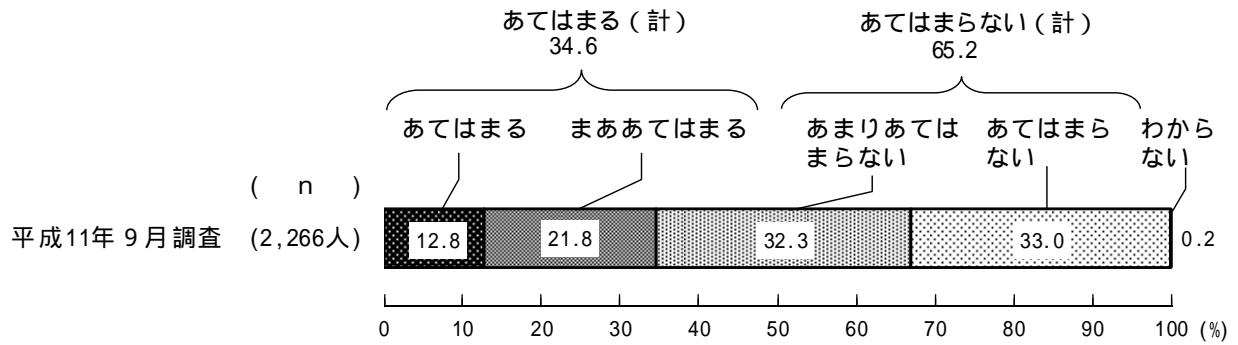
父母・年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の40代前半で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の30代後半、40代前半、50歳以上で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 3)

(参考)

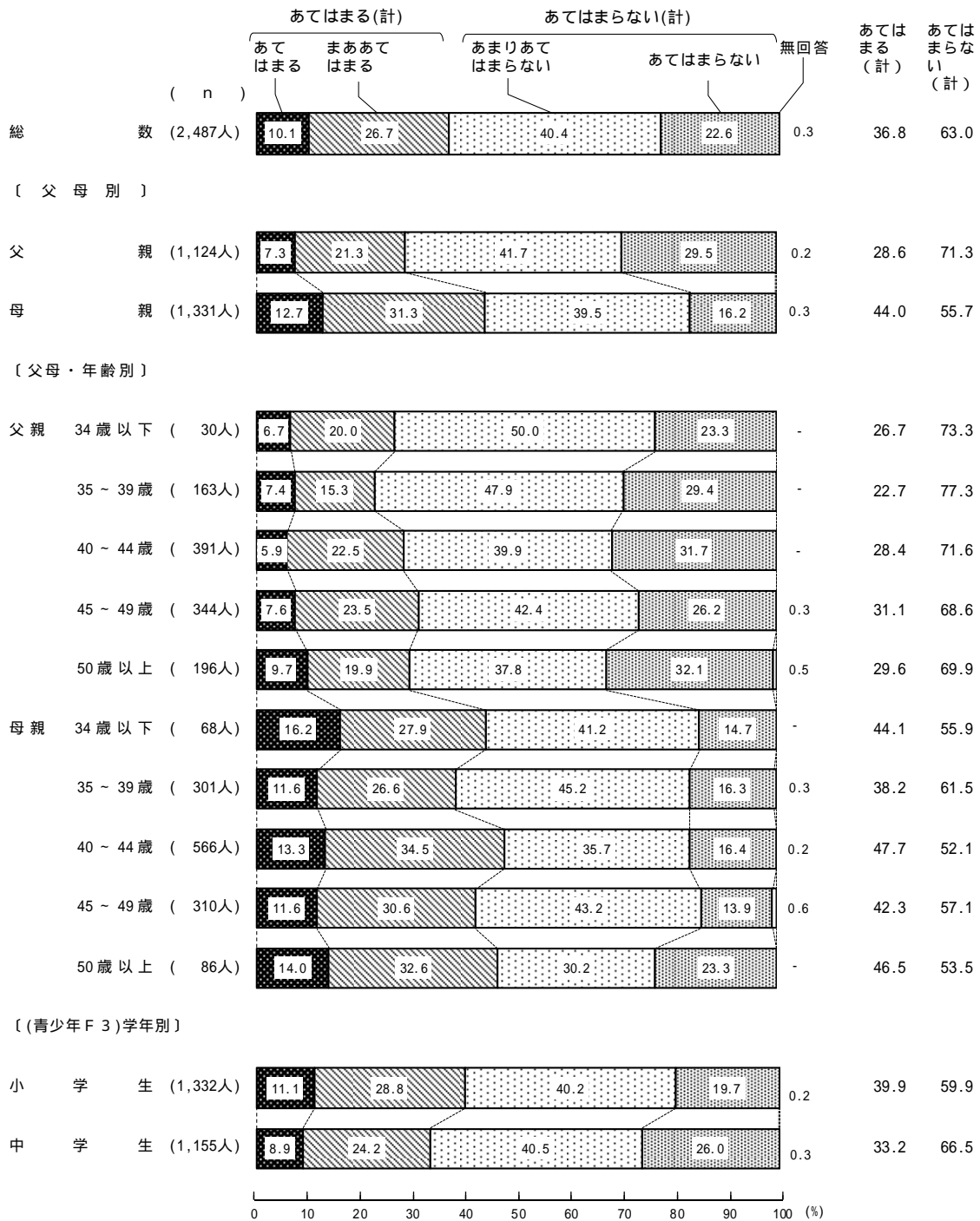
Q2 お子さんの教育やしつけについてうかがいます。お宅では、ここにあげてあるアからカまでのことについてどの程度あてはまりますか。それぞれについて、あてはまる番号を1つずつお答えください。

エ 子どものテレビを見る時間を決めている



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 4 教育やしつけ - (エ)本を読むように勧めたり, 読んだ本の感想を話し合ったりしている (父母別, 父母・年齢別, (青少年F3)学年別)



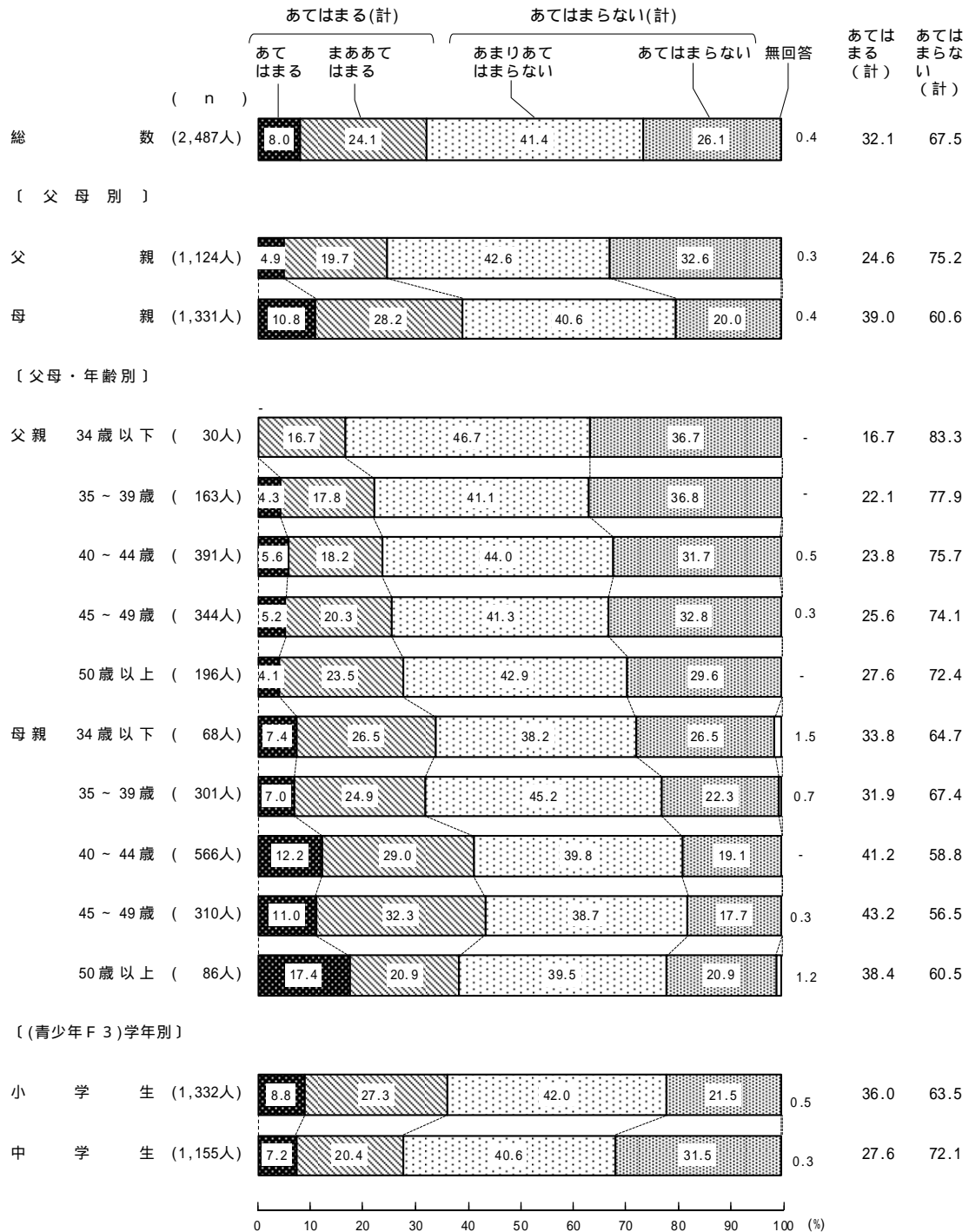
「本を読むように勧めたり, 読んだ本の感想を話し合ったりしている」について, 父母別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で, それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の40代で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の30代後半以上で, それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で, それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 4)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 5 教育やしつけ - (オ) 博物館, 美術館, 図書館, 映画, 演劇などに連れて行くようにしている (父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



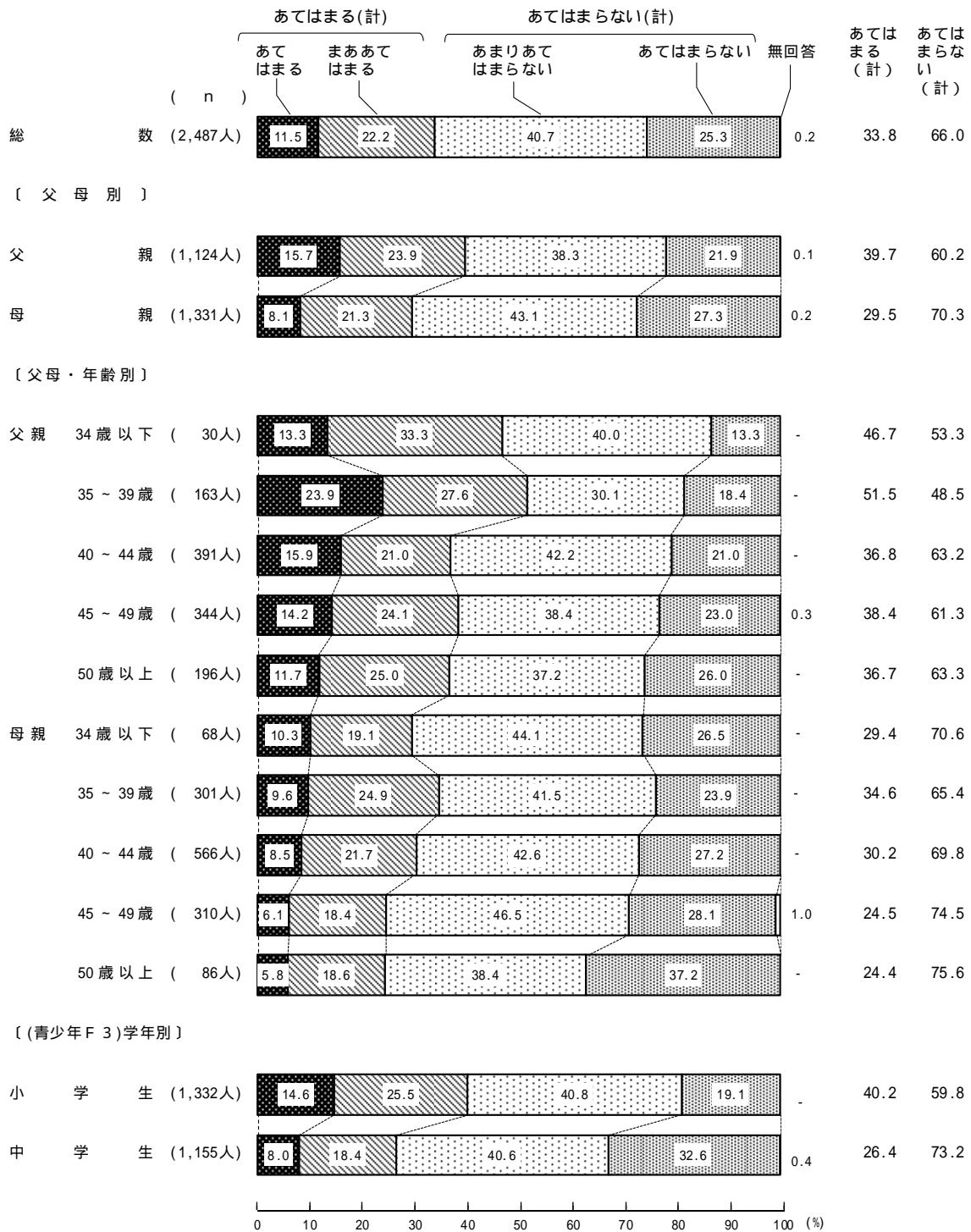
「博物館, 美術館, 図書館, 映画, 演劇などに連れて行くようにしている」について, 父母別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で, それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の40代で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の30代後半から40代で, それぞれ高くなっている。

青少年の学年別でみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で, それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 5)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 6 教育やしつけ - (カ) スポ - ツを一緒にするようにしている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



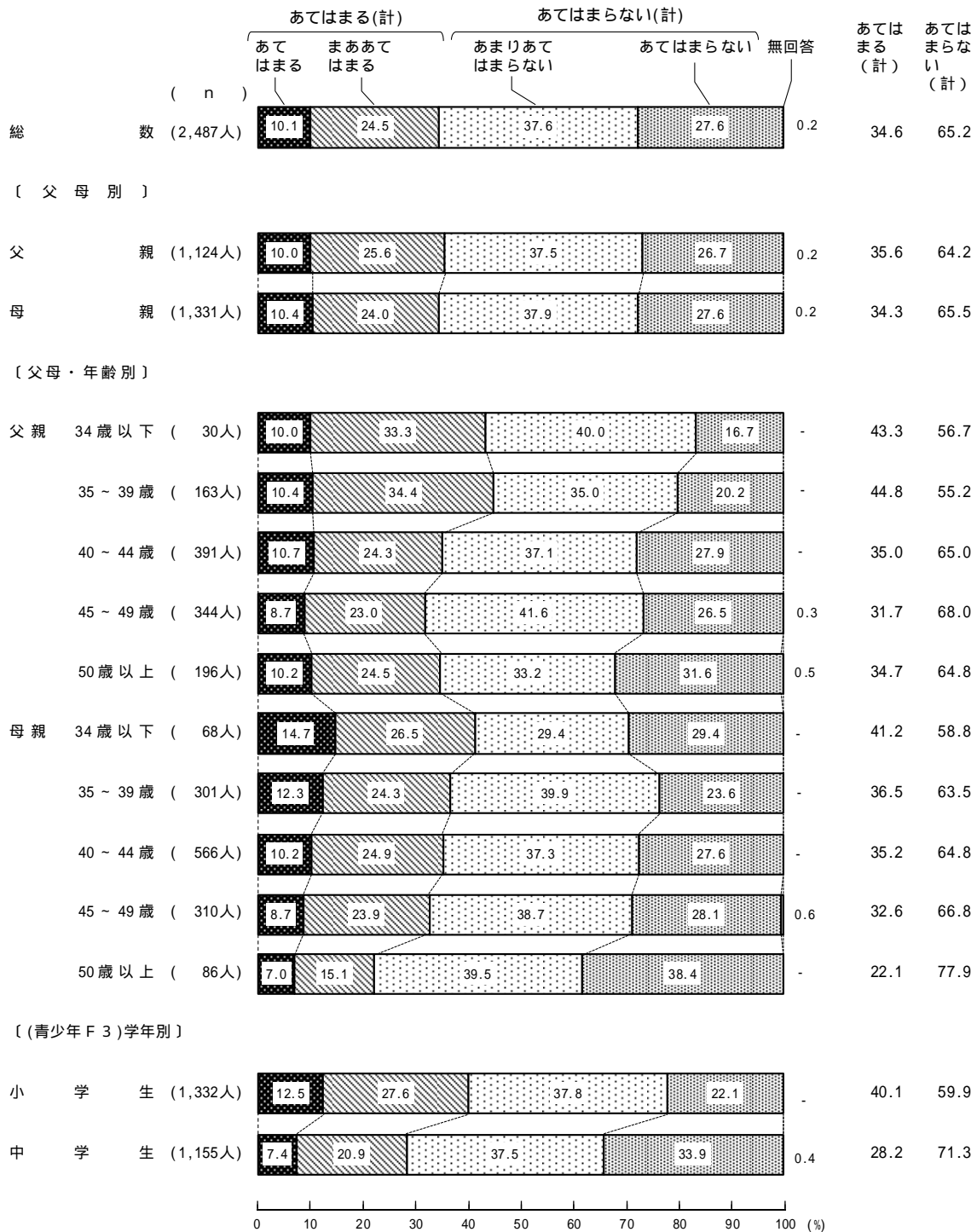
「スポ - ツを一緒にするようにしている」について, 父母別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は父親で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は母親で, それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は父親の30代後半で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は母親の40代で, それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると, 「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で, 「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で, それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 6)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 7 教育やしつけ - (キ)自然の中で，一緒に遊んだり，キャンプをしたりするようになっている (父母別，父母・年齢別，(青少年F3)学年別)



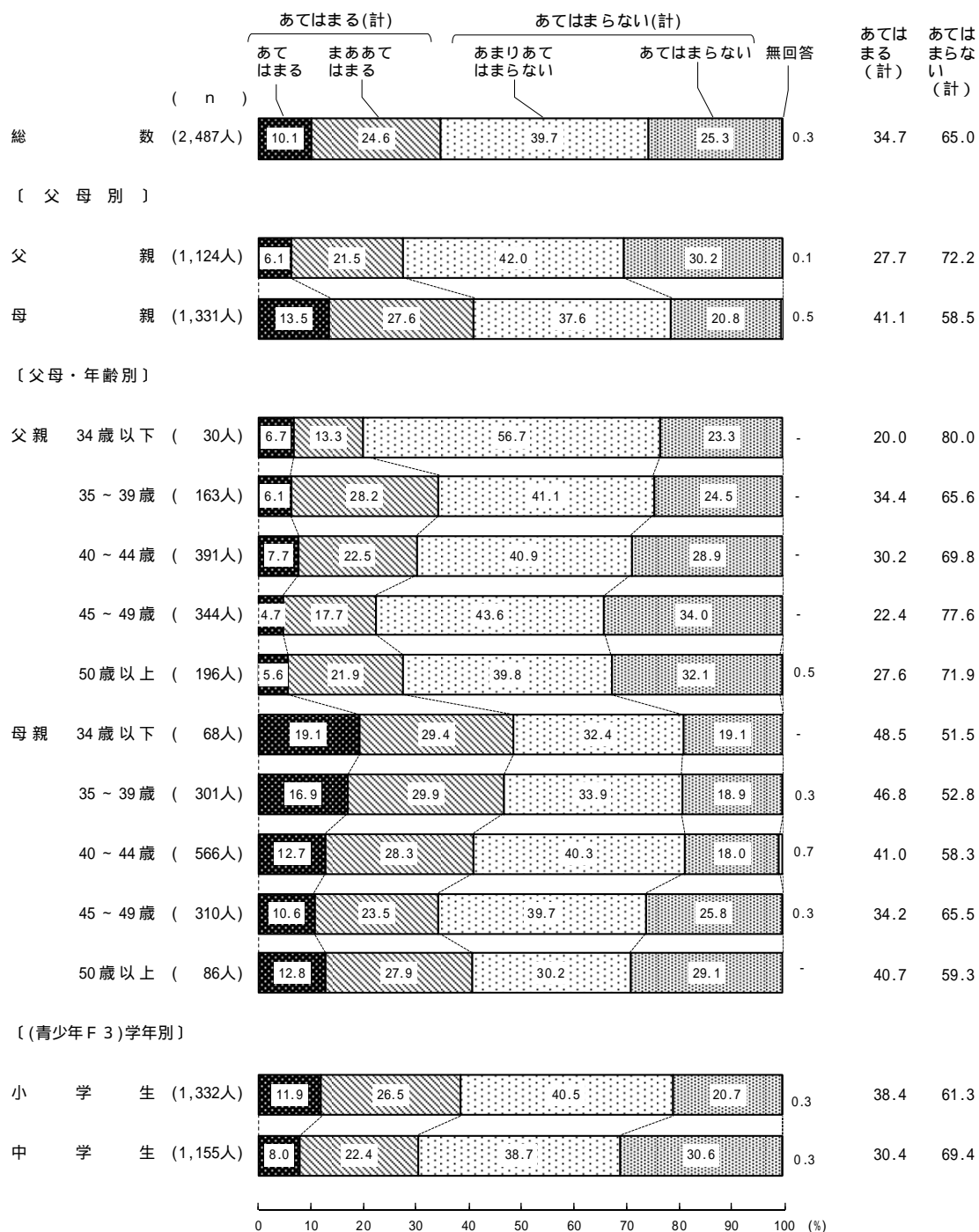
「自然の中で，一緒に遊んだり，キャンプをしたりするようになっている」について，父母別にみると，大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると，「あてはまる(計)」とする者の割合は父親の30代後半で，「あてはまらない(計)」とする者の割合は母親の50歳以上で，それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると，「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で，「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で，それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 7)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 8 教育やしつけ - (ク) 近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにしている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



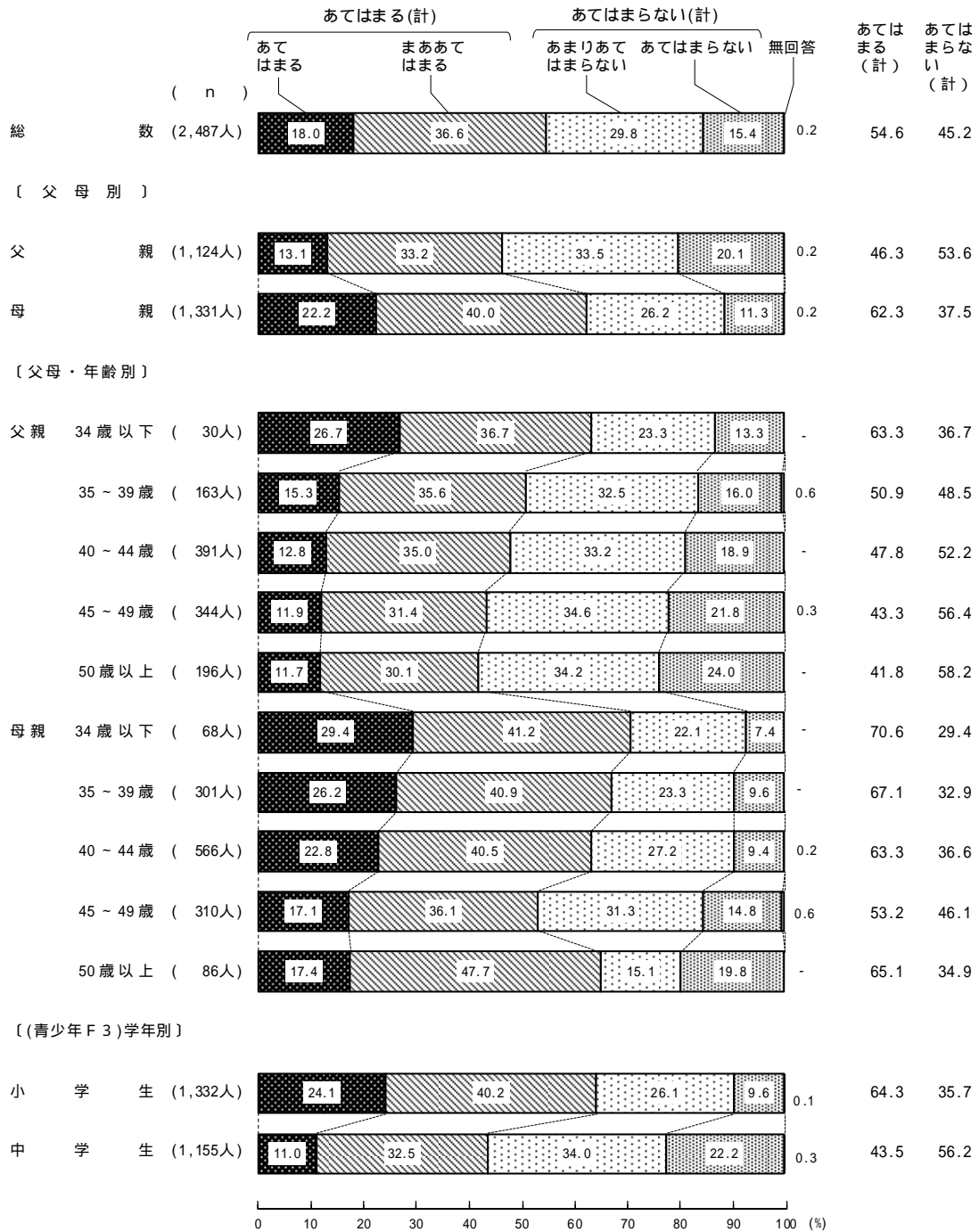
「近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにしている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の40代前半以下で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の40代以上で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 8)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 9 教育やしつけ - (ケ) 近所のお祭や行事に、一緒に参加するようにしている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



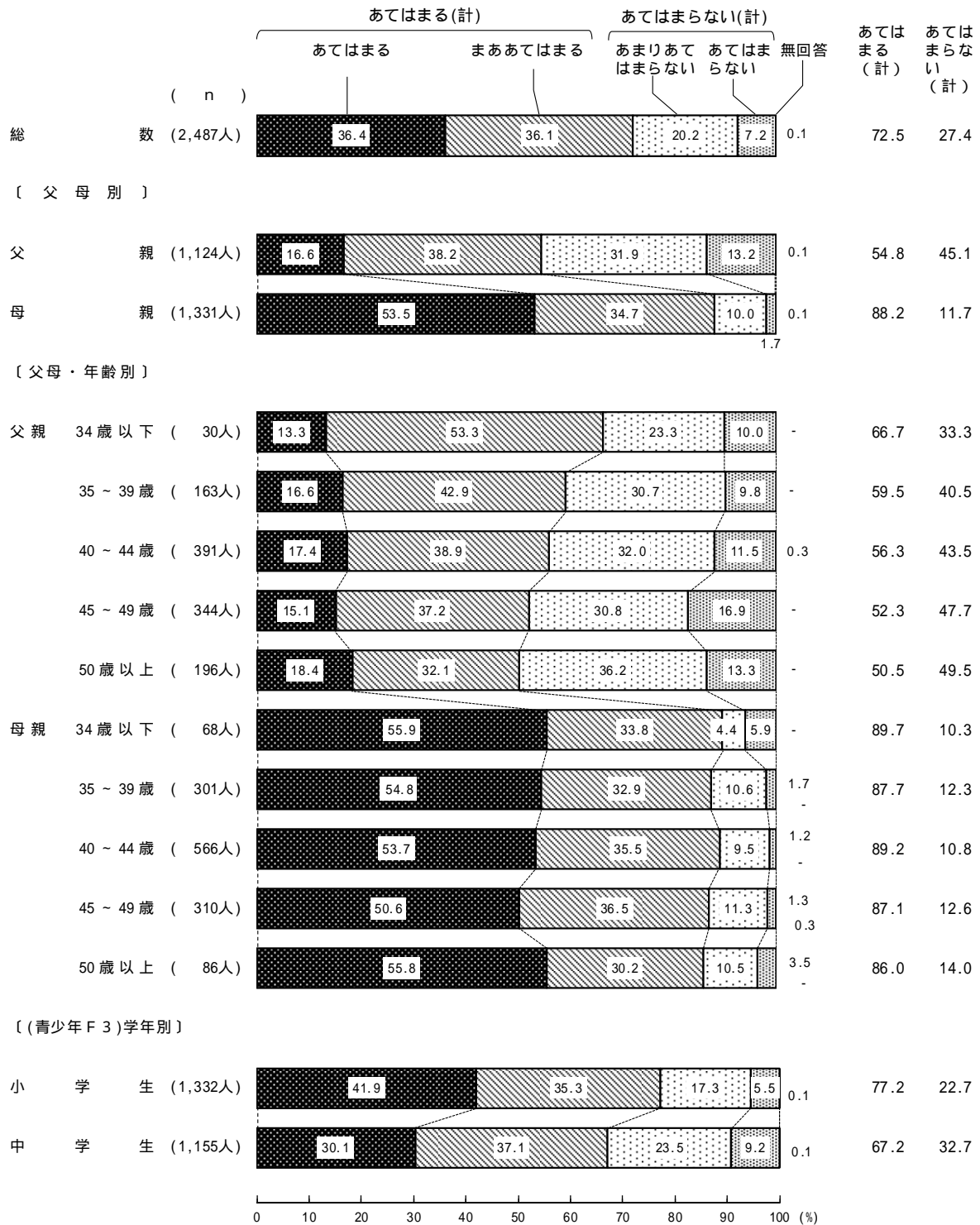
「近所のお祭や行事に、一緒に参加するようにしている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の34歳以下から40代前半、50歳以上で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親の40代以上で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 9)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 10 教育やしつけ - (コ) 学校の行事には、必ず、行くようにしている
(父母別、父母・年齢別、(青少年F3)学年別)



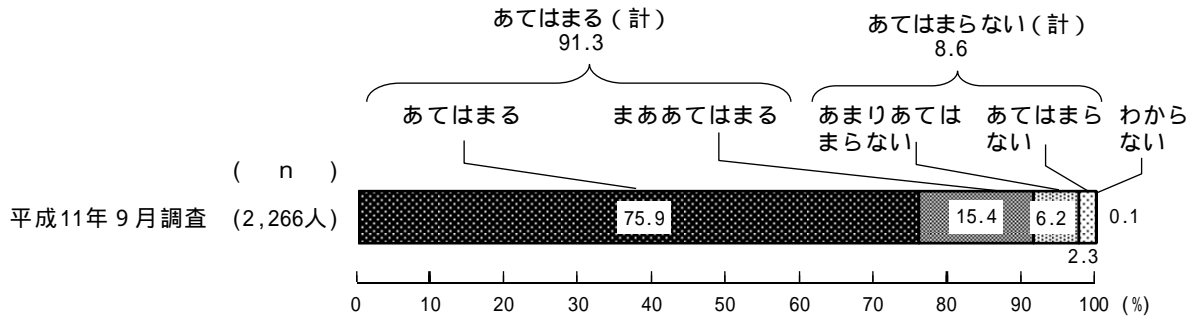
「学校の行事には、必ず、行くようにしている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は小学生で、「あてはまらない(計)」とする者の割合は中学生で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 2 - 10)

(参考)

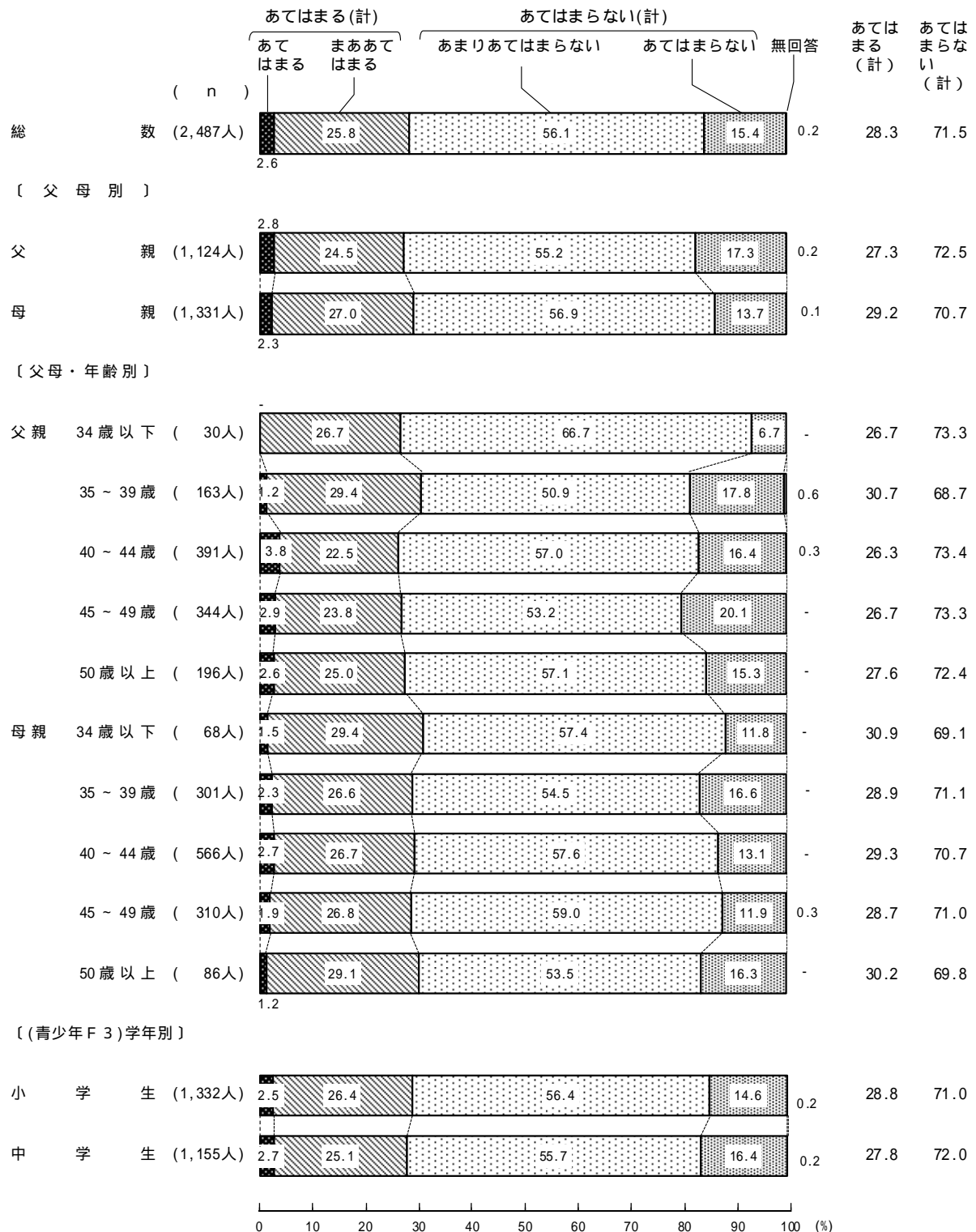
Q1 今回調査をお願いしたお子さん(さん)についてうかがいます。ここにあげてあるアからエまでのことについてどの程度あてはまりますか。それぞれについて、あてはまる番号を1つずつお答えください。

ウ 学校の授業参観や運動会などの行事に行く



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 11 教育やしつけ - (サ) 欲しがるものは、たいてい買い与えるようにしている
(父母別、父母・年齢別、(青少年F3) 学年別)

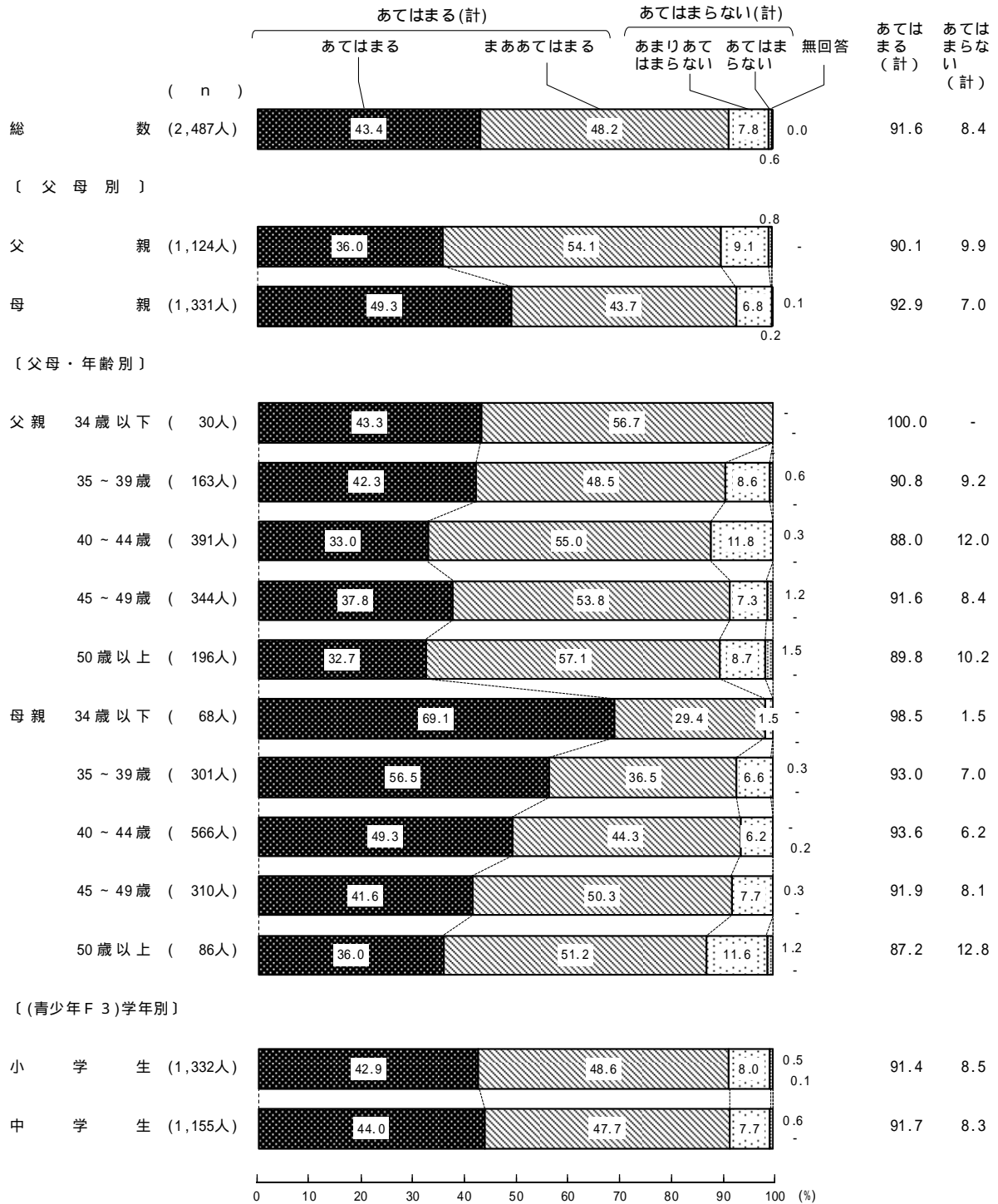


「欲しがるものは、たいてい買い与えるようにしている」について、父母別、父母年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合と、「あてはまらない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

青少年の学年別にみると、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 2 - 11)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 2 - 12 教育やしつけ - (シ) 自分でできることは任せている
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F3) 学年別)



「自分でできることは任せている」について、父母別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親で高くなっている。

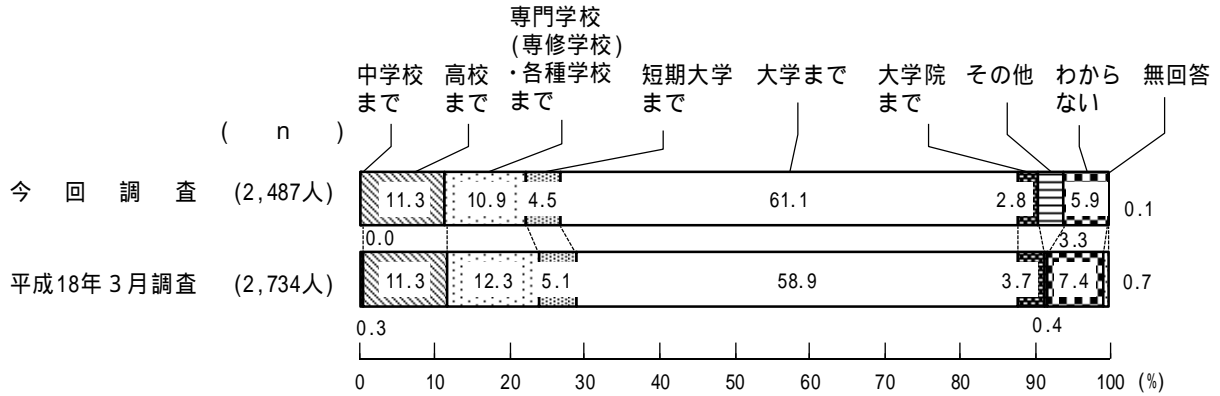
父母・年齢別にみると、「あてはまる(計)」とする者の割合は母親の34歳以下、40代前半で高くなっている。

青少年の学年別にみると、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 2 - 12)

3 希望する進路

問2 さんには、どの学校まで進ませたいですか。この中からあてはまるものを1つだけお答えください。

図 - 2 - 1 - 3 希望する進路

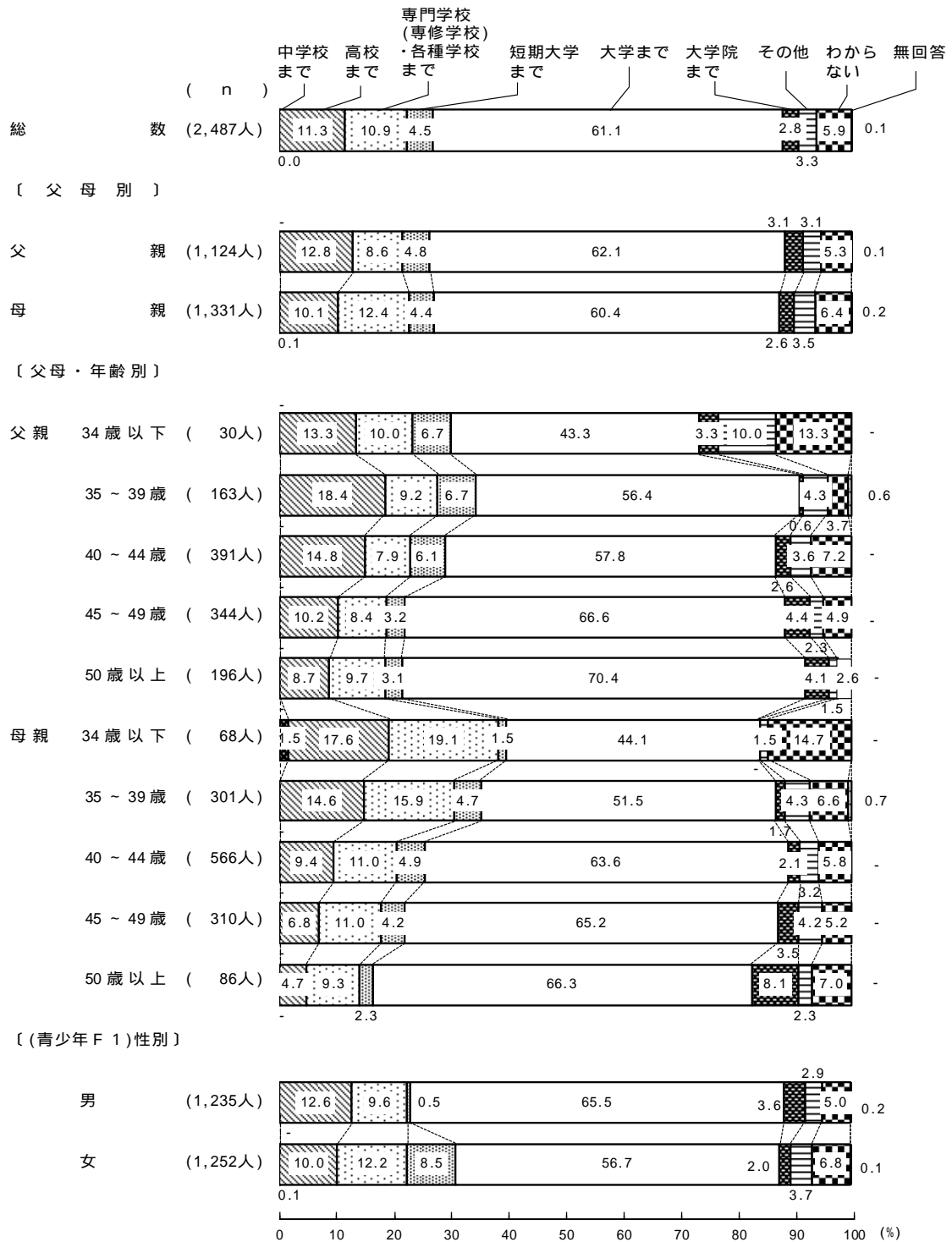


調査の対象となった子供には、どの学校まで進ませたいか聞いたところ、「中学校まで」と答えた者の割合が0.0%、「高校まで」と答えた者の割合が11.3%、「専門学校(専修学校)・各種学校まで」と答えた者の割合が10.9%、「短期大学まで」と答えた者の割合が4.5%、「大学まで」と答えた者の割合が61.1%、「大学院まで」と答えた者の割合が2.8%となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「中学校まで」と答えた者の割合が低下(0.3% 0.0%)している。(図 - 2 - 1 - 3)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 3 - 1 希望する進路（父母別，父母・年齢別，（青少年F1）性別）



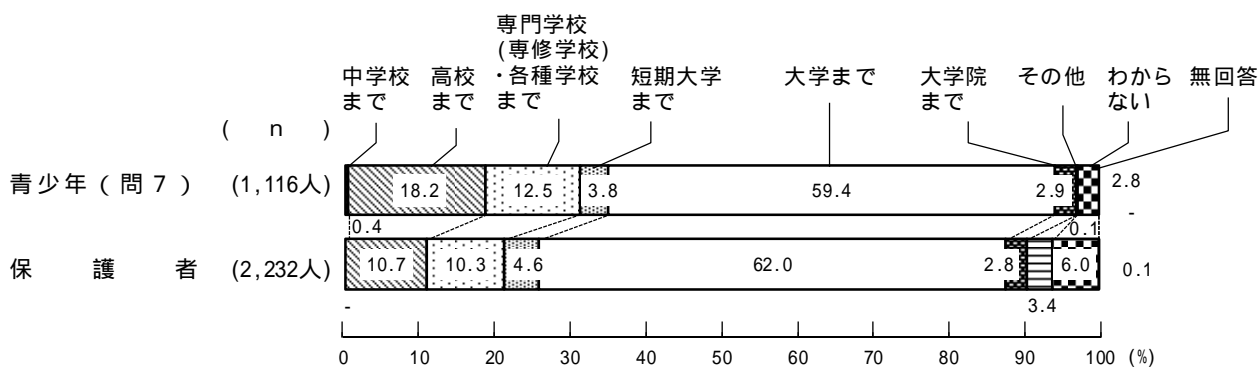
父母別にみると、「高校まで」と答えた者の割合は父親で、「専門学校（専修学校）・各種学校まで」と答えた者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「高校まで」と答えた者の割合は父親の30代後半，40代前半で、「専門学校（専修学校）・各種学校まで」と答えた者の割合は母親の34歳以下，30代後半で、「大学まで」と答えた者の割合は父親の40代後半以上で、それぞれ高くなっている。

青少年の性別にみると、「高校まで」、「大学まで」と答えた者の割合は男で、「専門学校（専修学校）・各種学校まで」と答えた者の割合は女で、それぞれ高くなっている。（図 - 2 - 1 - 3 - 1）

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 3 - 2 希望する進路（親子別・ペアベ - ス）



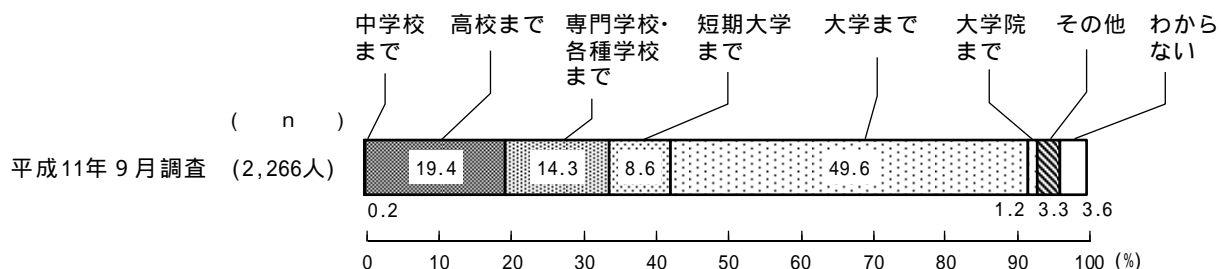
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「高校まで」(青少年 18.2% : 保護者 10.7%) と答えた者の割合は保護者より青少年で高くなっている。

(図 - 2 - 1 - 3 - 2)

(参考)

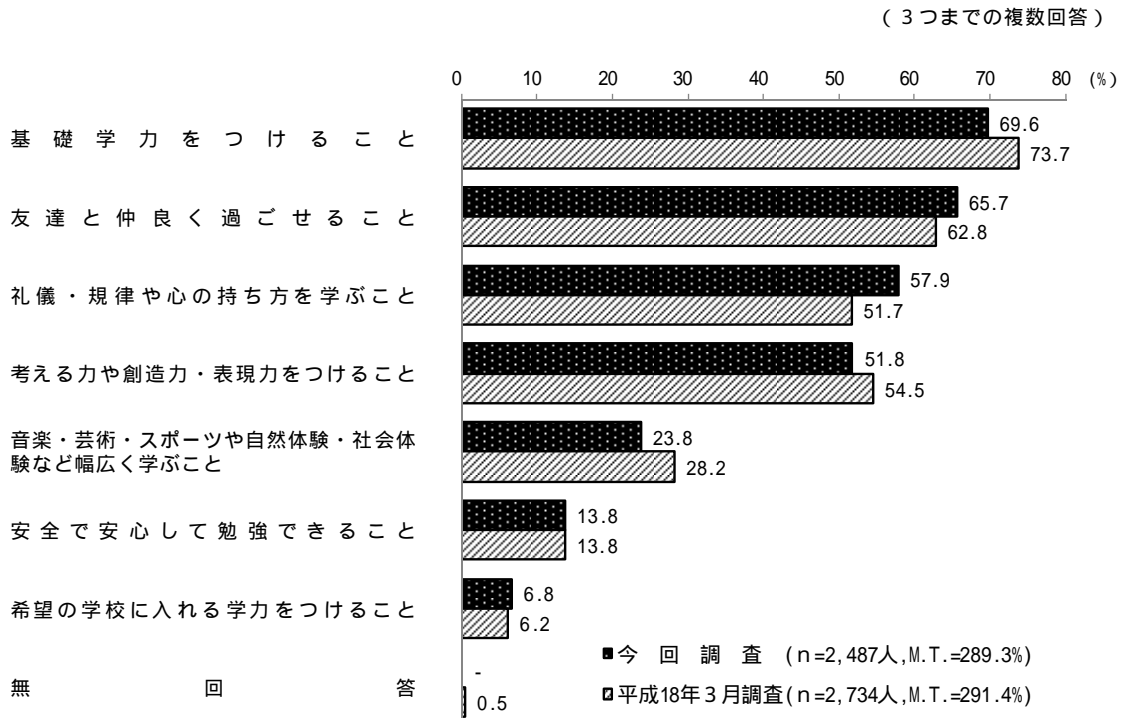
Q4 今回調査をお願いしたお子さん(さん)には、どの学校まで進ませたいですか。
この中からあてはまるものを1つだけお答えください。



4 教育で重視すること

問3 あなたは、小・中学校の教育では何が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思うものを3つまで選んで、番号に をつけてください。

図 - 2 - 1 - 4 教育で重視すること



小中学校の教育で何が重要と思うか聞いたところ、「基礎学力をつけること」を挙げた者の割合が69.6%、「友達と仲良く過ごせること」を挙げた者の割合が65.7%と高く、以下、「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」(57.9%)、「考える力や創造力・表現力をつけること」(51.8%)などの順となっている。(3つまでの複数回答、上位4項目)

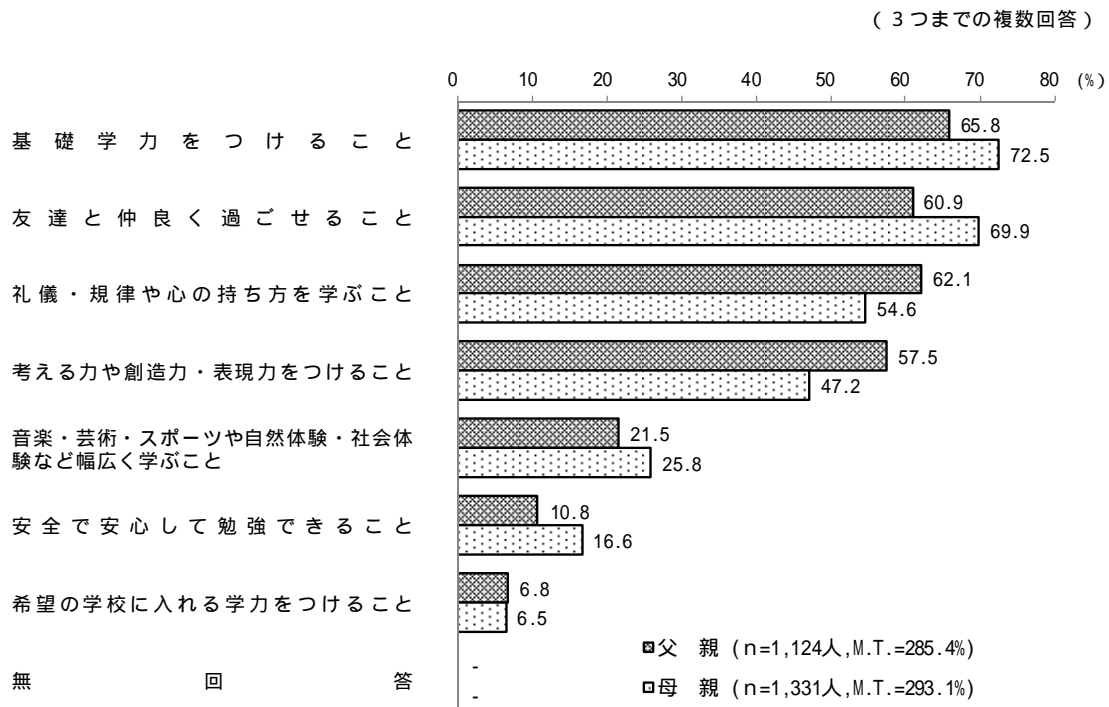
平成18年3月調査と比較してみると、「基礎学力をつけること」(73.7% 69.6%)、「考える力や創造力・表現力をつけること」(54.5% 51.8%)を挙げた者の割合が低下し、「友達と仲良く過ごせること」(62.8% 65.7%)、「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」(51.7% 57.9%)を挙げた者の割合が上昇している。(図 - 2 - 1 - 4)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

表 - 2 - 1 - 4 教育で重視すること（父母別，父母・年齢別，（青少年F3）学年別）

	n	(3つまでの複数回答)									計 (M.T.)
		基礎 学力を つける こと	友 達と 仲良 く過 ごせ るこ と	学 礼 儀・ 規 律や 心 の持 ち方 を 学 ぶこ と	考 え る 力 や 創 造 力 ・ 表 現 力 を つ け る こ と	音 楽 ・ 芸 術 ・ ス ポ ー ツ や 自 然 体 験 ・ 社 会 体 験 な ど 幅 広 く 学 ぶ こ と	安 全 で 安 心 し て 勉 強 で き る こ と	希 望 の 学 校 に 入 れ る 学 力 を つ け る こ と	無 回 答		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	2,487	69.6	65.7	57.9	51.8	23.8	13.8	6.8	-	289.3	
〔父母別〕											
父親	1,124	65.8	60.9	62.1	57.5	21.5	10.8	6.8	-	285.4	
母親	1,331	72.5	69.9	54.6	47.2	25.8	16.6	6.5	-	293.1	
〔父母・年齢別〕											
父親 34歳以下	30	60.0	60.0	60.0	60.0	16.7	16.7	-	-	273.3	
35～39歳	163	61.3	64.4	66.9	60.1	15.3	10.4	6.1	-	284.7	
40～44歳	391	67.8	64.2	63.2	54.0	20.5	12.0	4.9	-	286.4	
45～49歳	344	64.2	57.8	59.9	60.5	25.0	8.7	9.6	-	285.8	
50歳以上	196	69.4	57.1	60.2	56.6	23.5	11.2	7.1	-	285.2	
母親 34歳以下	68	79.4	77.9	66.2	35.3	23.5	10.3	1.5	-	294.1	
35～39歳	301	63.5	75.1	63.1	43.2	22.3	17.9	6.6	-	291.7	
40～44歳	566	72.4	72.3	52.7	48.1	24.6	17.0	6.0	-	292.9	
45～49歳	310	78.4	61.3	50.3	50.3	31.0	16.5	7.4	-	295.2	
50歳以上	86	77.9	60.5	44.2	53.5	30.2	15.1	9.3	-	290.7	
〔（青少年F3）学年別〕											
小学生	1,332	69.3	67.9	57.2	52.5	22.2	14.5	4.7	-	288.4	
中学生	1,155	70.0	63.0	58.7	51.0	25.5	13.1	9.1	-	290.4	

図 - 2 - 1 - 4 - 1 教育で重視すること（父母別）



第2章 保護者を対象とする調査の結果

父母別にみると、「基礎学力をつけること」、「友達と仲良く過ごせること」を挙げた者の割合は母親で、「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」、「考える力や創造力・表現力をつけること」を挙げた者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。(表 -2-1-4, 図 -2-1-4-1)

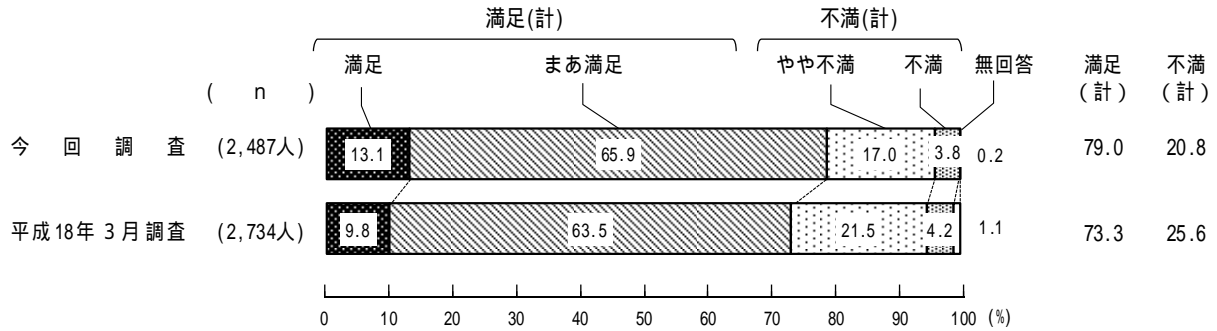
父母・年齢別にみると、「基礎学力をつけること」を挙げた者の割合は母親の40代後半で、「友達と仲良く過ごせること」を挙げた者の割合は母親の40代前半以下で、「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」を挙げた者の割合は父親の30代後半, 40代前半で、「考える力や創造力・表現力をつけること」を挙げた者の割合は父親の30代後半, 40代後半で、それぞれ高くなっている。

青少年の学年別にみると、「友達と仲良く過ごせること」を挙げた者の割合は小学生で高くなっている。(表 -2-1-4)

5 学校教育の満足度

問4 あなたは、さんの通っている学校の教育にどのくらい満足していますか。
 あてはまる番号にをつけてください。

図 - 2 - 1 - 5 学校教育の満足度

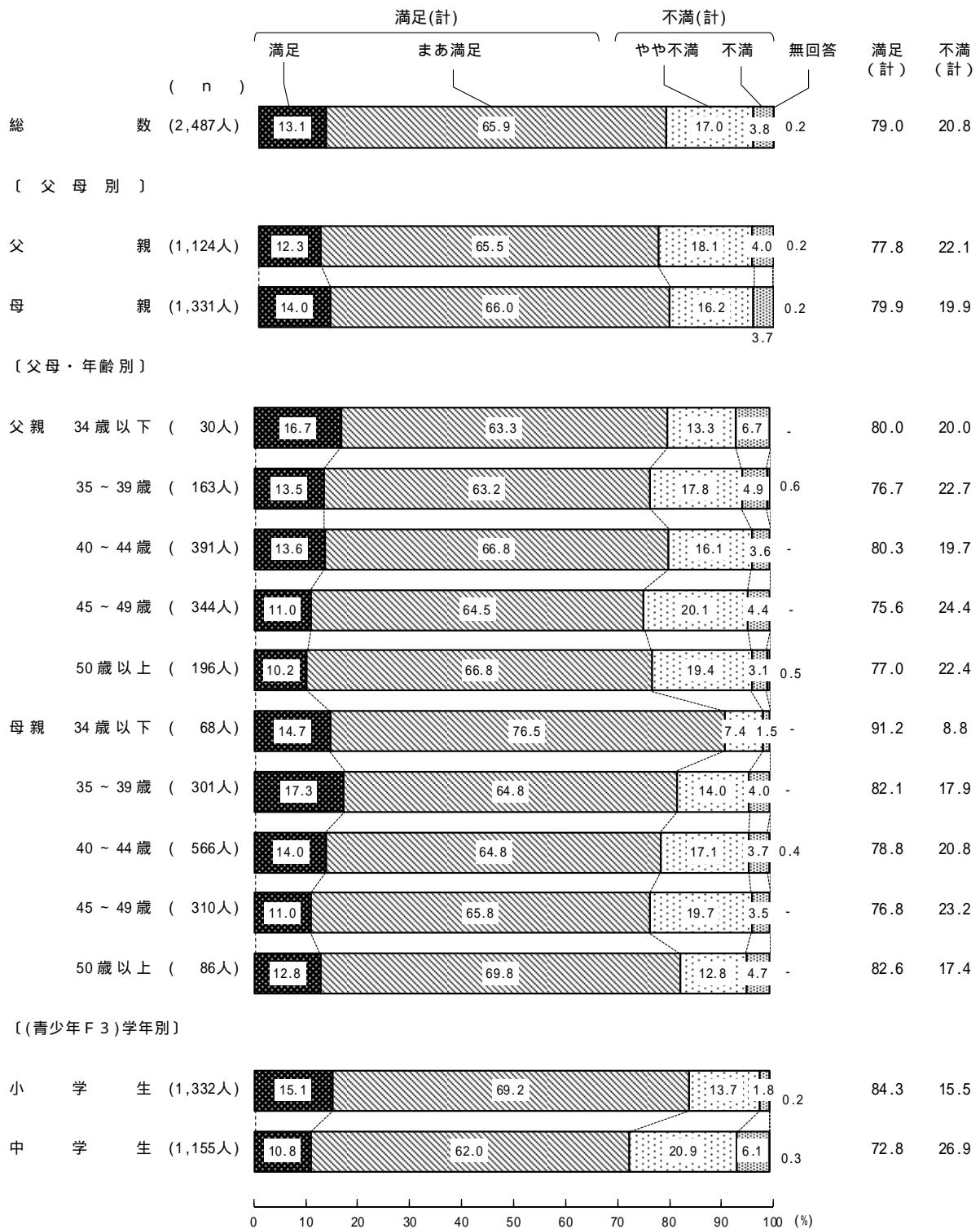


調査の対象となった子供の通っている学校教育にどのくらい満足しているか聞いたところ、「満足(計)」とする者の割合が79.0% (「満足」(13.1%) + 「まあ満足」(65.9%)), 「不満(計)」とする者の割合が20.8% (「やや不満」(17.0%) + 「不満」(3.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「満足(計)」とする者の割合が上昇(73.3% 79.0%)し、「不満(計)」とする者の割合が低下(25.6% 20.8%)している。(図 - 2 - 1 - 5)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 5 - 1 学校教育の満足度（父母別，父母・年齢別，（青少年F3）学年別）



父母別にみると，大きな差異は見られない。

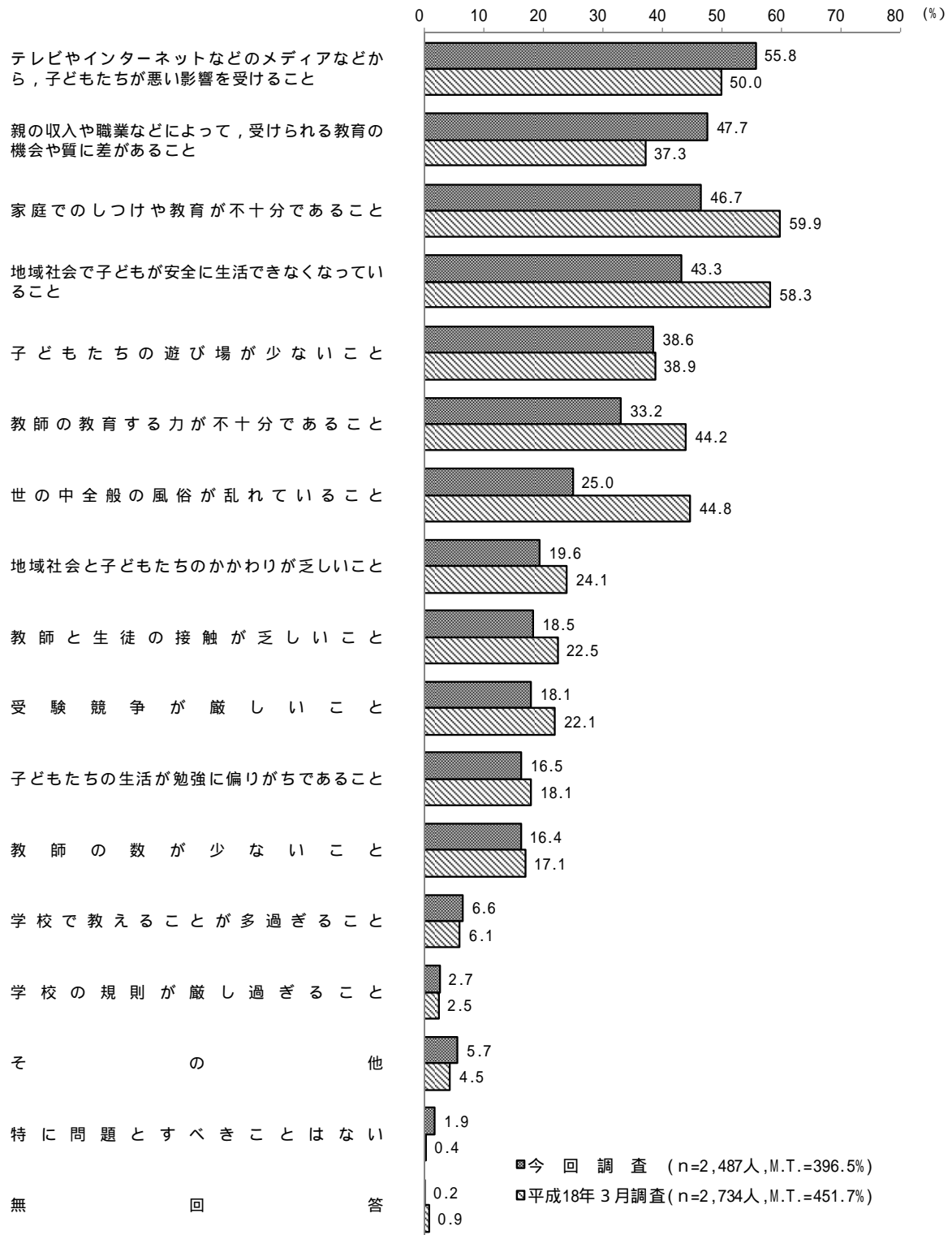
父母・年齢別にみると，「満足(計)」とする者の割合は，母親の34歳以下で高くなっている。

青少年の学年別にみると，「満足(計)」とする者の割合は小学生で，「不満(計)」とする者の割合は中学生で，それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 5 - 1)

6 子育てや教育の問題点

問5 我が国の子育てや教育の現状について考えたとき、あなたはどのようなことが問題だと思いますか。この中から、問題だと思うものをいくつでもあげてください。

図 - 2 - 1 - 6 子育てや教育の問題点



第2章 保護者を対象とする調査の結果

我が国の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題点だと思うか聞いたところ、「テレビやインタ - ネットなどのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」を挙げる者の割合が55.8%と最も高く、以下、「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」(47.7%)、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」(46.7%)、「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」(43.3%)などの順となっている。

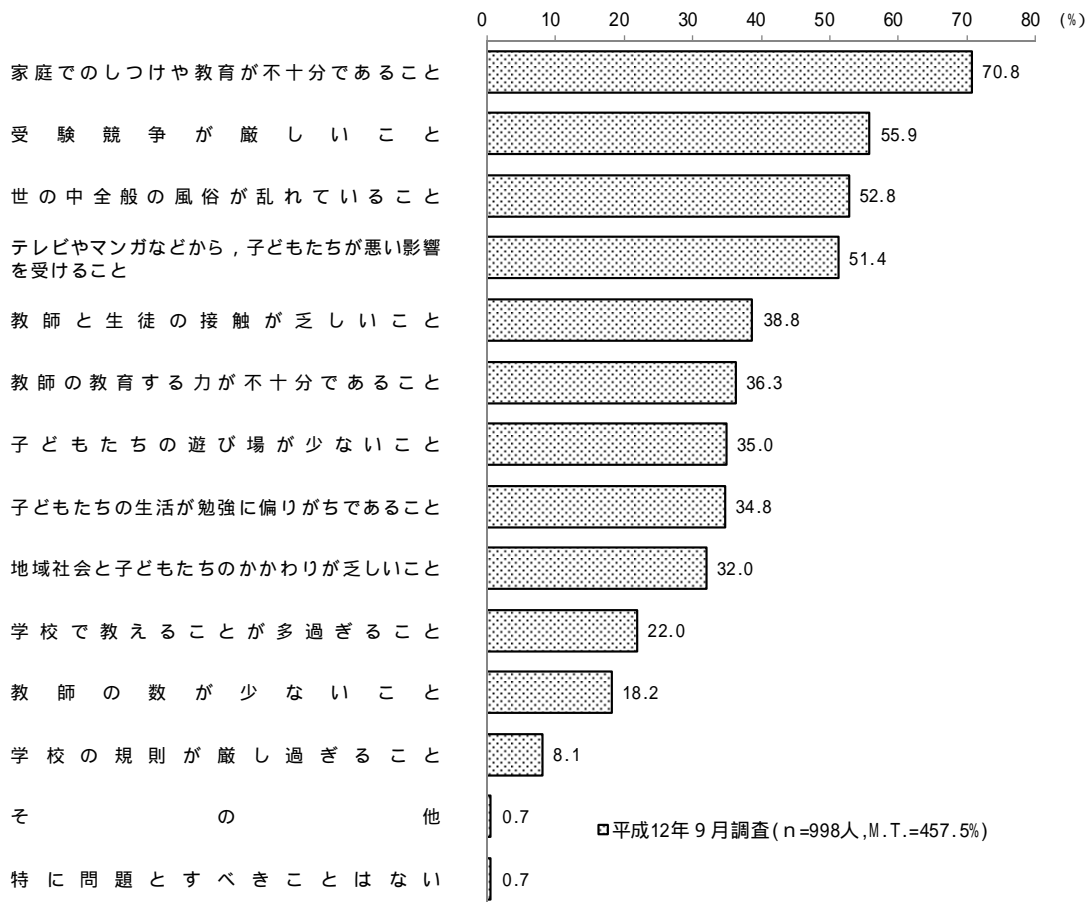
(複数回答、上位4項目)

平成18年3月調査と比較してみると、「テレビやインタ - ネットなどのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」(50.0% → 55.8%)、「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」(37.3% → 47.7%)を挙げた者の割合が上昇し、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」(59.9% → 46.7%)、「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」(58.3% → 43.3%)を挙げた者の割合が低下している。(図 - 2 - 1 - 6)

(参考)

Q20 我が国の子育てや教育の現状について考えたとき、あなたはどのようなことが問題だと思いますか。この中から、問題だと思うものをいくつでもあげてください。(M.A.)

(平成12年9月調査)



第2章 保護者を対象とする調査の結果

表 - 2 - 1 - 6 子育てや教育の問題点（父母別，父母・年齢別）

(複数回答)

	n	「子どもたちが悪い影響を受けること」	「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」	「家庭でのしつけや教育が不十分であること」	「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」	「子どもたちの遊び場が少ないこと」	「教師の教育する力が不十分であること」	「世の中全般の風俗が乱れていること」	「地域社会と子どもたちのかかわりが乏しいこと」	「教師と生徒の接触が乏しいこと」	「受験競争が厳しいこと」	「子どもたちの生活が勉強に偏りがちであること」	「教師の数が少ないこと」	「学校で教えることが多過ぎること」	「学校の規則が厳し過ぎること」	その他	特に問題とすべきことはない	無回答	計(M.T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,487	55.8	47.7	46.7	43.3	38.6	33.2	25.0	19.6	18.5	18.1	16.5	16.4	6.6	2.7	5.7	1.9	0.2	396.5
〔父母別〕																			
父親	1,124	47.2	42.2	50.4	37.6	33.0	34.0	22.3	22.7	19.8	17.3	14.7	15.0	6.4	3.6	6.0	2.4	0.2	374.9
母親	1,331	63.1	52.4	43.5	48.4	44.0	33.1	27.0	16.6	17.3	18.6	18.1	17.7	6.8	2.1	5.6	1.2	0.2	415.7
〔父母・年齢別〕																			
父親 34歳以下	30	40.0	40.0	33.3	33.3	36.7	16.7	16.7	23.3	16.7	10.0	6.7	6.7	6.7	10.0	10.0	3.3	-	310.0
35～39歳	163	44.8	47.2	41.7	44.2	38.7	25.8	21.5	19.6	17.8	14.1	14.1	11.7	6.1	0.6	4.3	3.1	0.6	355.8
40～44歳	391	45.3	43.0	50.6	38.4	35.8	31.5	21.7	22.3	18.4	17.1	14.1	17.6	5.1	3.8	6.4	2.8	-	373.9
45～49歳	344	48.0	41.9	51.7	34.6	29.7	40.4	22.7	22.7	22.4	17.4	15.4	13.7	4.4	3.8	7.6	1.5	0.3	377.9
50歳以上	196	53.1	37.2	57.1	36.7	28.1	37.2	24.5	26.0	20.4	21.4	16.3	16.3	12.8	4.1	3.6	2.6	-	397.4
母親 34歳以下	68	61.8	61.8	29.4	39.7	36.8	22.1	25.0	7.4	10.3	7.4	7.4	7.4	11.8	1.5	1.5	7.4	-	338.2
35～39歳	301	59.1	51.8	40.9	49.8	44.5	26.9	25.9	13.0	14.6	16.6	18.6	13.0	5.6	1.3	7.3	1.0	0.3	390.4
40～44歳	566	61.5	51.8	42.0	51.2	48.2	34.3	25.1	18.2	18.0	19.3	16.6	19.3	5.8	1.6	3.9	0.4	-	417.1
45～49歳	310	67.7	51.0	49.0	47.7	39.7	37.7	31.3	19.7	18.4	18.4	21.0	20.6	7.4	2.6	8.4	1.3	0.3	442.3
50歳以上	86	72.1	55.8	53.5	33.7	36.0	38.4	30.2	15.1	23.3	31.4	24.4	22.1	10.5	7.0	4.7	2.3	-	460.5

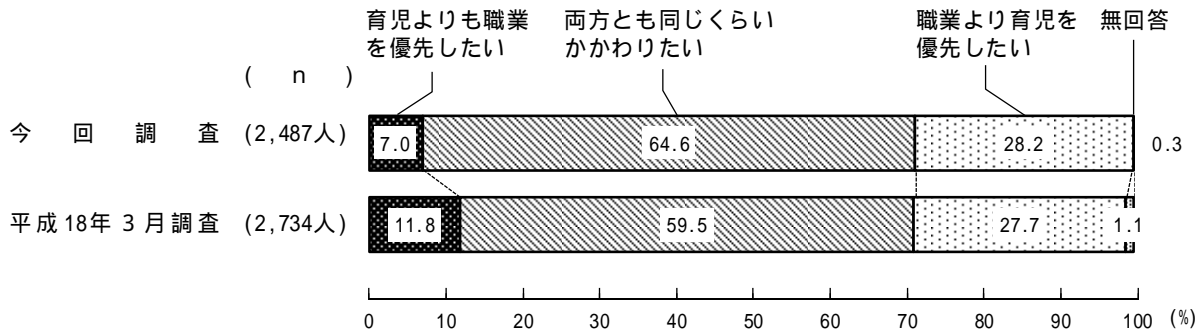
父母別にみると、「テレビやインタ - ネットなどのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」、「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」、「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」を挙げた者の割合は母親で、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」を挙げた者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「テレビやインタ - ネットなどのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」を挙げた者の割合は母親の40代以上で、「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」を挙げた者の割合は母親の34歳以下、40代前半で、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」を挙げた者の割合は父親の40代後半以上で、「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」を挙げた者の割合は母親の30代後半、40代前半で、それぞれ高くなっている。(表 - 2 - 1 - 6)

7 職業と育児のバランス（本人）

問6 職業と育児（子育て）のバランスについて、あなた自身はどのようにしたいと思いますか。職業に就いていない方もお答えください。

図 - 2 - 1 - 7 職業と育児のバランス（本人）

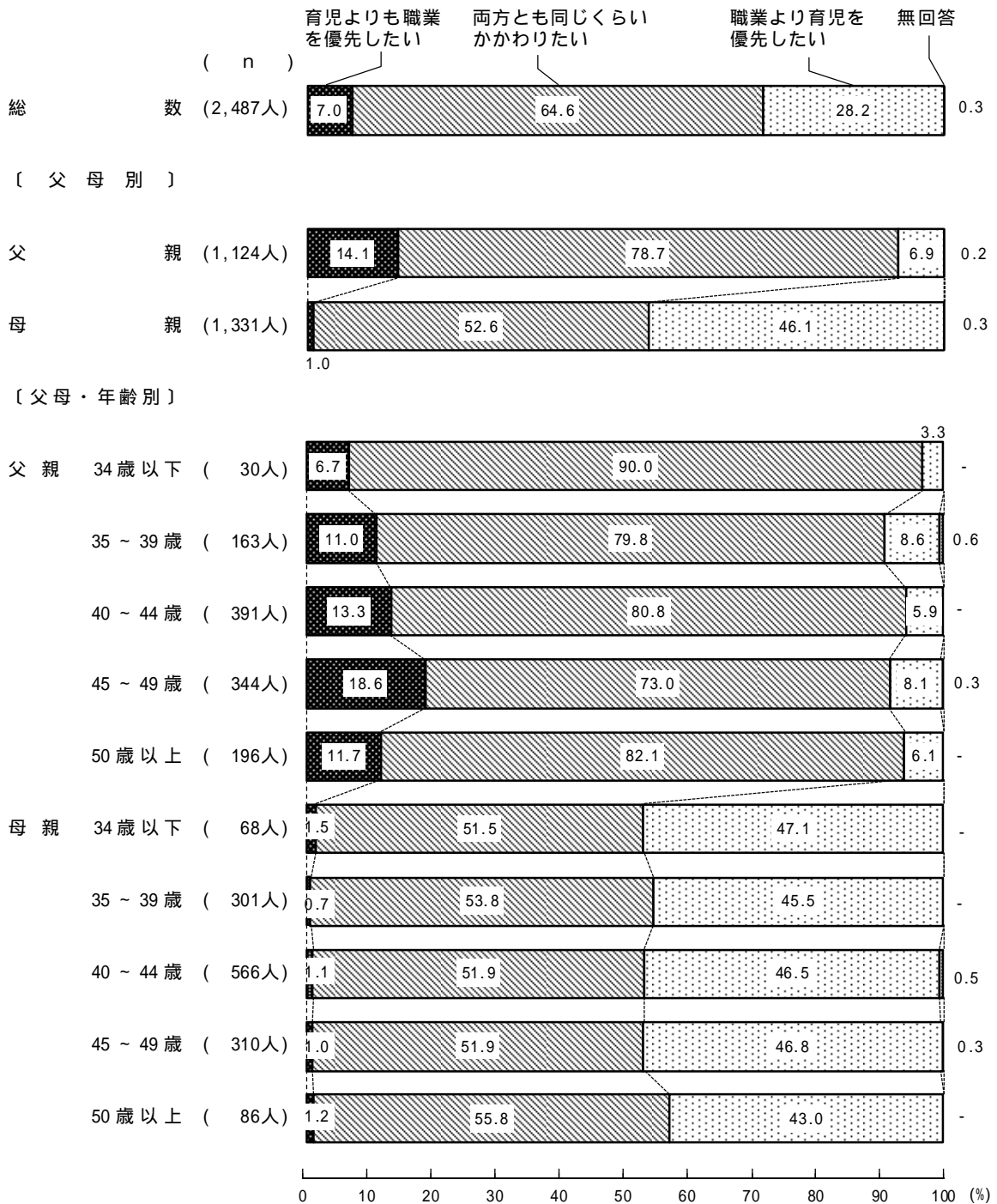


職業と育児のバランスについて、本人自身はどのようにしたいか聞いたところ、「育児よりも職業を優先したい」と答えた者の割合が7.0%、「両方とも同じくらいかかわりたい」と答えた者の割合が64.6%、「職業より育児を優先したい」と答えた者の割合が28.2%となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「育児よりも職業を優先したい」と答えた者の割合が低下（11.8% 7.0%）し、「両方とも同じくらいかかわりたい」と答えた者の割合が上昇（59.5% 64.6%）している。（図 - 2 - 1 - 7）

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 7 - 1 職業と育児のバランス (本人)(父母別, 父母・年齢別)

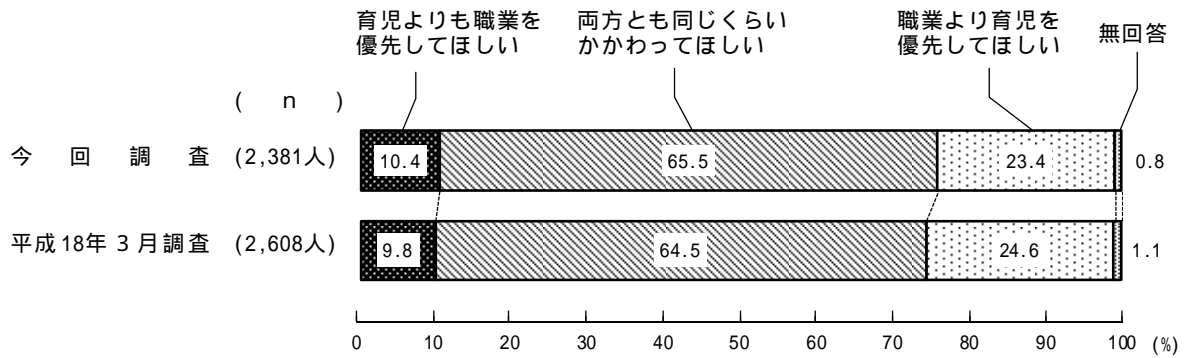


父母別にみると、「育児よりも職業を優先したい」、「両方とも同じくらいかかわりたい」と答えた者の割合は父親で、「職業より育児を優先したい」と答えた者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 7 - 1)

8 職業と育児のバランス（配偶者）

問7 あなたの配偶者・パートナーには、職業と育児（子育て）のバランスをどのようにしてほしいと思いますか。配偶者・パートナーが職業に就いていない方もお答えください。

図 - 2 - 1 - 8 職業と育児のバランス（配偶者）



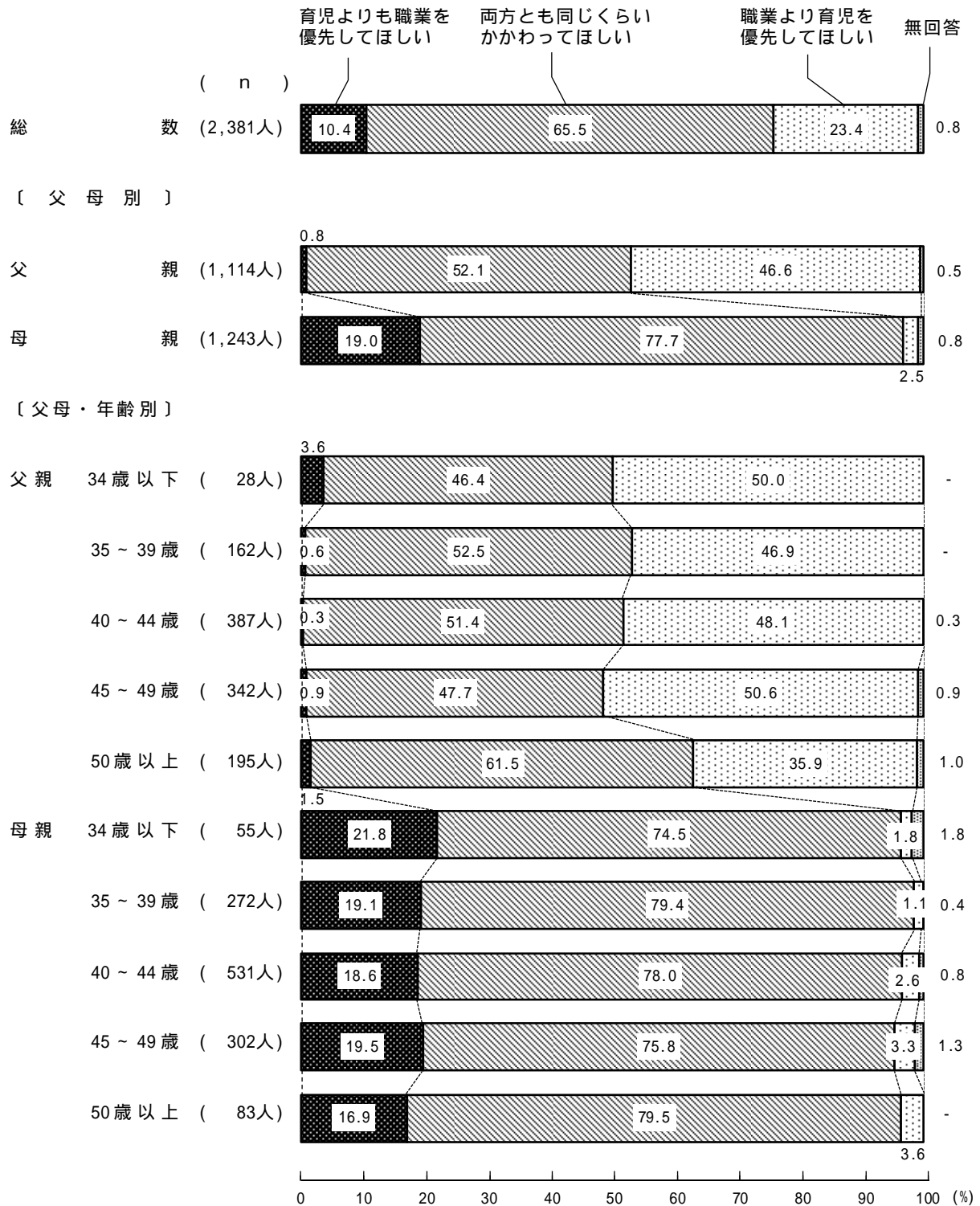
（注）「配偶者・パートナーはいない」と回答した者（今回調査は106人、平成18年3月調査は126人）を除いて集計している。

職業と育児のバランスについて、配偶者やパートナーにどのようにしてほしいと思うか聞いたところ、「育児よりも職業を優先してほしい」と答えた者の割合が 10.4%、「両方とも同じくらいかかってほしい」と答えた者の割合が 65.5%、「職業より育児を優先してほしい」と答えた者の割合が 23.4%となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、大きな変化は見られない。（図 - 2 - 1 - 8）

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 8 - 1 職業と育児のバランス（配偶者）（父母別，父母・年齢別）

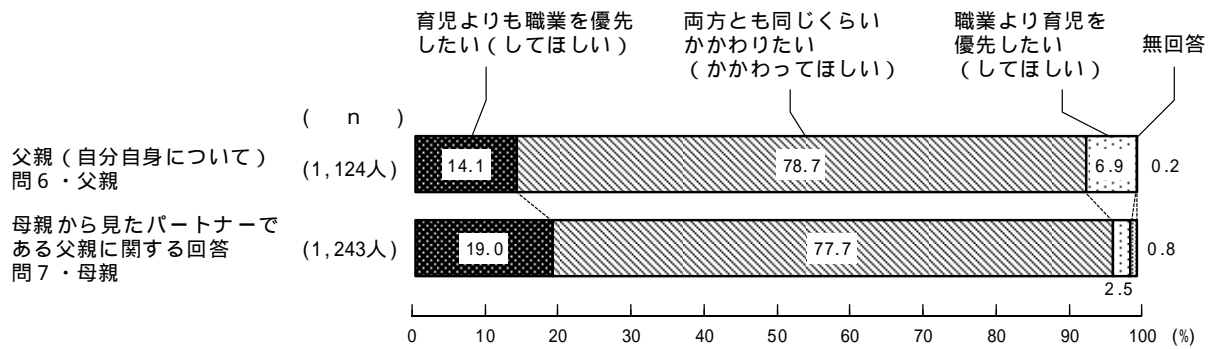


(注) 「配偶者・パートナーはいない」と回答した者106人を除いて集計している。

父母別にみると、「育児よりも職業を優先してほしい」、「両方とも同じくらいかかってほしい」と答えた者の割合は母親で、「職業より育児を優先してほしい」と答えた者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 8 - 1)

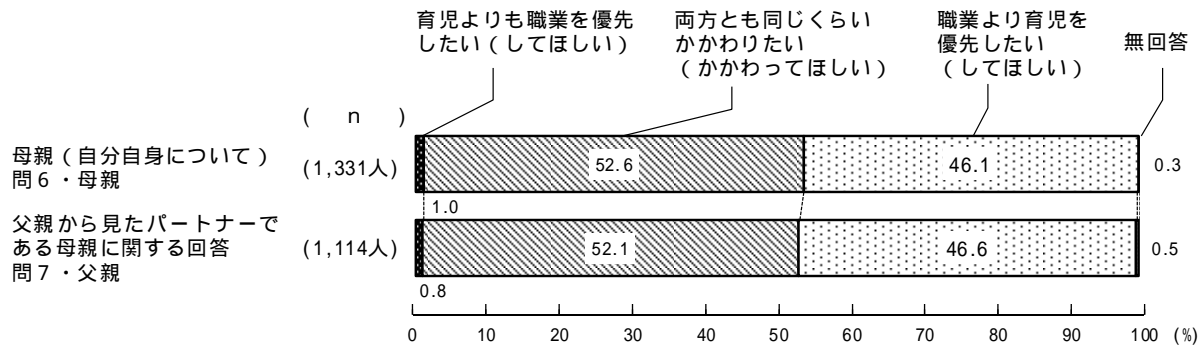
第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 8 - 2 職業と育児のバランス (問6・問7 父親)



(注) 「配偶者・パートナーはいない」と回答した者106人を除いて集計している。

図 - 2 - 1 - 8 - 3 職業と育児のバランス (問6・問7 母親)



(注) 「配偶者・パートナーはいない」と回答した者106人を除いて集計している。

職業と育児(子育て)のバランスについて、父親・母親(自分自身について)の希望とパートナー(配偶者)からみた希望を比べてみると、父親に関しては、「育児よりも職業を優先してほしい」と答えた者(母親)の割合(19.0%)の方が、「育児よりも職業を優先したい」と答えた者(父親)の割合(14.1%)より高くなっている。なお、「両方とも同じくらいかかわりたい」と答えた者(父親)の割合(78.7%)と、「両方とも同じくらいかかわってほしい」と答えた者(母親)の割合(77.7%)では、大きな差異は見られない。

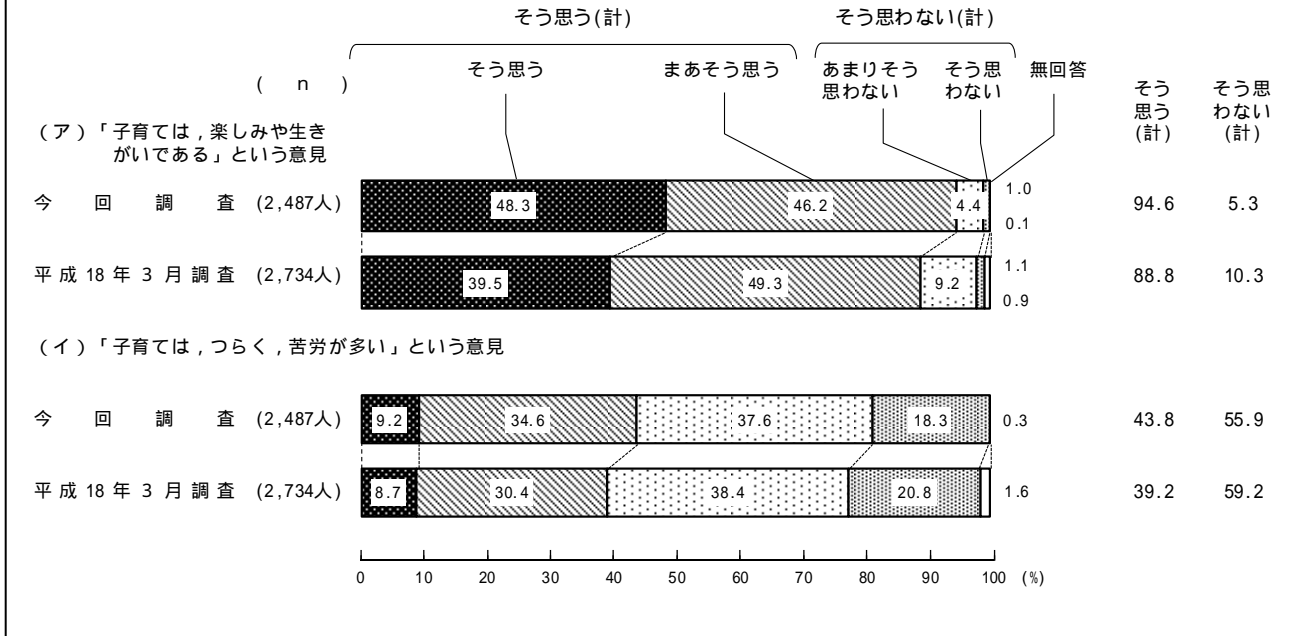
母親に関しては、大きな差異は見られず、ほぼ同率となっている。

(図 - 2 - 1 - 8 - 2, 図 - 2 - 1 - 8 - 3)

9 子育てに伴う感情

問8 あなたは、次のことについて、それぞれどう思いますか。

図 - 2 - 1 - 9 子育てに伴う感情



< (ア) 「子育ては、楽しみや生きがいである」という意見 >

「思う(計)」とする者の割合が94.6% (「思う」(48.3%) + 「まあ思う」(46.2%)), 「思わない(計)」とする者の割合が5.3% (「あまり思わない」(4.4%) + 「思わない」(1.0%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「思う(計)」とする者の割合が上昇(88.8% → 94.6%)している。(図 - 2 - 1 - 9)

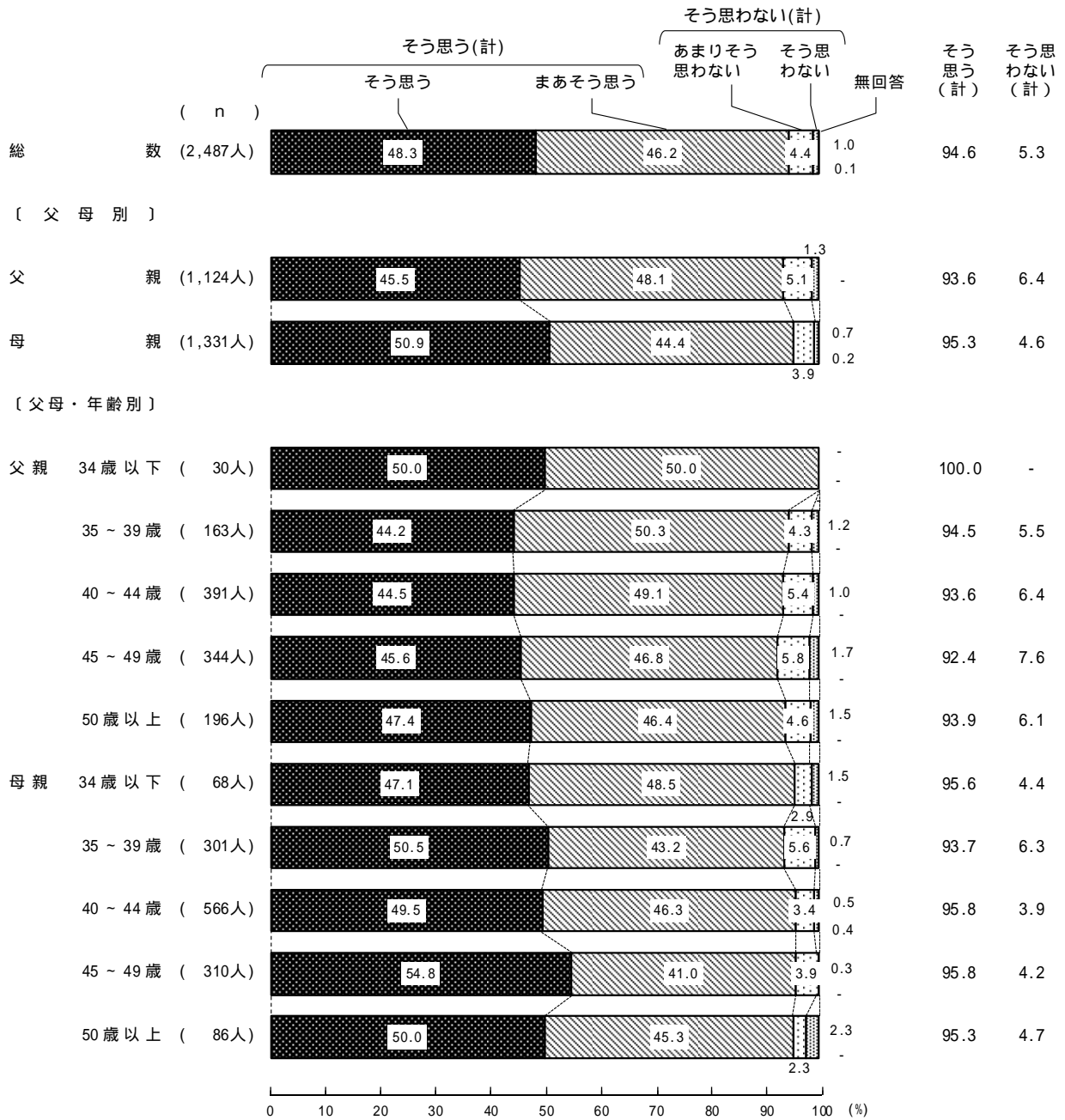
< (イ) 「子育ては、つらく、苦勞が多い」という意見 >

「思う(計)」とする者の割合が43.8% (「思う」(9.2%) + 「まあ思う」(34.6%)), 「思わない(計)」とする者の割合が55.9% (「あまり思わない」(37.6%) + 「思わない」(18.3%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「思う(計)」とする者の割合が上昇(39.2% → 43.8%)し、「思わない(計)」とする者の割合が低下(59.2% → 55.9%)している。(図 - 2 - 1 - 9)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 9 - 1 子育てに伴う感情 - (ア)「子育ては、楽しみや生きがいである」という意見
(父母別、父母・年齢別)



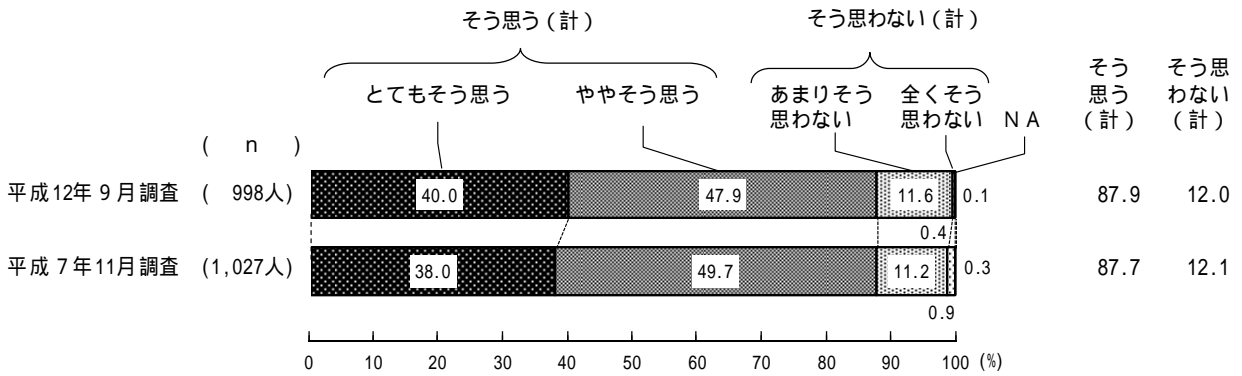
「子育ては、楽しみや生きがいである」という意見について、父母別にみると、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の40代後半で高くなっている。(図 - 2 - 1 - 9 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

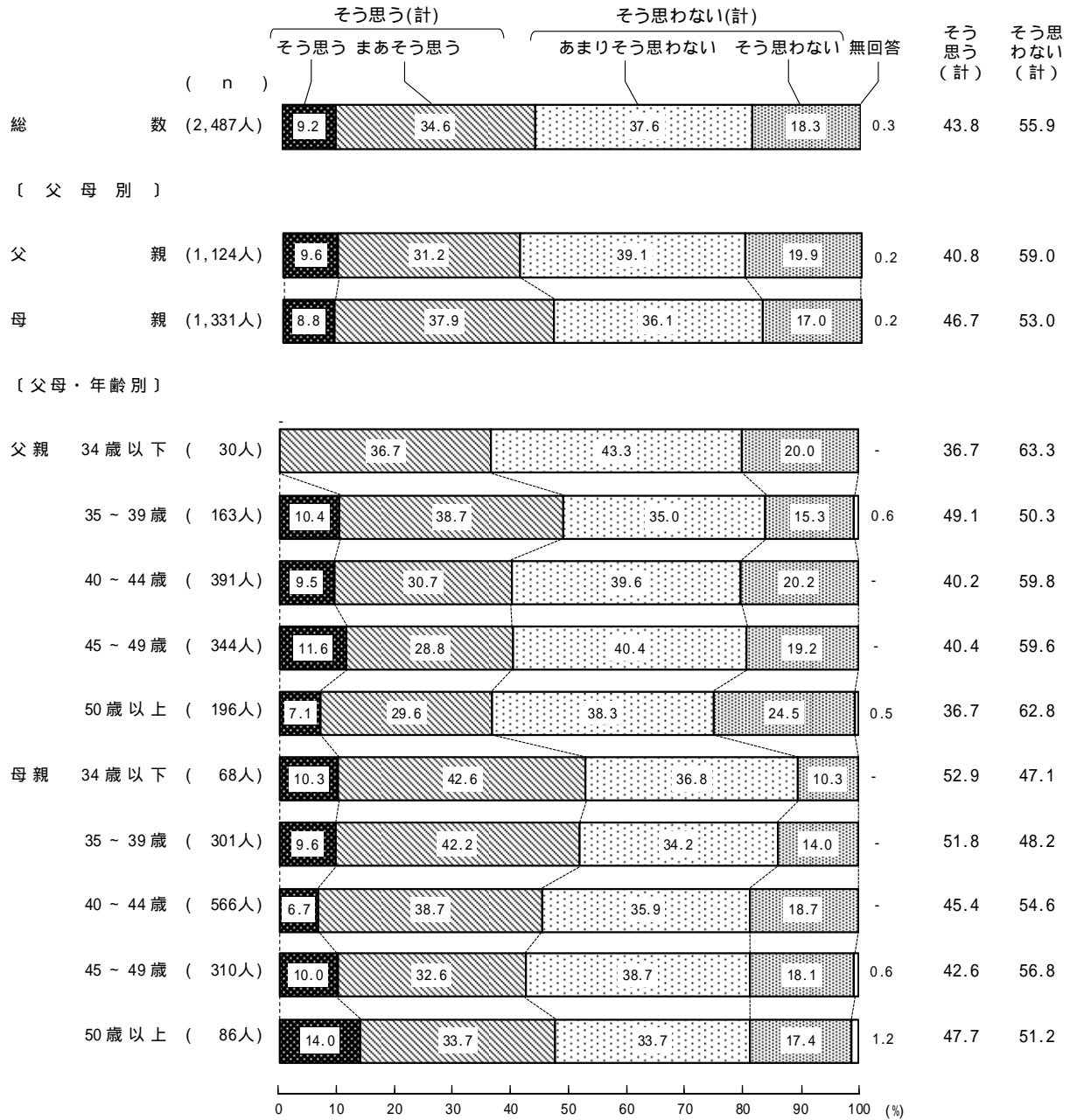
(参考)

Q12a あなたは、「子育ては、楽しみや生きがいである」という意見については、どのように感じますか。



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 9 - 2 子育てに伴う感情 - (イ)「子育ては、つらく、苦勞が多い」という意見
(父母別、父母・年齢別)



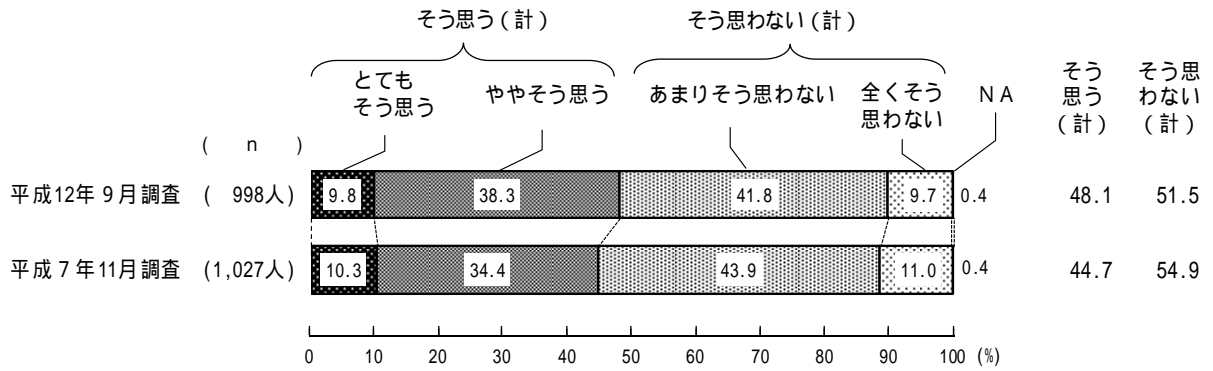
「子育ては、つらく、苦勞が多い」という意見について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の30代後半で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の50歳以上で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 9 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

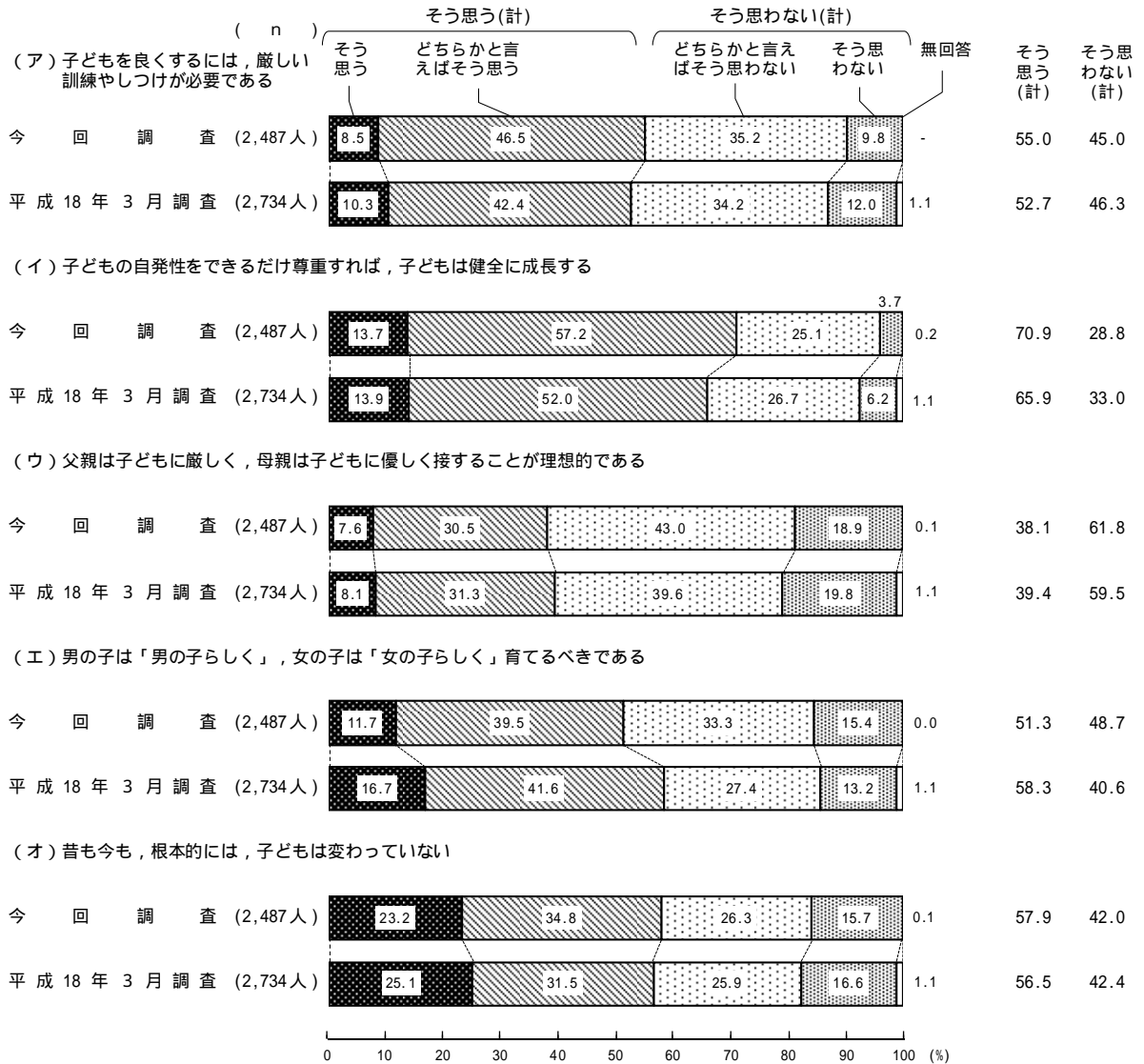
Q12b (前ページ(参考)の質問文に続いて)では、「子育ては、つらく、苦勞が多い」という意見については、どのように感じますか。



10 子供の育て方

問9 子どもの育て方については、様々な意見があります。あなたは、(ア)から(オ)のような意見それぞれについて、どの程度そう思いますか。

図 - 2 - 1 - 10 子供の育て方



< (ア) 子どもを良くするには、厳しい訓練やしつけが必要である >

「そう思う(計)」とする者の割合が 55.0% (「そう思う」(8.5%) + 「どちらかと言えばそう思う」(46.5%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 45.0% (「どちらかと言えばそう思わない」(35.2%) + 「そう思わない」(9.8%)) となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 - 2 - 1 - 10)

< (イ) 子どもの自発性をできるだけ尊重すれば、子どもは健全に成長する >

「そう思う(計)」とする者の割合が 70.9% (「そう思う」(13.7%) + 「どちらかと言えばそう思う」(57.2%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 28.8% (「どちらかと言えばそう思わない」(25.1%) + 「そう思わない」(3.7%)) となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が上昇(65.9% → 70.9%) し、「そう思わない(計)」とする者の割合が低下(33.0% → 28.8%) している。(図 - 2 - 1 - 10)

< (ウ) 父親は子どもに厳しく、母親は子どもに優しく接することが理想的である >

「そう思う(計)」とする者の割合が 38.1% (「そう思う」(7.6%) + 「どちらかと言えばそう思う」(30.5%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 61.8% (「どちらかと言えばそう思わない」(43.0%) + 「そう思わない」(18.9%)) となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 - 2 - 1 - 10)

< (エ) 男の子は「男の子らしく」、女の子は「女の子らしく」育てるべきである >

「そう思う(計)」とする者の割合が 51.3% (「そう思う」(11.7%) + 「どちらかと言えばそう思う」(39.5%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 48.7% (「どちらかと言えばそう思わない」(33.3%) + 「そう思わない」(15.4%)) となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(58.3% → 51.3%) し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(40.6% → 48.7%) している。(図 - 2 - 1 - 10)

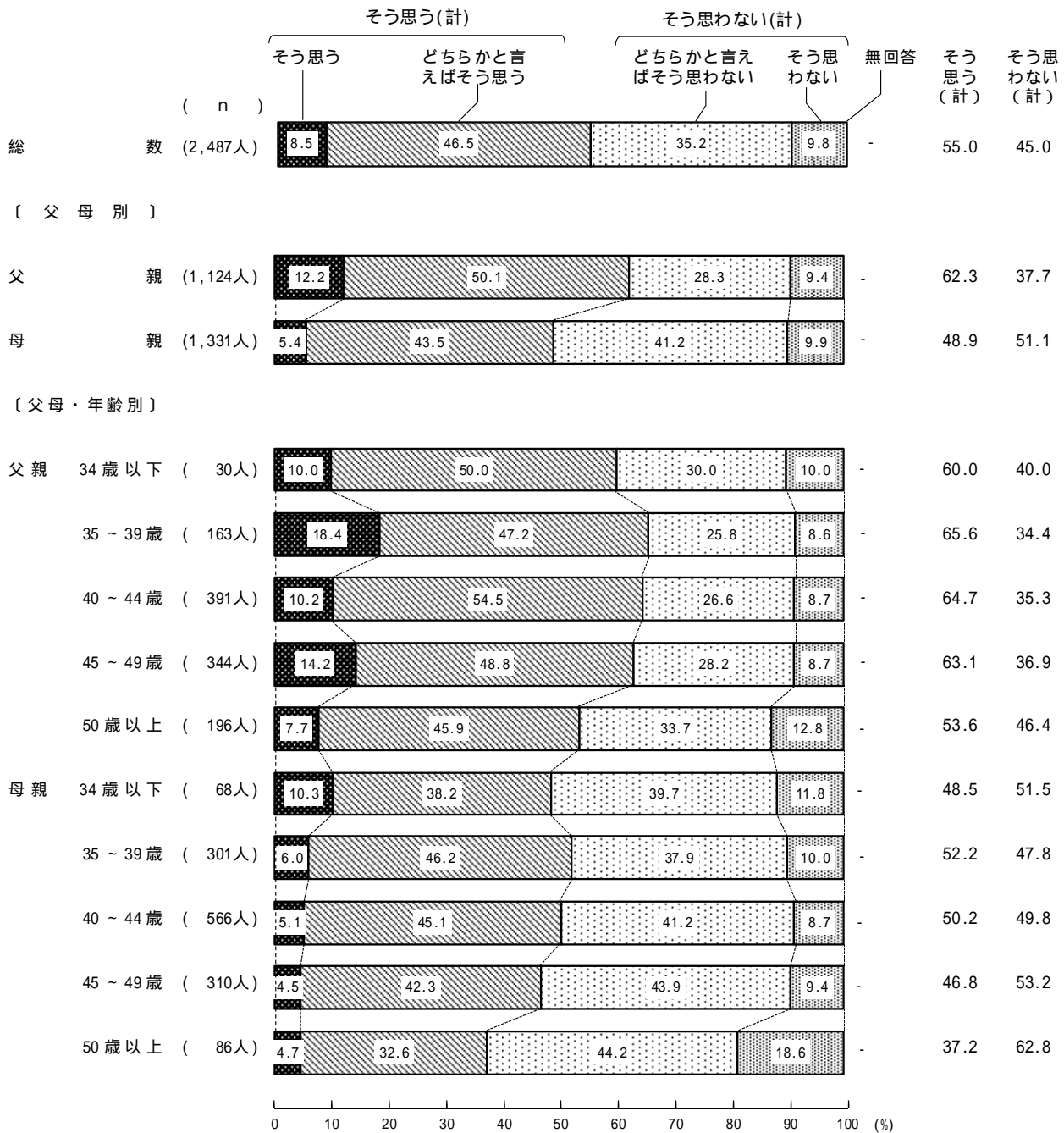
< (オ) 昔も今も、根本的には、子どもは変わっていない >

「そう思う(計)」とする者の割合が 57.9% (「そう思う」(23.2%) + 「どちらかと言えばそう思う」(34.8%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 42.0% (「どちらかと言えばそう思わない」(26.3%) + 「そう思わない」(15.7%)) となっている。

平成 18 年 3 月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 - 2 - 1 - 10)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 10 - 1 子供の育て方 - (ア) 子どもを良くするには、厳しい訓練やしつけが必要である (父母別、父母・年齢別)



「子どもを良くするには、厳しい訓練やしつけが必要である」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

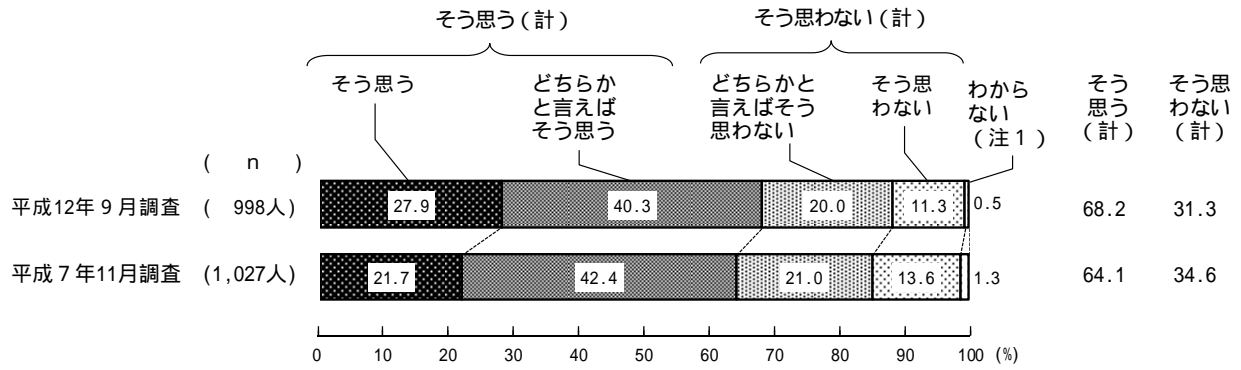
父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親の30代後半から40代で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の40代以上で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 1 - 10 - 1)

(参考)

子供の育て方 - (ア) 子どもを良くするには、厳しい訓練やしつけが必要である

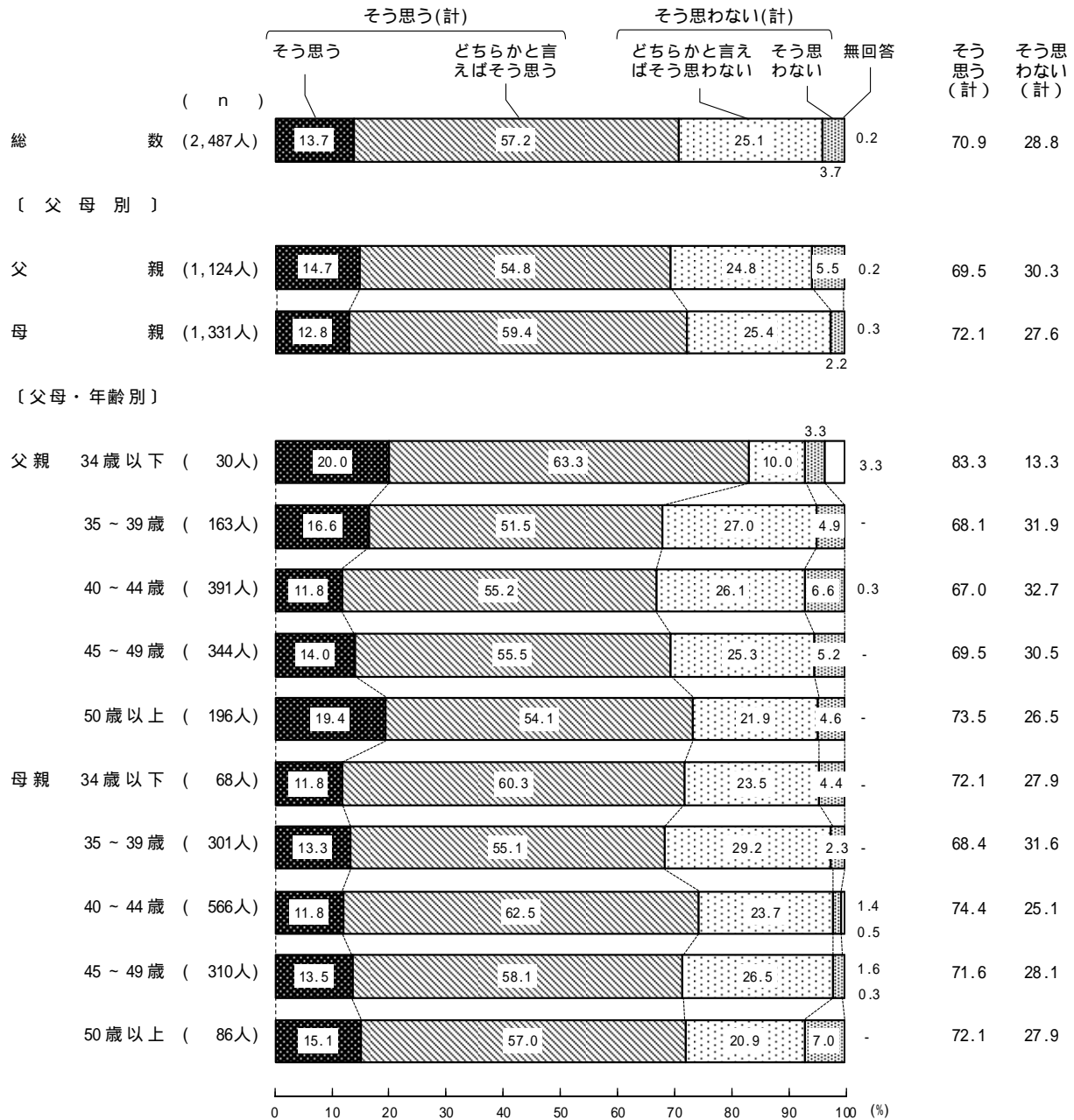
(平成12年9月調査, 平成7年11月調査)



(注1) 平成7年11月調査では、「わからない, NA」となっている

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 10 - 2 子供の育て方 - (イ) 子どもの自発性をできるだけ尊重すれば、
子どもは健全に成長する (父母別、父母・年齢別)



「子どもの自発性をできるだけ尊重すれば、子どもは健全に成長する」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の40代前半で高くなっている。

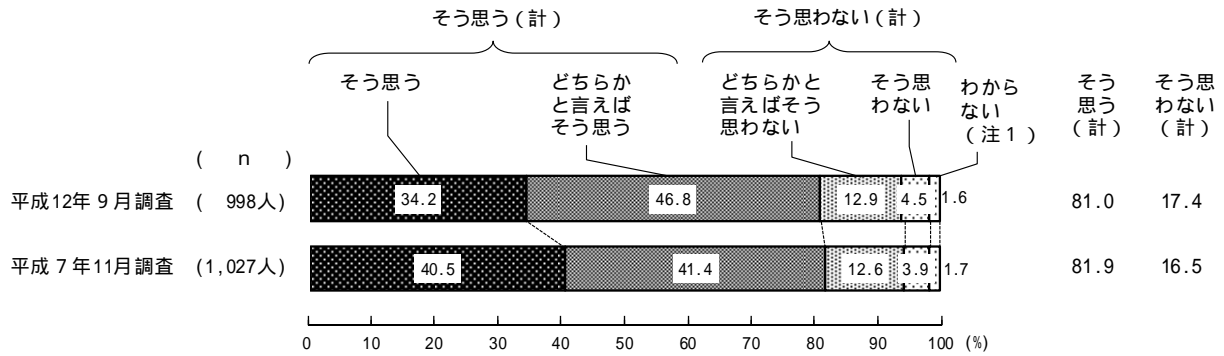
(図 - 2 - 1 - 10 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

子供の育て方 - (イ) 子どもの自発性をできるだけ尊重すれば、子どもは健全に成長する

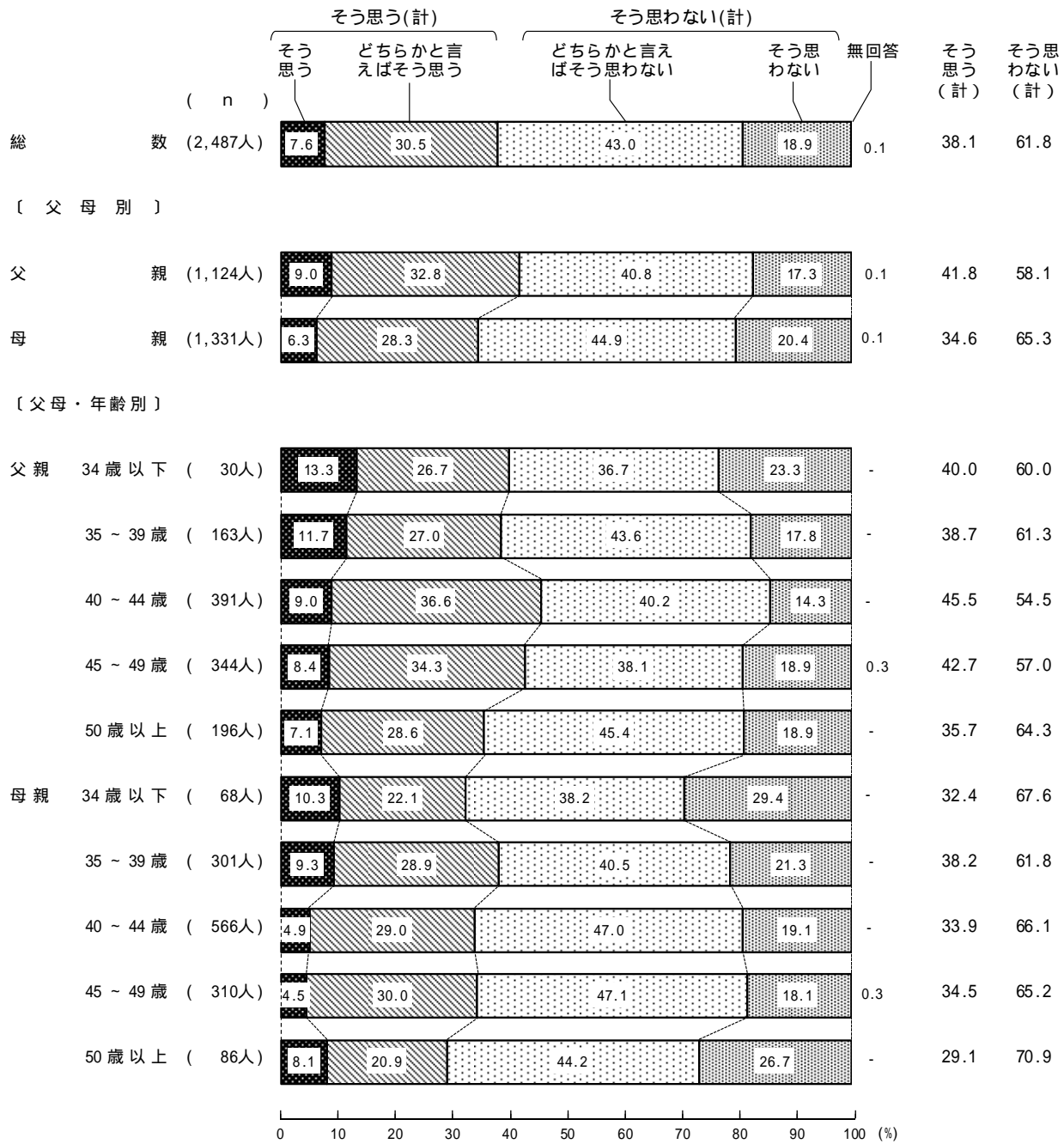
(平成12年9月調査, 平成7年11月調査)



(注1) 平成7年11月調査では、「わからない、NA」となっている

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 10 - 3 子供の育て方 - (ウ) 父親は子どもに厳しく，母親は子どもに優しく接することが理想的である (父母別，父母・年齢別)



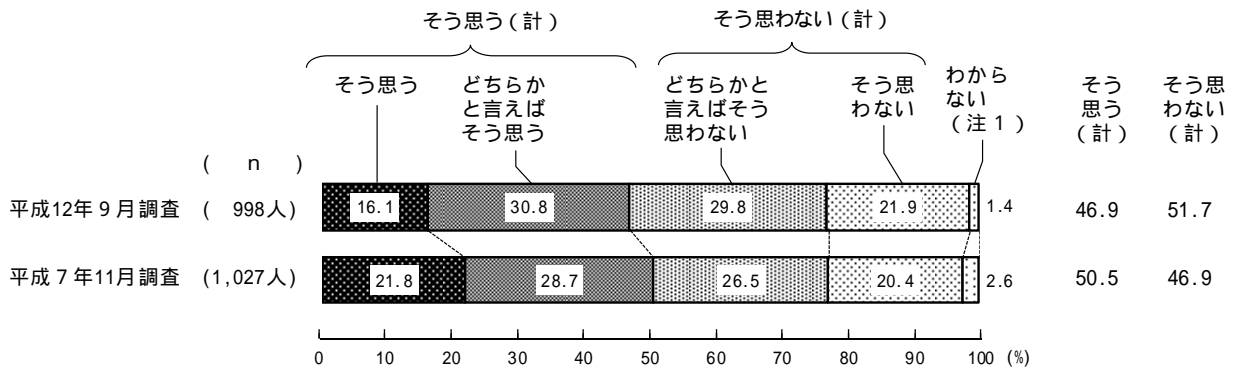
「父親は子どもに厳しく，母親は子どもに優しく接することが理想的である」について，父母別にみると，「そう思う(計)」とする者の割合は父親で，「そう思わない(計)」とする者の割合は母親で，それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると，「そう思う(計)」とする者の割合は父親の40代前半で，「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の40代前半で，それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 10 - 3)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

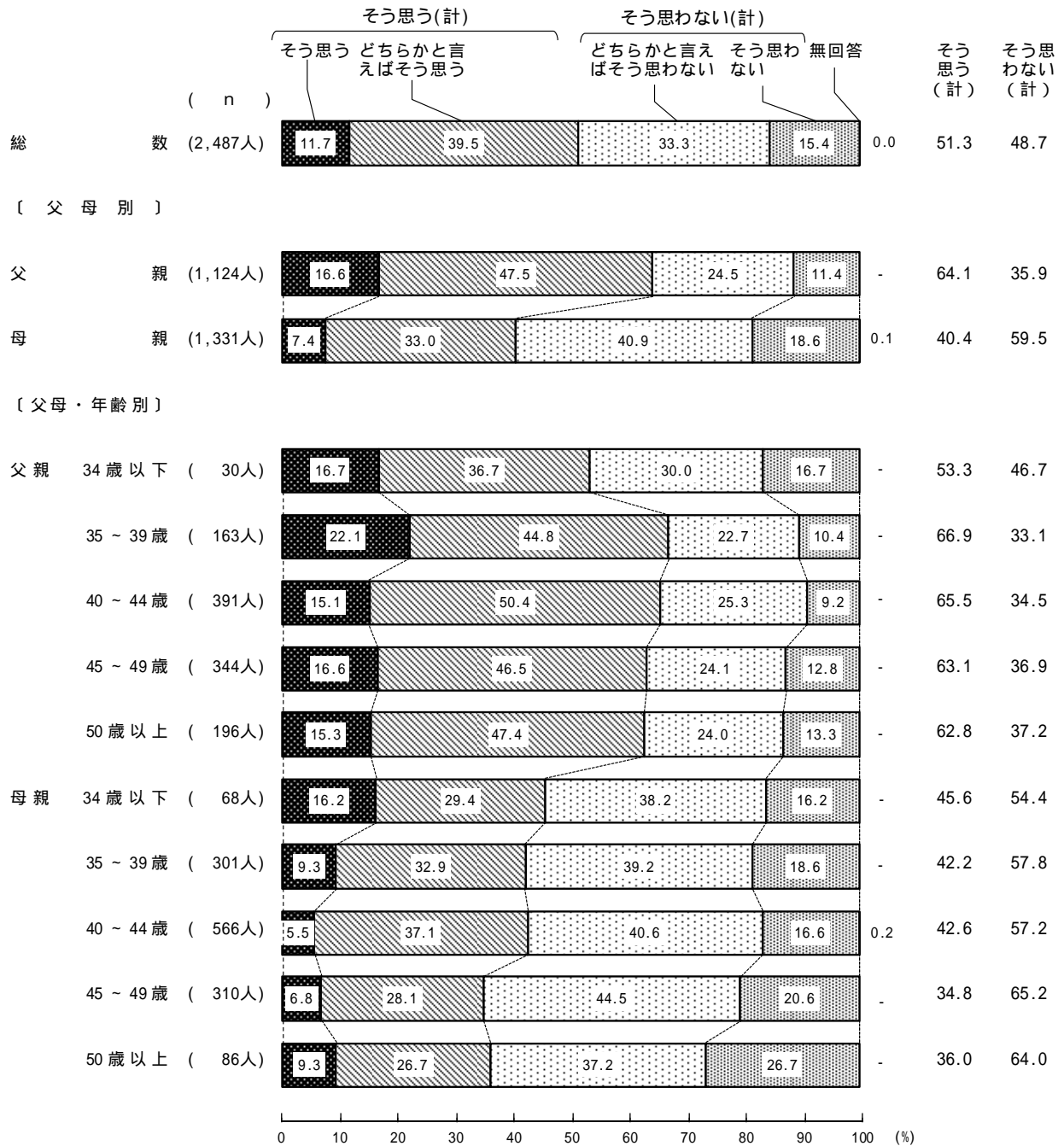
子供の育て方 - (ウ) 父親は子どもに厳しく、母親は子どもに優しく接することが理想的である (平成12年9月調査, 平成7年11月調査)



(注1) 平成7年11月調査では、「わからない, NA」となっている

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 10 - 4 子供の育て方 - (エ)男の子は「男の子らしく」、女の子は「女の子らしく」育てるべきである(父母別、父母・年齢別)



「男の子は「男の子らしく」、女の子は「女の子らしく」育てるべきである」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親の30代後半以上で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の30代後半以上で、それぞれ高くなっている。

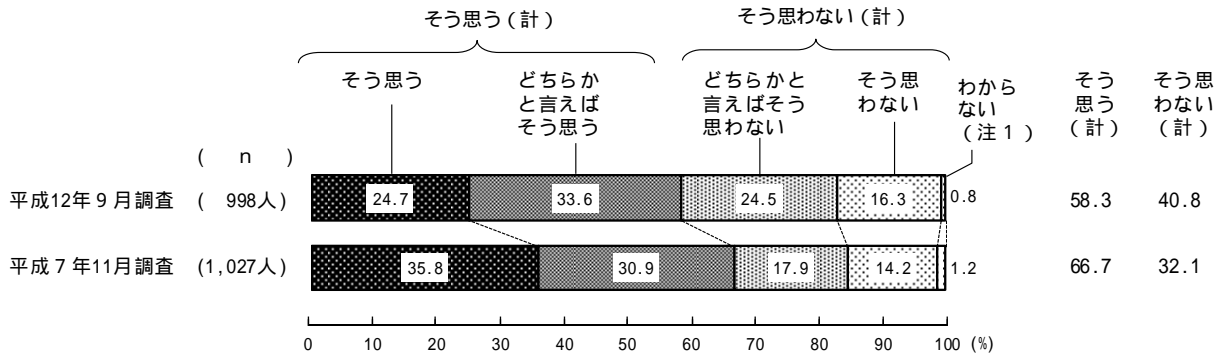
(図 - 2 - 1 - 10 - 4)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

子供の育て方 - (エ) 男の子は「男の子らしく」、女の子は「女の子らしく」

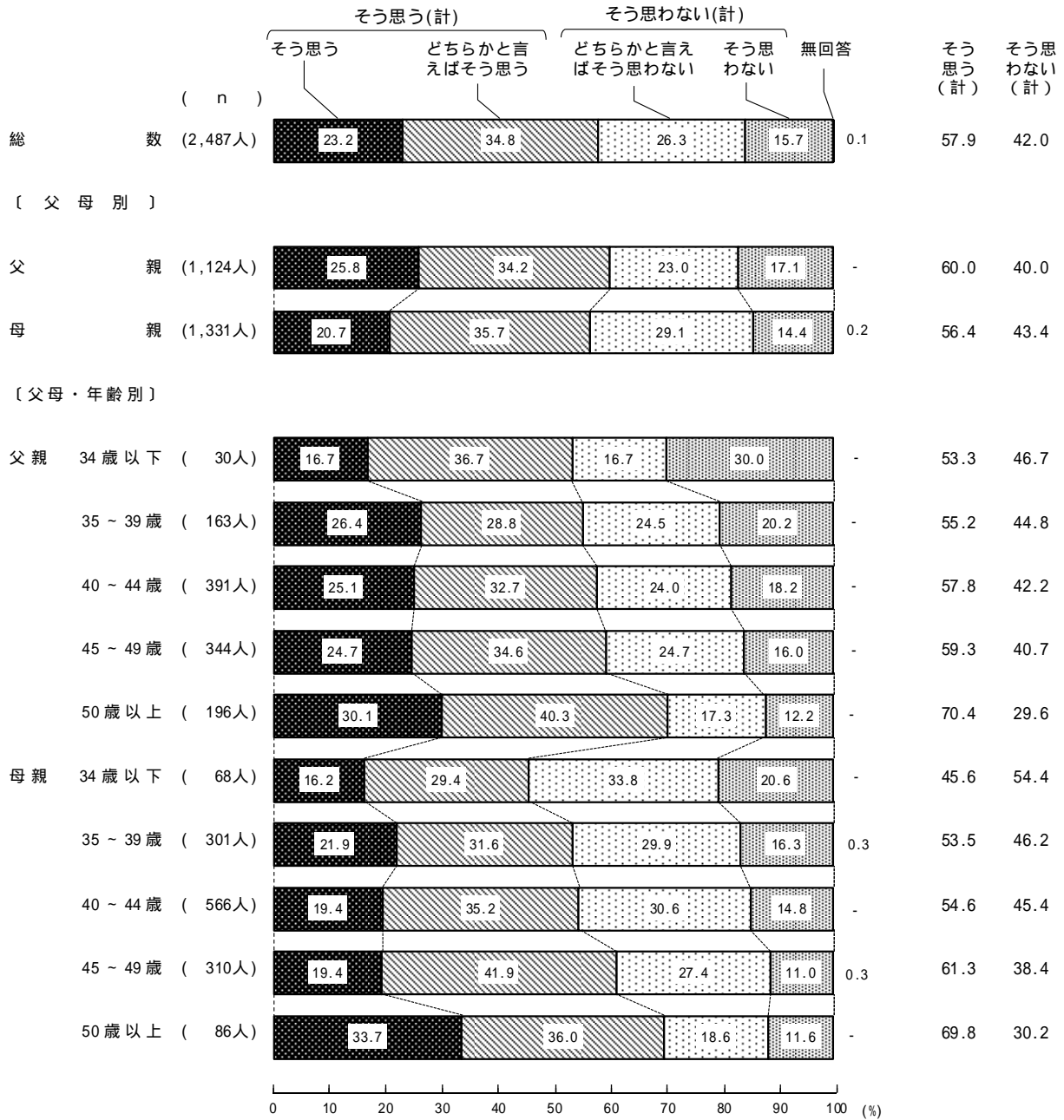
育てるべきである (平成12年9月調査, 平成7年11月調査)



(注1) 平成7年11月調査では、「わからない, NA」となっている

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 10 - 5 子供の育て方 - (オ) 昔も今も、根本的には、子どもは変わっていない
(父母別、父母・年齢別)



「昔も今も、根本的には、子どもは変わっていない」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

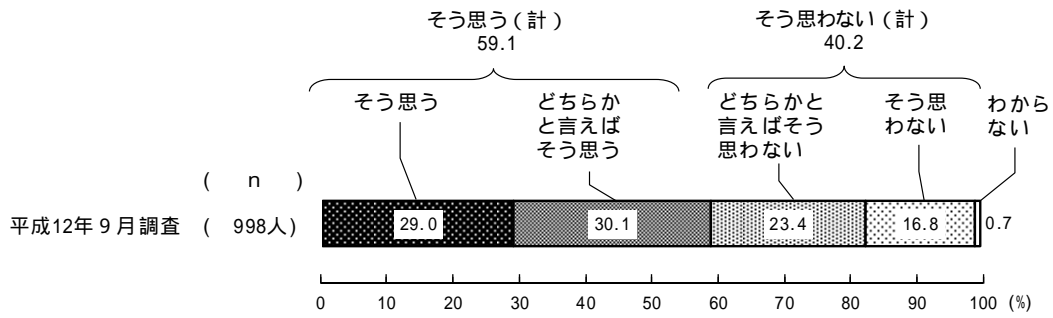
父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親、母親ともに50歳以上で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の34歳以下で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 1 - 10 - 5)

(参考)

子供の育て方 - (オ) 昔も今も、根本的には、子どもは変わっていない

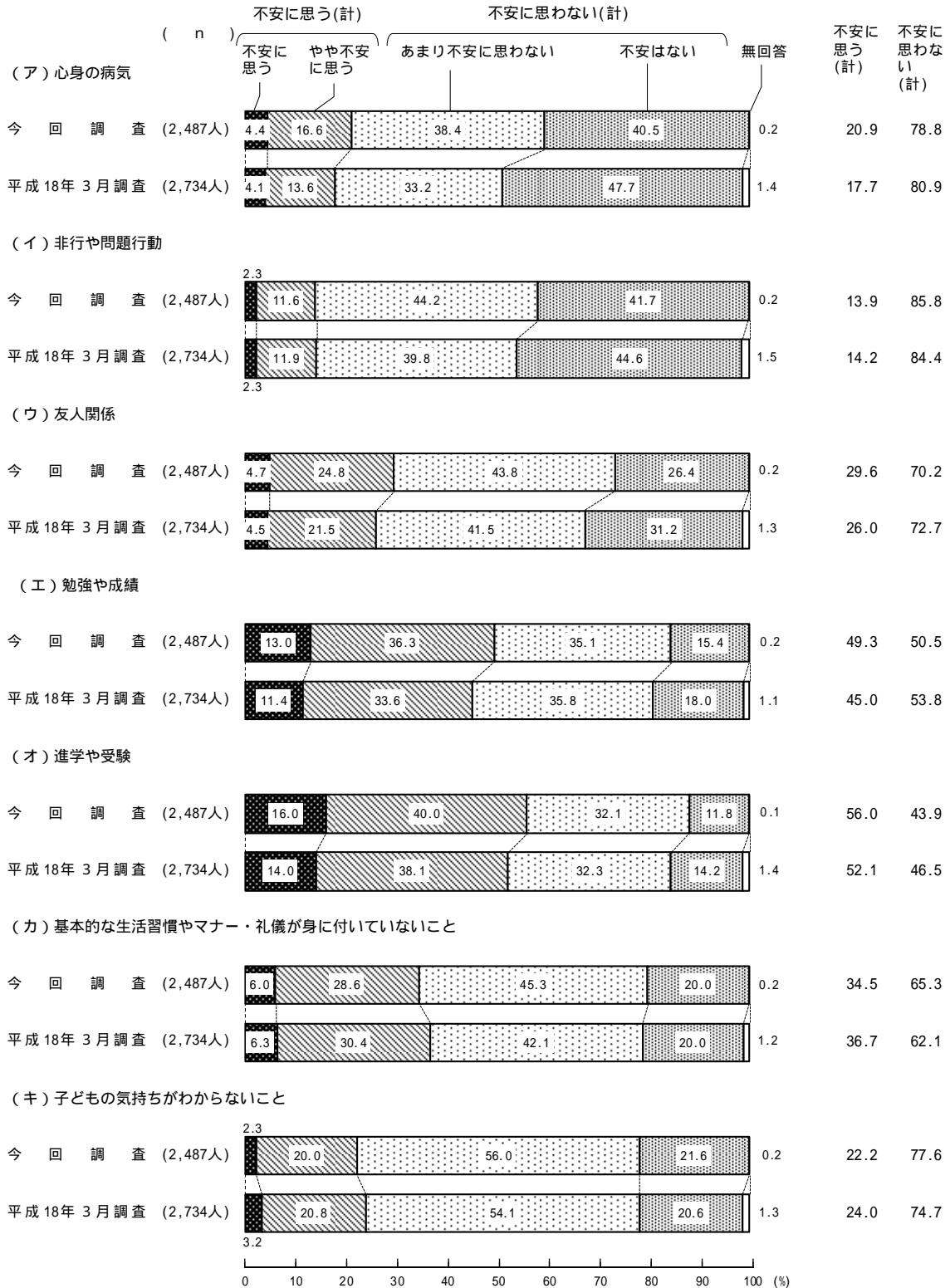
(平成12年9月調査)



11 子供についての不安

問 10 あなたは、 さんについて不安に思うことがありますか。(ア)から(キ)のそれぞれについて、1つずつお答えください。

図 - 2 - 1 - 11 子供についての不安



< (ア) 心身の病気 >

「不安に思う(計)」とする者の割合が20.9%(「不安に思う」(4.4%)+「やや不安に思う」(16.6%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が78.8%(「あまり不安に思わない」(38.4%)+「不安はない」(40.5%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思う(計)」とする者の割合が上昇(17.7%→20.9%)している。(図 -2-1-11)

< (イ) 非行や問題行動 >

「不安に思う(計)」とする者の割合が13.9%(「不安に思う」(2.3%)+「やや不安に思う」(11.6%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が85.8%(「あまり不安に思わない」(44.2%)+「不安はない」(41.7%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思う(計)」とする者の割合と、「不安に思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-1-11)

< (ウ) 友人関係 >

「不安に思う(計)」とする者の割合が29.6%(「不安に思う」(4.7%)+「やや不安に思う」(24.8%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が70.2%(「あまり不安に思わない」(43.8%)+「不安はない」(26.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思う(計)」とする者の割合が上昇(26.0%→29.6%)し、「不安に思わない(計)」とする者の割合が低下(72.7%→70.2%)している。(図 -2-1-11)

< (エ) 勉強や成績 >

「不安に思う(計)」とする者の割合が49.3%(「不安に思う」(13.0%)+「やや不安に思う」(36.3%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が50.5%(「あまり不安に思わない」(35.1%)+「不安はない」(15.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思う(計)」とする者の割合が上昇(45.0%→49.3%)し、「不安に思わない(計)」とする者の割合が低下(53.8%→50.5%)している。(図 -2-1-11)

< (オ) 進学や受験 >

「不安に思う(計)」とする者の割合が56.0%(「不安に思う」(16.0%)+「やや不安に思う」(40.0%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が43.9%(「あまり不安に思わない」(32.1%)+「不安はない」(11.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思う(計)」とする者の割合が上昇(52.1%→56.0%)している。(図 -2-1-11)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

< (カ) 基本的な生活習慣やマナー・礼儀が身に付いていないこと >

「不安に思う(計)」とする者の割合が34.5%(「不安に思う」(6.0%)+「やや不安に思う」(28.6%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が65.3%(「あまり不安に思わない」(45.3%)+「不安はない」(20.0%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思わない(計)」とする者の割合が上昇(62.1%→65.3%)している。(図 -2-1-11)

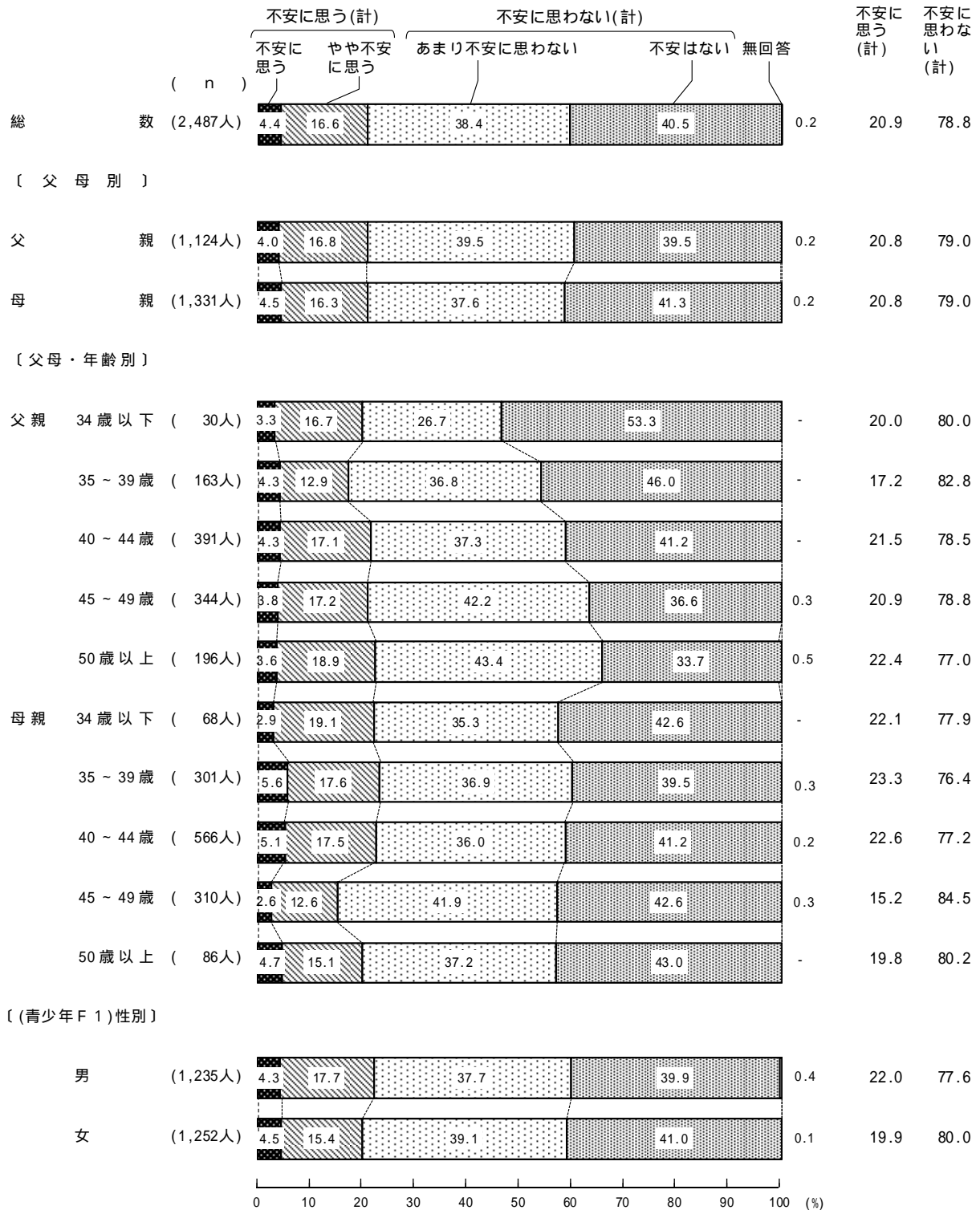
< (キ) 子どもの気持ちがわからないこと >

「不安に思う(計)」とする者の割合が22.2%(「不安に思う」(2.3%)+「やや不安に思う」(20.0%)), 「不安に思わない(計)」とする者の割合が77.6%(「あまり不安に思わない」(56.0%)+「不安はない」(21.6%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「不安に思わない(計)」とする者の割合が上昇(74.7%→77.6%)している。(図 -2-1-11)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 1 子供についての不安 - (ア) 心身の病気
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1) 性別)



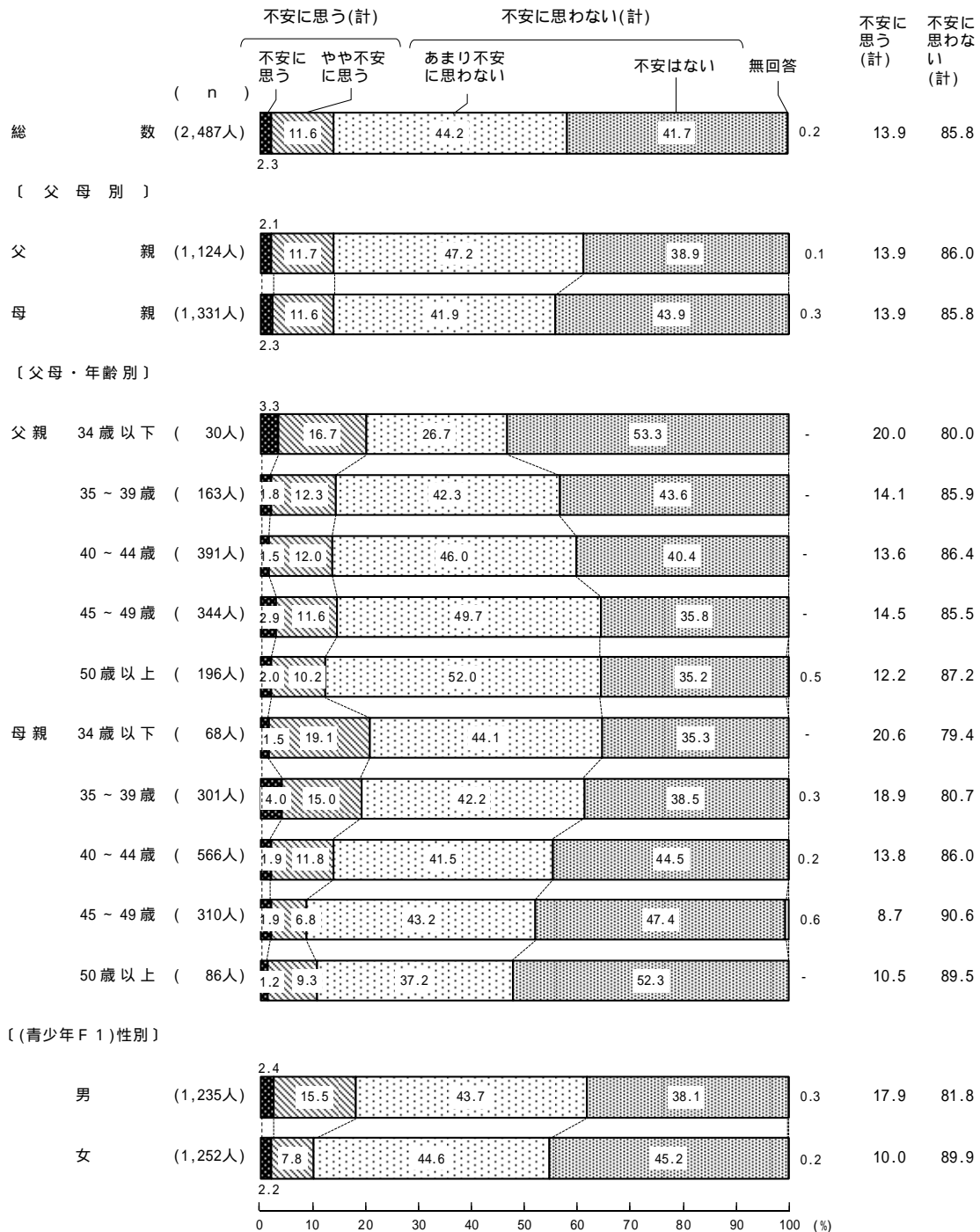
「心身の病気」について、父母別にみると、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「不安に思わない(計)」とする者の割合は母親の40代後半で高くなっている。

青少年の性別にみると、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 11 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 2 子供についての不安 - (イ) 非行や問題行動
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1)性別)



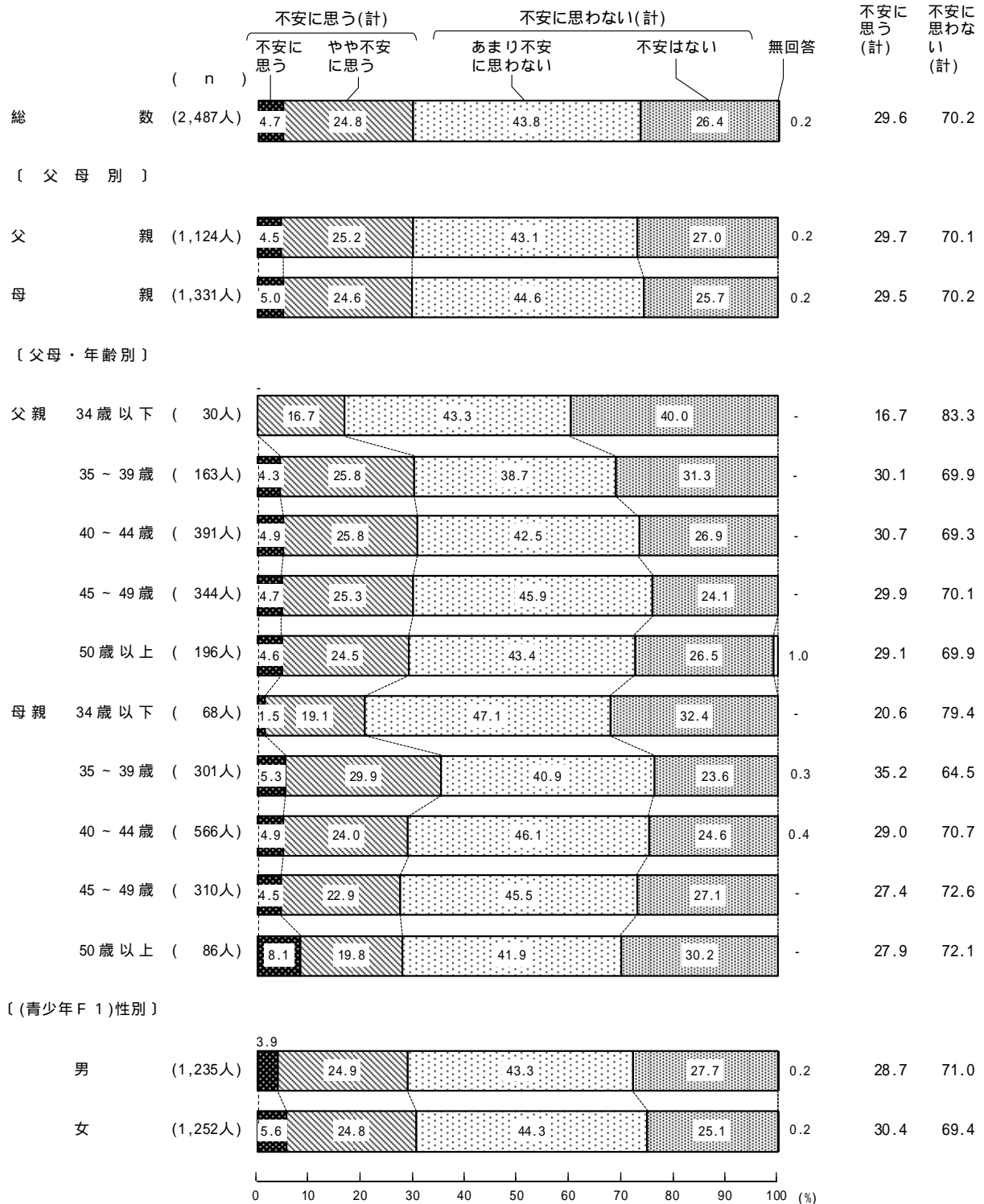
「非行や問題行動」について、父母別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合と、「不安に思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は母親の30代後半で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は母親の40代後半で、それぞれ高くなっている。

青少年の性別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は男で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は女で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 11 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

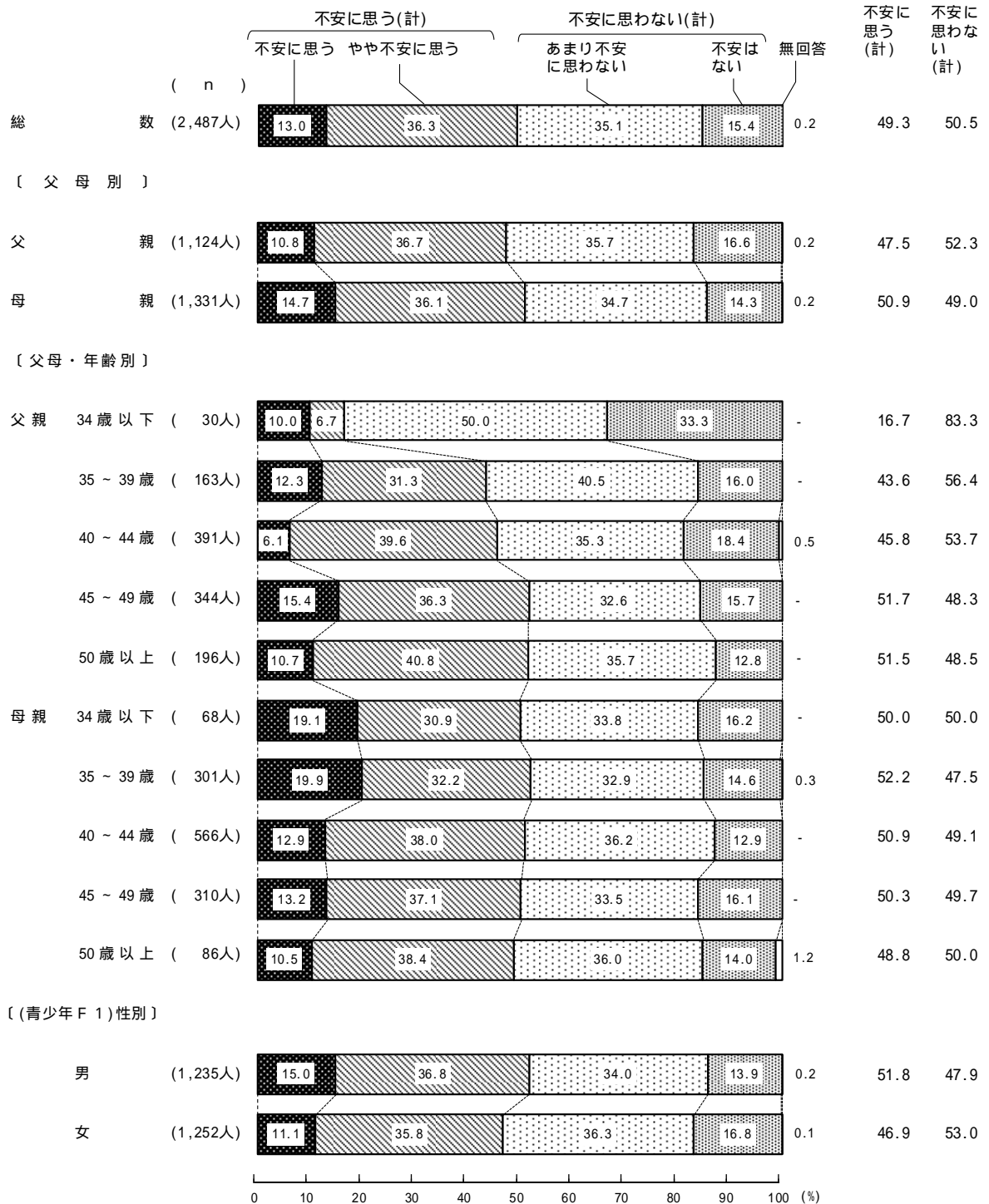
図 - 2 - 1 - 11 - 3 子供についての不安 - (ウ) 友人関係
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1) 性別)



「友人関係」について、父母別にみると、大きな差異は見られない。
 父母・年齢別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は母親の30代後半で高くなっている。
 青少年の性別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合と、「不安に思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 11 - 3)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 4 子供についての不安 - (工) 勉強や成績
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1) 性別)

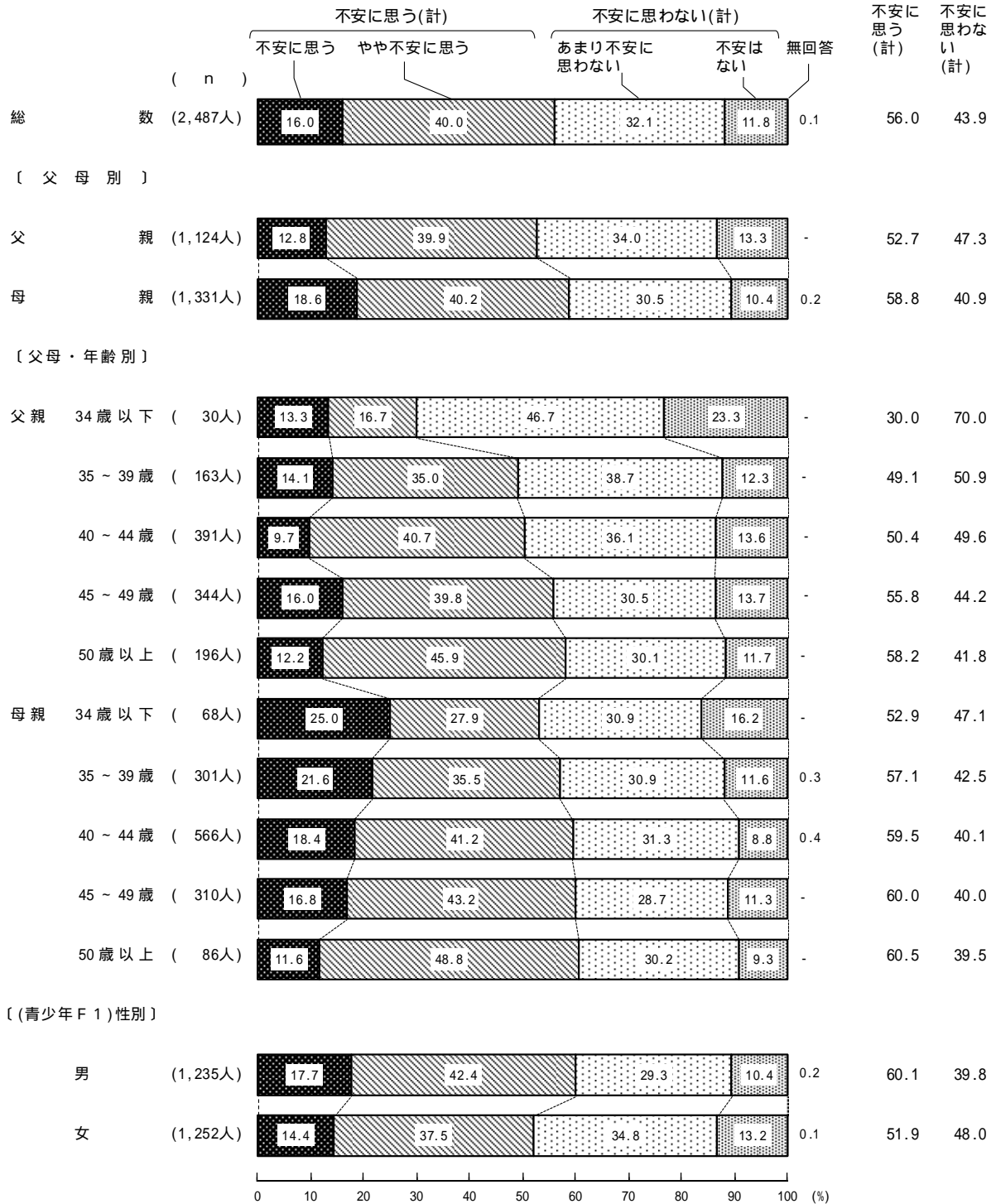


「勉強や成績」について、父母別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合と、「不安に思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

青少年の性別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は男で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は女で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 11 - 4)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 5 子供についての不安 - (オ)進学や受験
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1)性別)

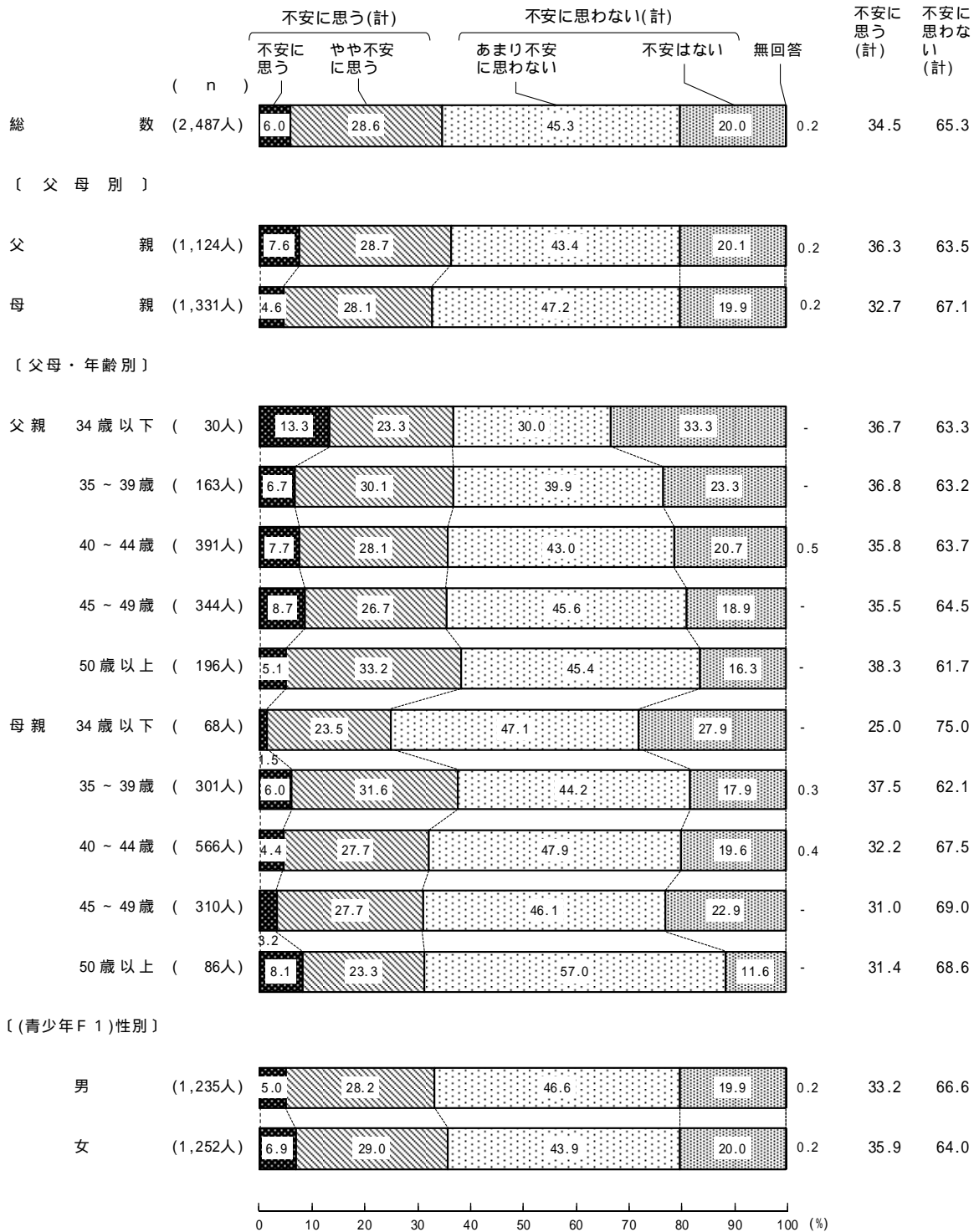


「進学や受験」について、父母別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は母親で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

青少年の性別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は男で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は女で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 11 - 5)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 6 子供についての不安 - (カ) 基本的な生活習慣やマナ - ・礼儀が身に付いていないこと (父母別, 父母・年齢別, (青少年F1) 性別)



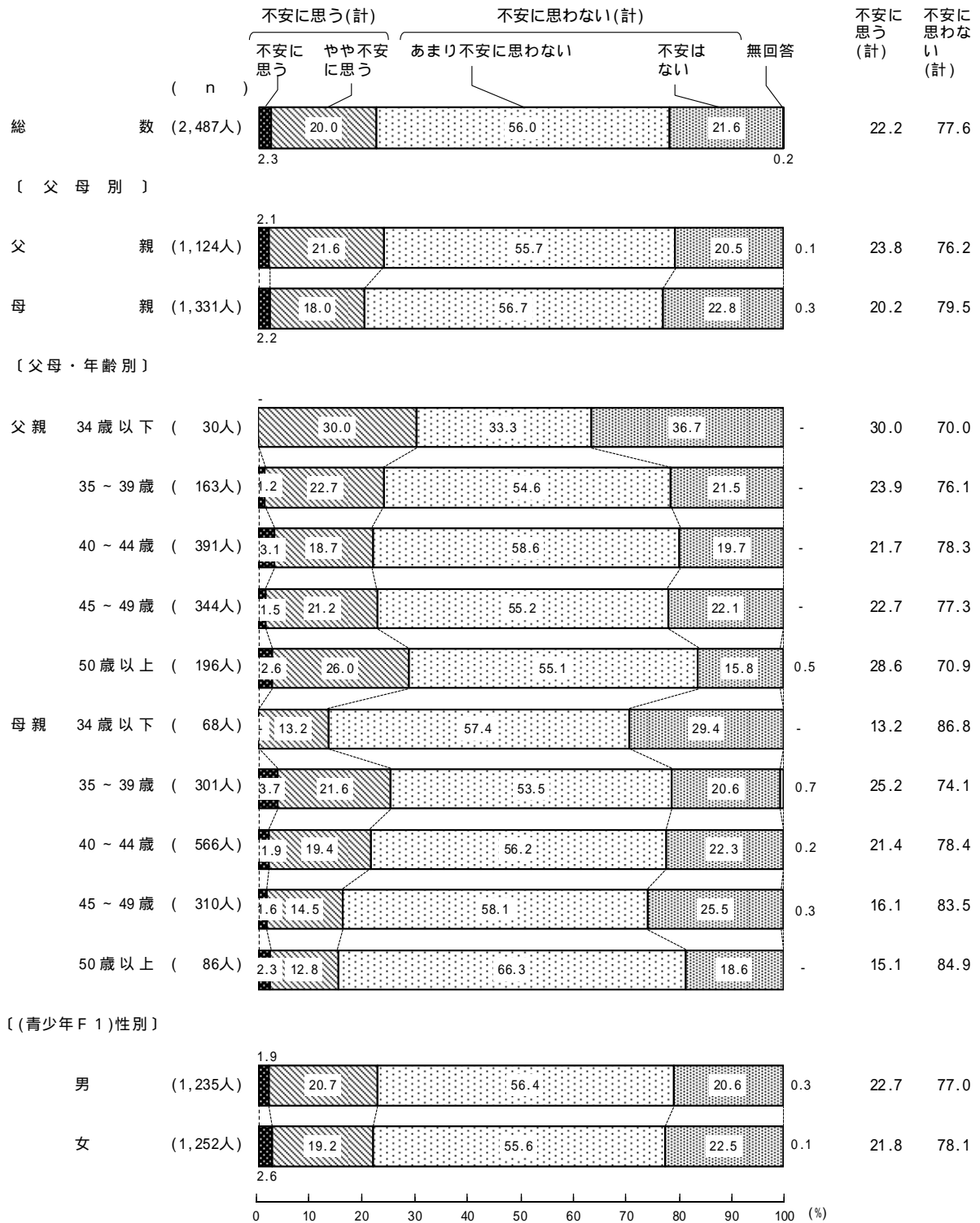
「基本的な生活習慣やマナ - ・礼儀が身に付いていないこと」について、父母別にみると、「不安に思わない(計)」とする者の割合は母親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合と、「不安に思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

青少年の性別にみると、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 11 - 6)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 11 - 7 子供についての不安 - (キ) 子どもの気持ちがわからないこと
(父母別, 父母・年齢別, (青少年F1) 性別)



「子どもの気持ちがわからないこと」について、父母別にみると、「不安に思わない(計)」とする者の割合は母親で高くなっている。

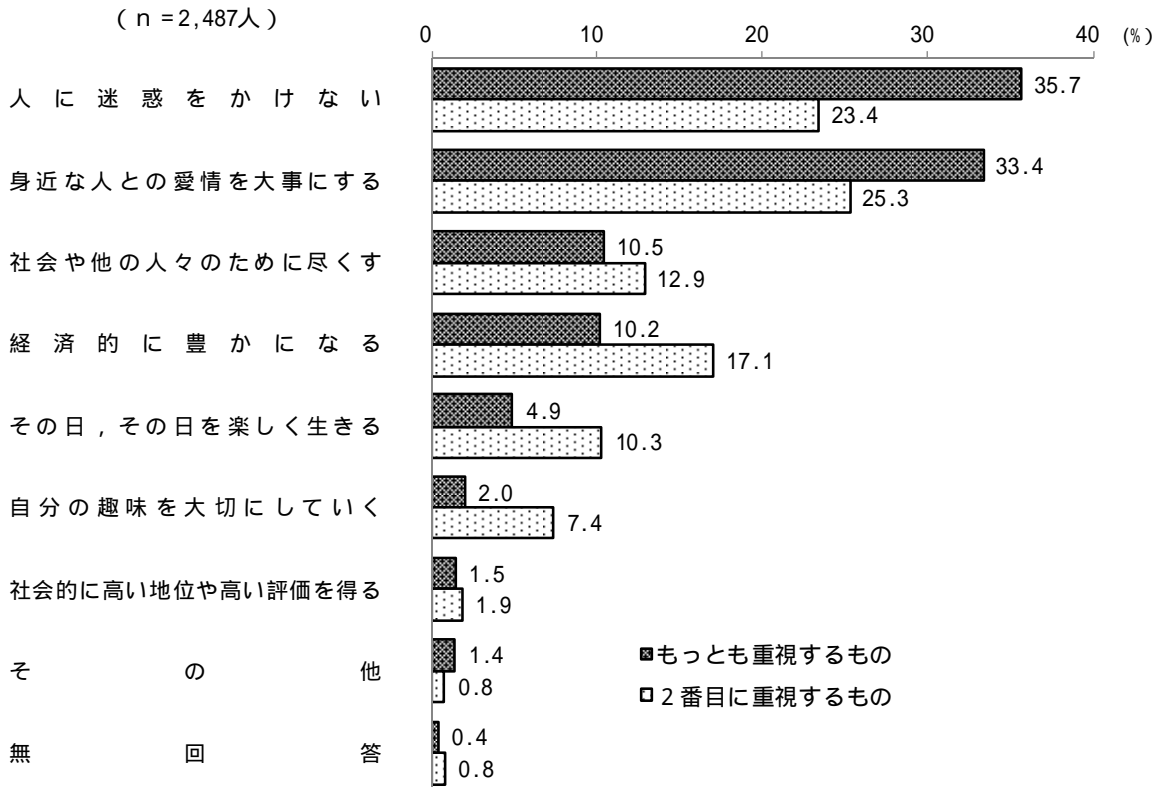
父母・年齢別にみると、「不安に思う(計)」とする者の割合は父親の50歳以上で、「不安に思わない(計)」とする者の割合は母親の40代後半で、それぞれ高くなっている。

青少年の性別にみると、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 1 - 11 - 7)

12 子供に希望する生き方

問 11 あなたは、 さんに、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。この中から、あなたが重視するものを順位をつけて2つ選んでください。

図 - 2 - 1 - 12 子供に希望する生き方

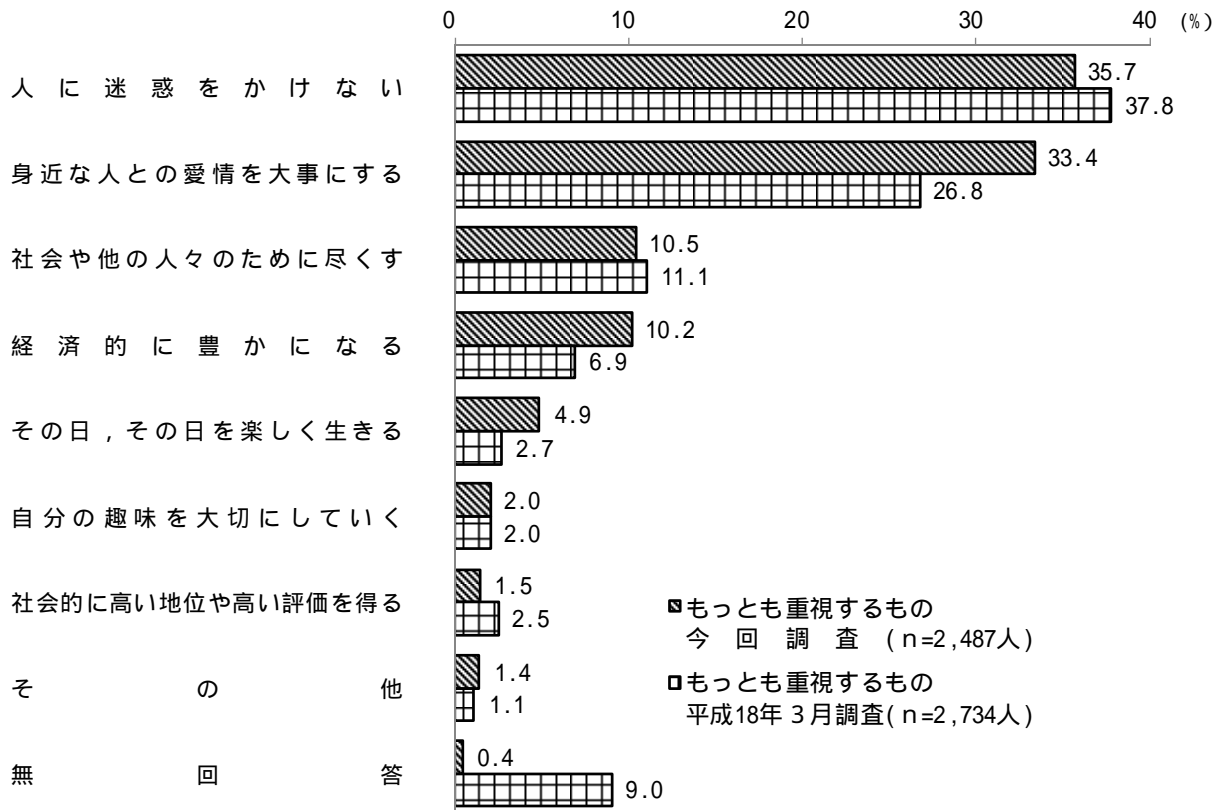


調査の対象となった子供に、将来どのような生き方をしてほしいと思うか聞いたところ、「もっとも重視するもの」については、「人に迷惑をかけない」を挙げた者の割合が 35.7%、「身近な人との愛情を大事にする」を挙げた者の割合が 33.4%と高く、以下、「社会や他の人々のために尽くす」(10.5%)、「経済的に豊かになる」(10.2%)などの順となっている。

「2番目に重視するもの」については、「身近な人との愛情を大事にする」を挙げた者の割合が 25.3%、「人に迷惑をかけない」を挙げた者の割合が 23.4%と高く、以下、「経済的に豊かになる」(17.1%)、「社会や他の人々のために尽くす」(12.9%)などの順となっている。(図 - 2 - 1 - 12)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

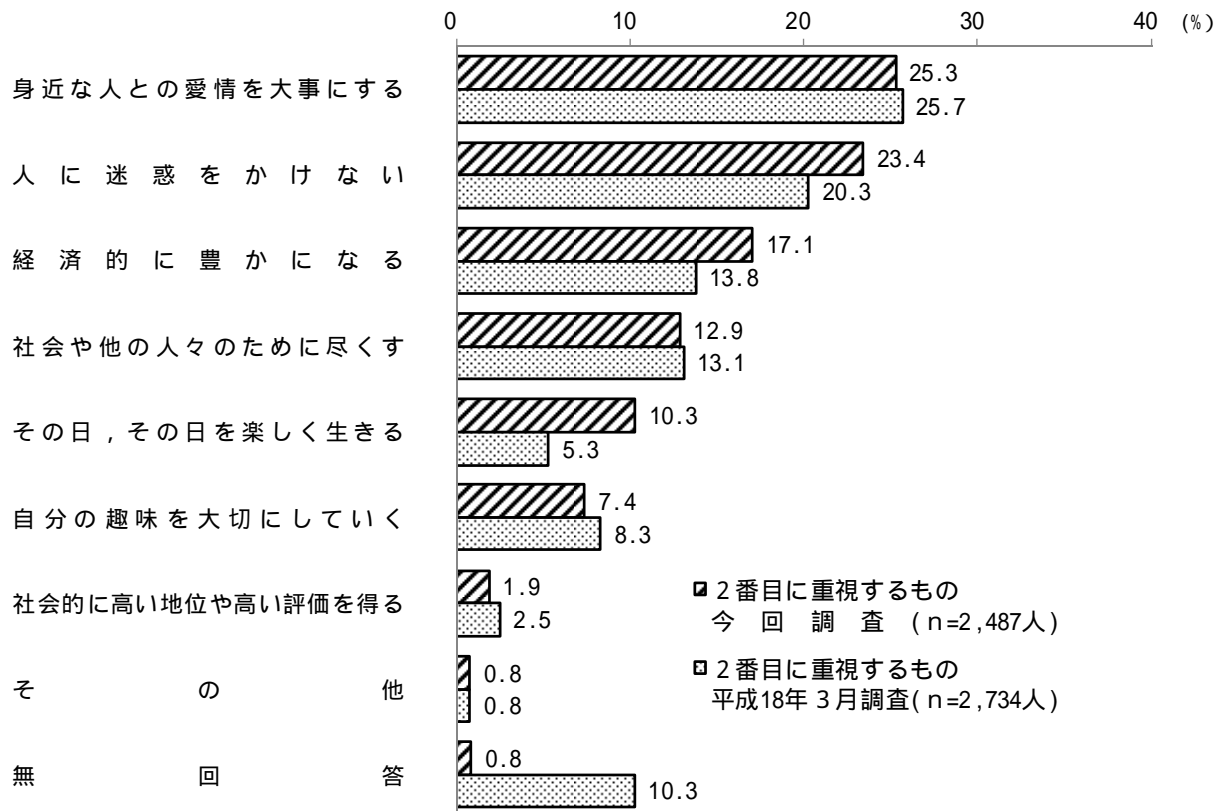
図 - 2 - 1 - 12 - 1 子供に希望する生き方 - もっとも重視するもの



「もっとも重視するもの」について、平成18年3月調査と比較してみると、「身近な人との愛情を大事にする」(26.8% 33.4%)、「経済的に豊かになる」(6.9% 10.2%)を挙げた者の割合が上昇している。(図 - 2 - 1 - 12 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 12 - 2 子供に希望する生き方 - 2番目に重視するもの



「2番目に重視するもの」について、平成18年3月調査と比較してみると、「人に迷惑をかけない」(20.3% 23.4%)、「経済的に豊かになる」(13.8% 17.1%)を挙げた者の割合が上昇している。

(図 - 2 - 1 - 12 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

表 - 2 - 1 - 12 - 1 子供に希望する生き方 - もっとも重視するもの (父母別, 父母・年齢別)

		n	人に迷惑を かけない	身近な人との 愛情を大事 にする	社会や他の 人々のために 尽くす	経済的に豊 かになる	その日、その 日を楽しく 生きる	自分の趣味を 大切にしてい く	社会的に高い 地位や高い 評価を得る	その他	無 回 答
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数		2,487	35.7	33.4	10.5	10.2	4.9	2.0	1.5	1.4	0.4
[父母別]											
父親		1,124	35.4	32.2	11.9	10.8	3.9	2.4	1.9	1.0	0.5
母親		1,331	35.6	34.6	9.2	9.7	5.9	1.7	1.1	1.9	0.4
[父母・年齢別]											
父親	34歳以下	30	43.3	33.3	-	10.0	10.0	-	3.3	-	-
	35～39歳	163	35.0	34.4	9.2	11.7	6.1	1.8	1.8	-	-
	40～44歳	391	33.8	32.0	12.3	12.3	4.1	2.8	1.5	1.3	-
	45～49歳	344	40.1	33.1	8.7	9.9	2.6	1.7	2.0	0.9	0.9
	50歳以上	196	29.6	29.1	20.9	8.7	3.1	3.6	2.0	1.5	1.5
母親	34歳以下	68	45.6	27.9	2.9	10.3	10.3	2.9	-	-	-
	35～39歳	301	29.9	38.9	7.3	11.0	7.0	1.7	1.0	2.7	0.7
	40～44歳	566	37.1	35.3	7.8	8.7	5.8	2.3	0.9	1.8	0.4
	45～49歳	310	37.4	32.3	11.9	9.4	4.2	1.0	1.6	1.9	0.3
	50歳以上	86	31.4	27.9	20.9	12.8	4.7	-	1.2	1.2	-

「もっとも重視するもの」について、父母別にみると、「社会や他の人々のために尽くす」を挙げた者の割合は父親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「身近な人との愛情を大事にする」を挙げた者の割合は母親の30代後半で、「社会や他の人々のために尽くす」を挙げた者の割合は父親、母親ともに50歳以上で、それぞれ高くなっている。(表 - 2 - 1 - 12 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

表 - 2 - 1 - 12 - 2 子供に希望する生き方 - 2番目に重視するもの(父母別, 父母・年齢別)

	n	身近な人との愛情を大事にする	人に迷惑をかけない	経済的に豊かになる	社会や他の人々のために尽くす	その日、その日を楽しく生きる	自分の趣味を大切にしてい	社会的に高い地位や高い評価を得る	その他	無回答
		%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,487	25.3	23.4	17.1	12.9	10.3	7.4	1.9	0.8	0.8
[父母別]										
父親	1,124	22.8	22.8	17.9	13.0	11.0	9.1	1.9	1.0	0.6
母親	1,331	27.4	23.5	16.8	12.8	9.8	6.0	2.0	0.7	1.0
[父母・年齢別]										
父親 34歳以下	30	3.3	20.0	26.7	13.3	26.7	10.0	-	-	-
35～39歳	163	21.5	21.5	19.6	9.8	14.7	10.4	1.2	1.2	-
40～44歳	391	25.1	26.6	16.4	9.7	10.0	9.2	2.0	1.0	-
45～49歳	344	20.6	21.2	18.6	16.6	10.8	7.6	2.0	1.5	1.2
50歳以上	196	26.0	19.4	16.8	15.8	8.2	10.2	2.0	-	1.5
母親 34歳以下	68	22.1	22.1	25.0	8.8	11.8	10.3	-	-	-
35～39歳	301	23.6	31.9	15.9	8.6	9.3	7.0	1.7	1.0	1.0
40～44歳	566	28.4	21.0	16.3	12.4	12.7	4.8	2.7	0.7	1.1
45～49歳	310	28.4	22.3	15.5	19.4	4.8	6.1	1.6	0.6	1.3
50歳以上	86	34.9	16.3	20.9	10.5	9.3	7.0	1.2	-	-

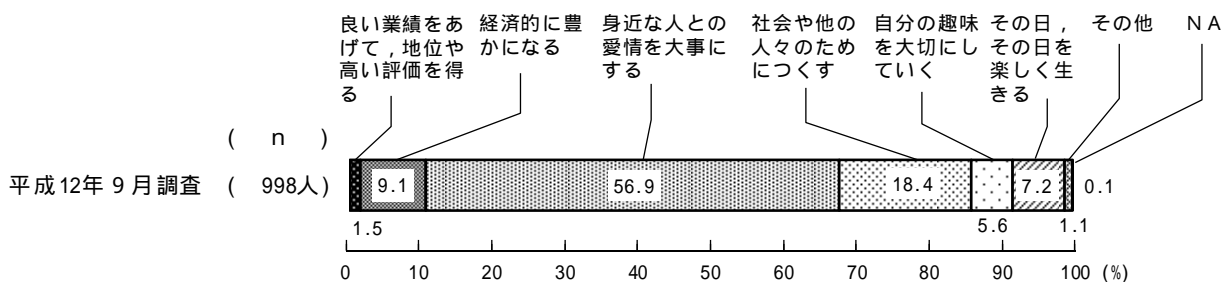
「2番目に重視するもの」について、父母別にみると、「身近な人との愛情を大事にする」を挙げた者の割合は母親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「身近な人との愛情を大事にする」を挙げた者の割合は母親の40代前半、50歳以上で、「人に迷惑をかけない」を挙げた者の割合は母親の30代後半で、「社会や他の人々のために尽くす」を挙げた者の割合は父親、母親ともに40代後半で、それぞれ高くなっている。

(表 - 2 - 1 - 12 - 2)

(参考)

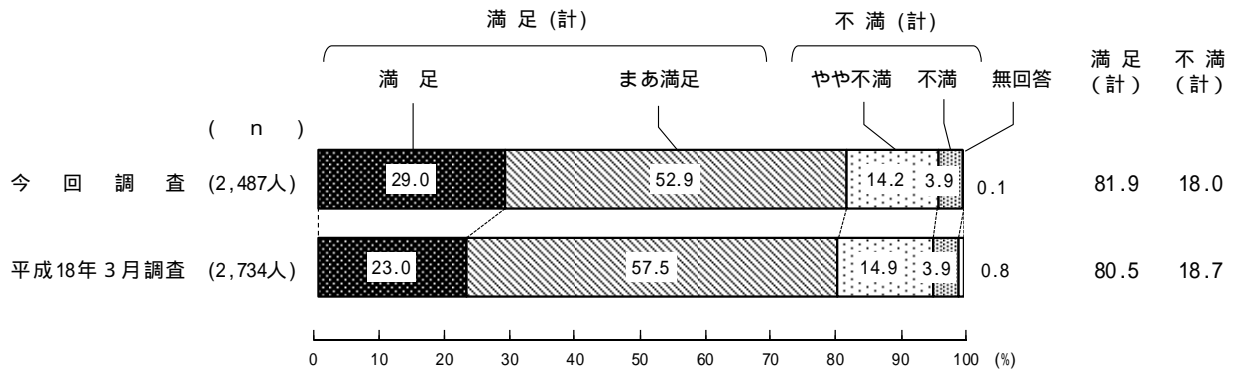
Q9 あなたは、 さんに、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。
この中からあなたが最も重視するものを一つだけ選んでください。



13 家庭生活の満足度

問 12 あなたは、現在の家庭生活にどのくらい満足していますか。
この中から1つ選んでください。

図 - 2 - 1 - 13 家庭生活の満足度

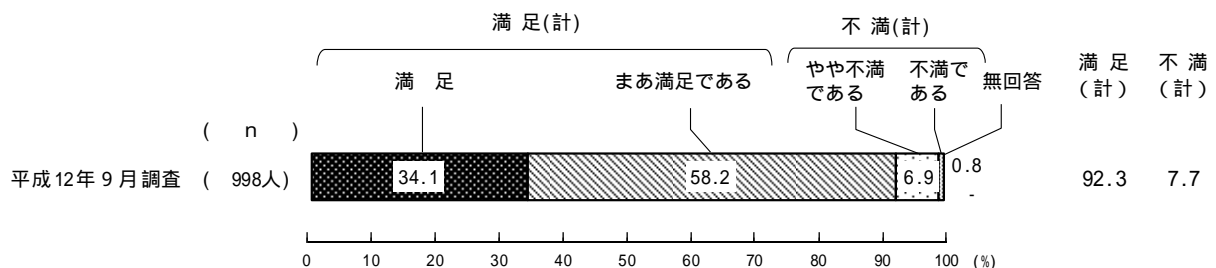


現在の家庭生活にどのくらい満足しているか聞いたところ、「満足(計)」とする者の割合が81.9% (「満足」(29.0%) + 「まあ満足」(52.9%)), 「不満(計)」とする者の割合が18.0% (「やや不満」(14.2%) + 「不満」(3.9%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「満足(計)」とする者の割合と、「不満(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 - 2 - 1 - 13)

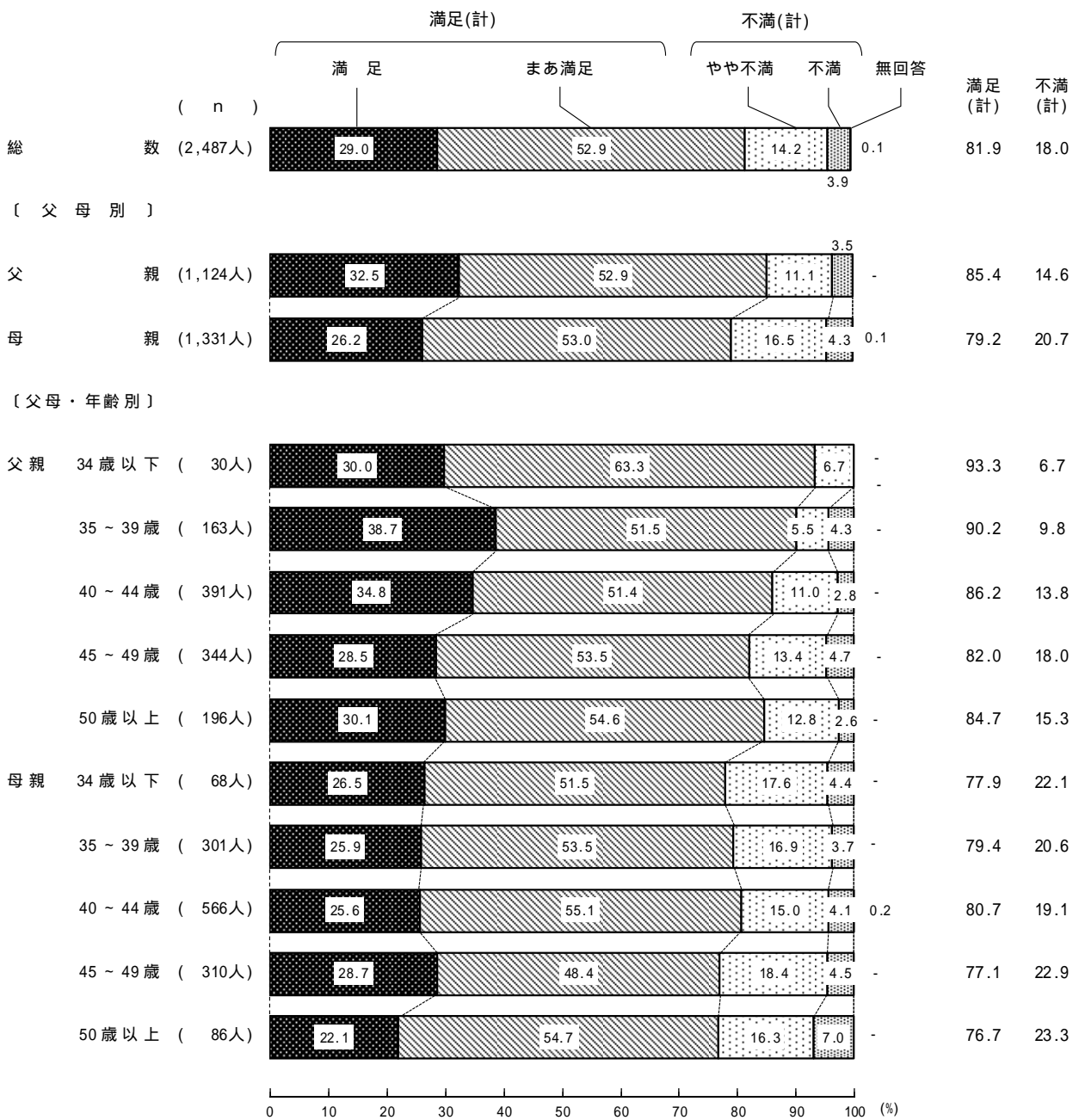
(参考)

Q14 あなたは、現在の家庭生活にどのくらい満足していますか。
この中から、一つ選んでください。



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 13 - 1 家庭生活の満足度（父母別，父母・年齢別）



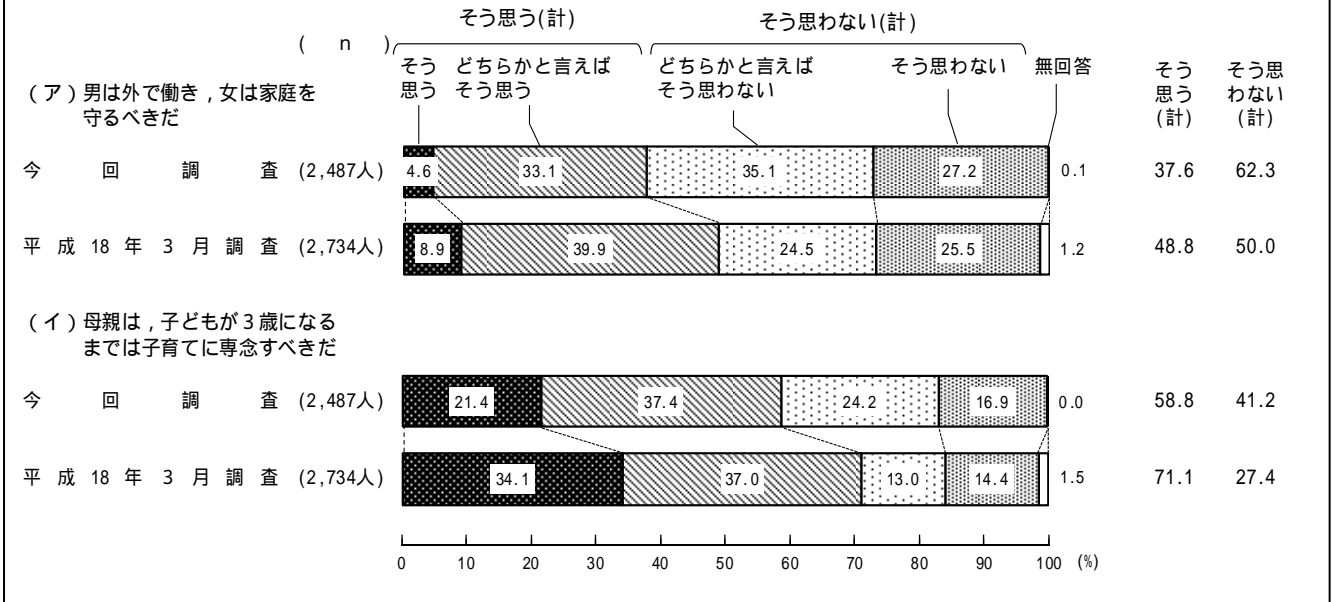
父母別にみると、「満足(計)」とする者の割合は父親で、「不満(計)」とする者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「満足(計)」とする者の割合は父親の30代後半、40代前半で、「不満(計)」とする者の割合は母親の40代後半で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 13 - 1)

14 性別の役割

問 13 次のような(ア)と(イ)の意見について、あなたはどのように思いますか。

図 - 2 - 1 - 14 性別の役割



< (ア) 男は外で働き、女は家庭を守るべきだ >

「そう思う(計)」とする者の割合が 37.6% (「そう思う」(4.6%) + 「どちらかと言えばそう思う」(33.1%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 62.3% (「どちらかと言えばそう思わない」(35.1%) + 「そう思わない」(27.2%)) となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(48.8% 37.6%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(50.0% 62.3%)している。(図 - 2 - 1 - 14)

< (イ) 母親は、子どもが3歳になるまでは子育てに専念すべきだ >

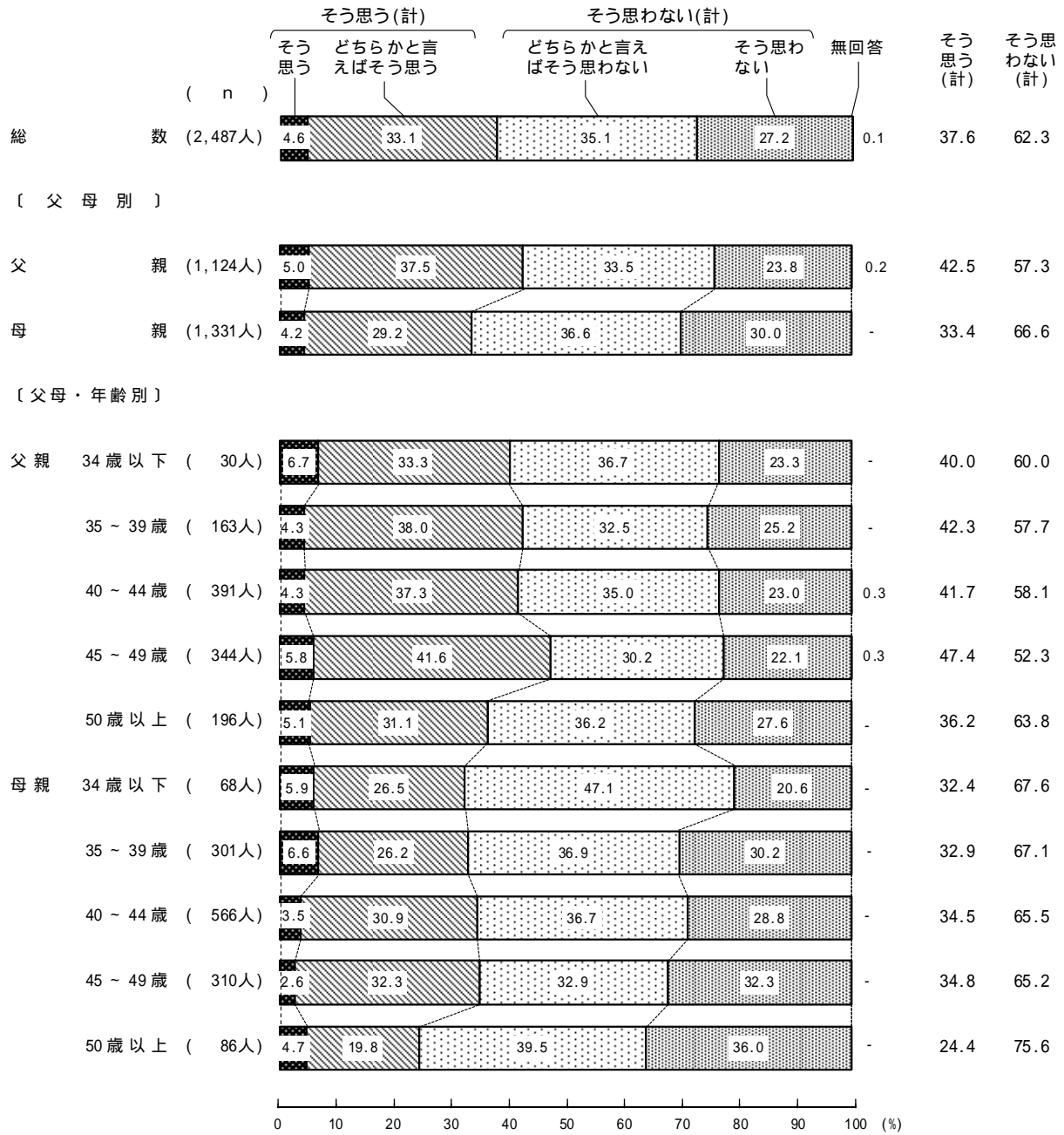
「そう思う(計)」とする者の割合が 58.8% (「そう思う」(21.4%) + 「どちらかと言えばそう思う」(37.4%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が 41.2% (「どちらかと言えばそう思わない」(24.2%) + 「そう思わない」(16.9%)) となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(71.1% 58.8%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(27.4% 41.2%)している。(図 - 2 - 1 - 14)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 14 - 1 性別の役割 - (ア) 男は外で働き, 女は家庭を守るべきだ

(父母別, 父母・年齢別)



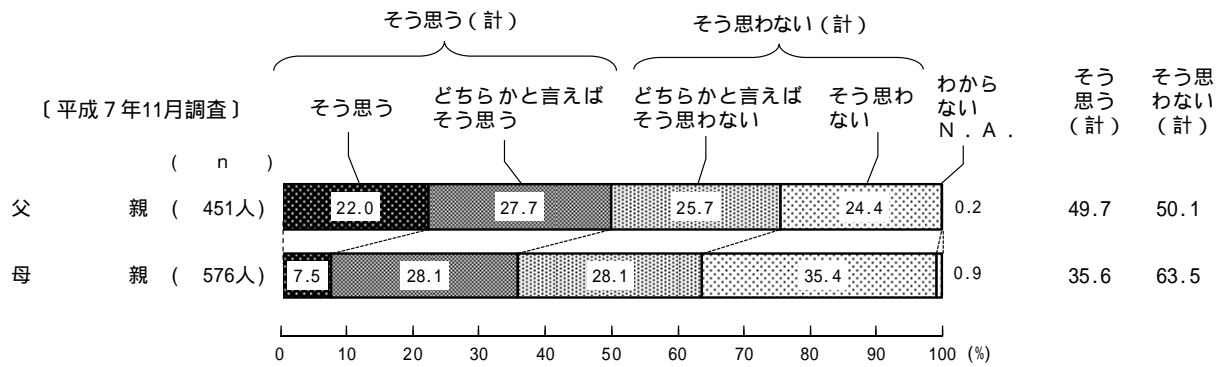
「男は外で働き, 女は家庭を守るべきだ」について, 父母別にみると, 「そう思う(計)」とする者の割合は父親で, 「そう思わない(計)」とする者の割合は母親で, それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると, 「そう思う(計)」とする者の割合は父親の40代後半で, 「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の50歳以上で, それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 14 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

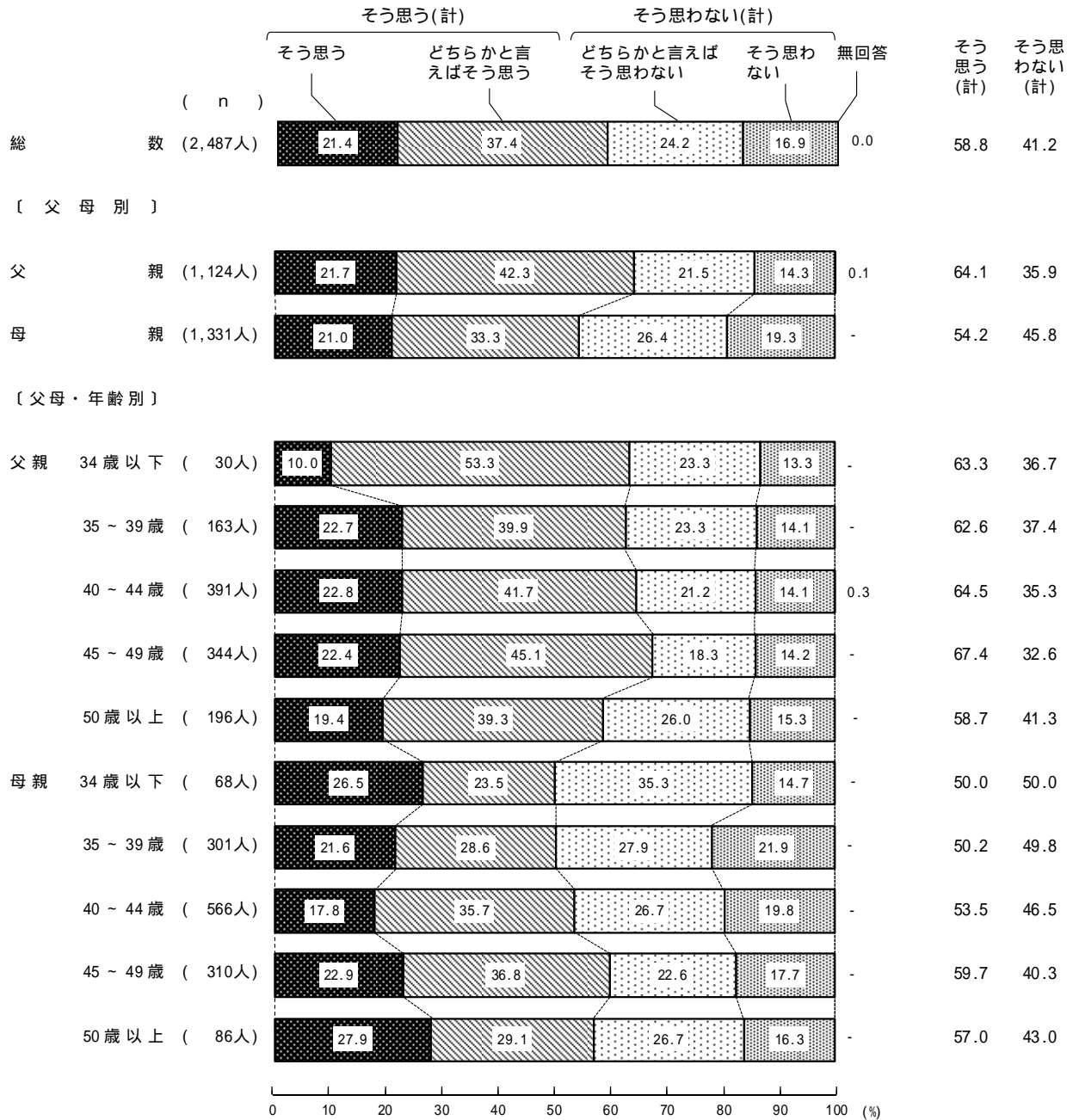
(参考)

Q17 次のような意見について、それぞれあなたはどのように思いますか。
 a 男は外で働き、女は家庭を守るべきだ



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 1 - 14 - 2 性別の役割 - (イ) 母親は、子どもが3歳になるまでは子育てに専念すべきだ
(父母別、父母・年齢別)



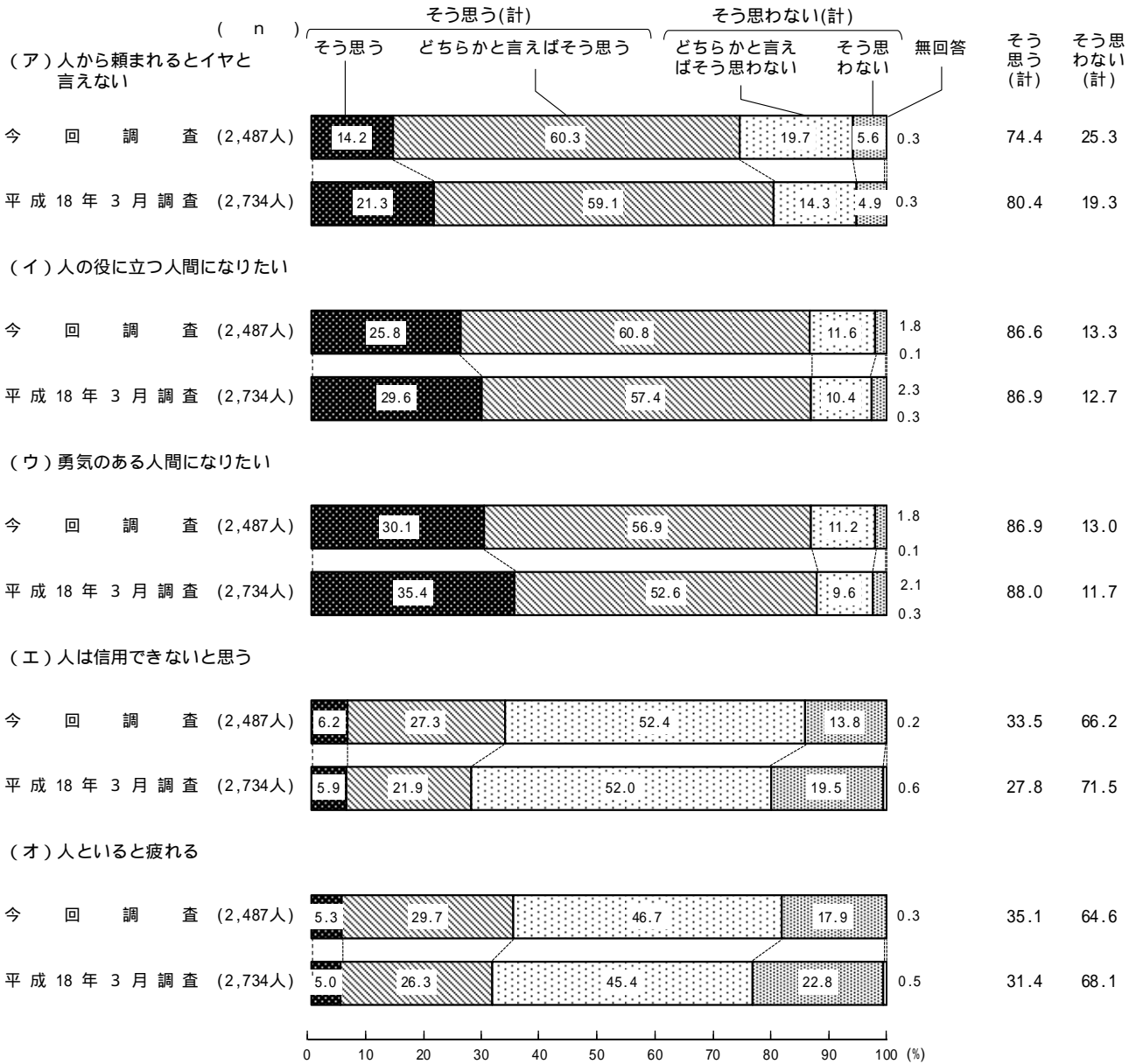
「母親は、子どもが3歳になるまでは子育てに専念すべきだ」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親の40代で、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の30代後半、40代前半で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 1 - 14 - 2)

第2節 性格

問14 あなたは、ここにあげてある(ア)から(オ)までのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

図 - 2 - 2 - 1 (ア~オ) 性格



< (ア) 人から頼まれるとイヤと言えない >

「そう思う(計)」とする者の割合が74.4%(「そう思う」(14.2%) + 「どちらかと言えばそう思う」(60.3%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が25.3%(「どちらかと言えばそう思わない」(19.7%) + 「そう思わない」(5.6%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(80.4% 74.4%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(19.3% 25.3%)している。

(図 -2-2-1 ア~オ)

< (イ) 人の役に立つ人間になりたい >

「そう思う(計)」とする者の割合が86.6%(「そう思う」(25.8%) + 「どちらかと言えばそう思う」(60.8%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が13.3%(「どちらかと言えばそう思わない」(11.6%) + 「そう思わない」(1.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-2-1 ア~オ)

< (ウ) 勇気のある人間になりたい >

「そう思う(計)」とする者の割合が86.9%(「そう思う」(30.1%) + 「どちらかと言えばそう思う」(56.9%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が13.0%(「どちらかと言えばそう思わない」(11.2%) + 「そう思わない」(1.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-2-1 ア~オ)

< (エ) 人は信用できないと思う >

「そう思う(計)」とする者の割合が33.5%(「そう思う」(6.2%) + 「どちらかと言えばそう思う」(27.3%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が66.2%(「どちらかと言えばそう思わない」(52.4%) + 「そう思わない」(13.8%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が上昇(27.8% 33.5%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が低下(71.5% 66.2%)している。

(図 -2-2-1 ア~オ)

< (オ) 人といると疲れる >

「そう思う(計)」とする者の割合が35.1%(「そう思う」(5.3%) + 「どちらかと言えばそう思う」(29.7%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が64.6%(「どちらかと言えばそう思わない」(46.7%) + 「そう思わない」(17.9%))となっている。

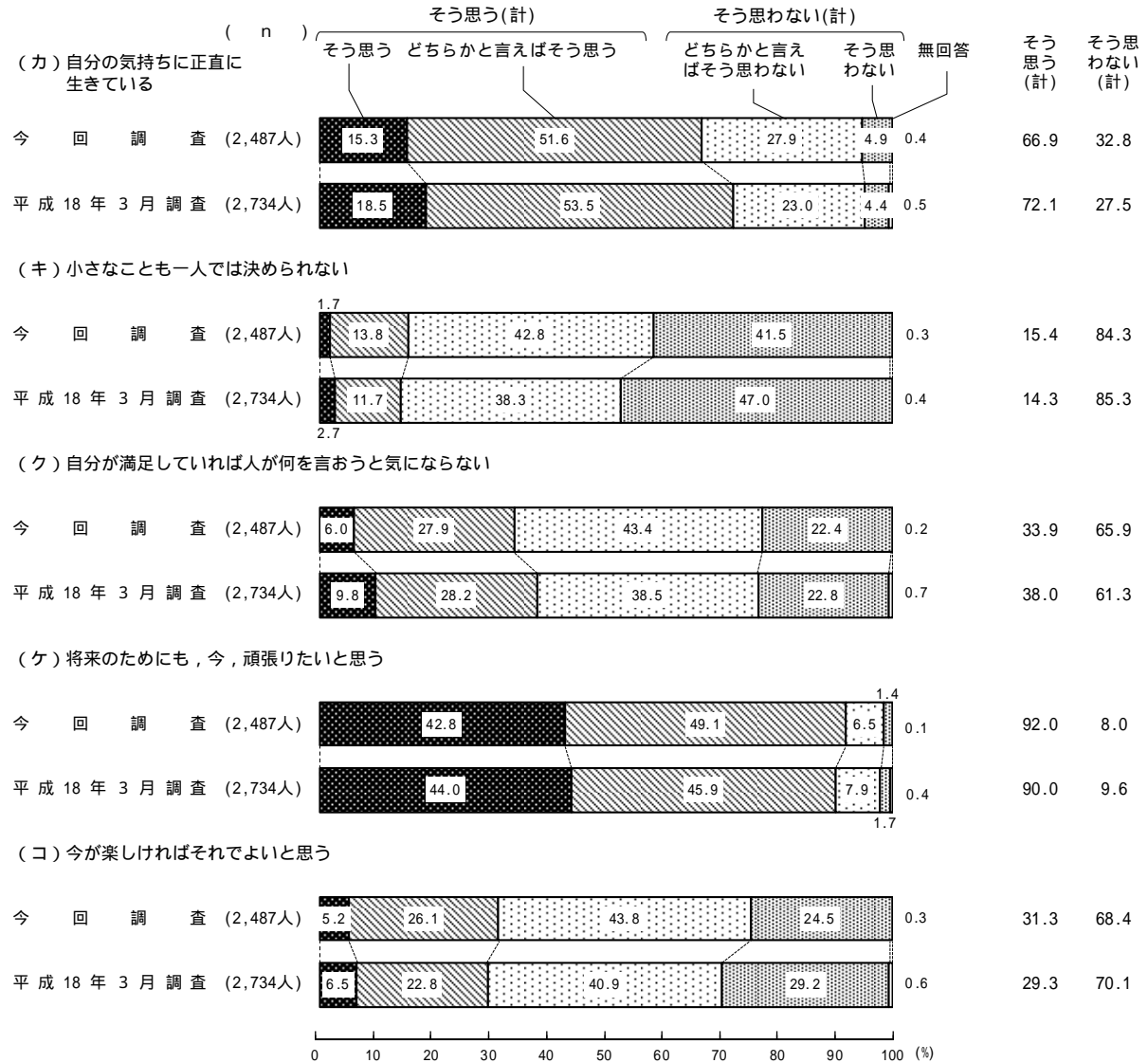
平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が上昇(31.4% 35.1%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が低下(68.1% 64.6%)している。

(図 -2-2-1 ア~オ)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

問 14 あなたは、ここにあげてある(ア)から(コ)までのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

図 - 2 - 2 - 1 (カ~コ) 性 格



< (カ) 自分の気持ちに正直に生きている >

「そう思う(計)」とする者の割合が66.9%(「そう思う」(15.3%) + 「どちらかと言えばそう思う」(51.6%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が32.8%(「どちらかと言えばそう思わない」(27.9%) + 「そう思わない」(4.9%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(72.1% 66.9%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(27.5% 32.8%)している。

(図 -2-2-1 カ~コ)

< (キ) 小さなことも一人では決められない >

「そう思う(計)」とする者の割合が15.4%(「そう思う」(1.7%) + 「どちらかと言えばそう思う」(13.8%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が84.3%(「どちらかと言えばそう思わない」(42.8%) + 「そう思わない」(41.5%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-2-1 カ~コ)

< (ク) 自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない >

「そう思う(計)」とする者の割合が33.9%(「そう思う」(6.0%) + 「どちらかと言えばそう思う」(27.9%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が65.9%(「どちらかと言えばそう思わない」(43.4%) + 「そう思わない」(22.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が低下(38.0% 33.9%)し、「そう思わない(計)」とする者の割合が上昇(61.3% 65.9%)している。

(図 -2-2-1 カ~コ)

< (ケ) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う >

「そう思う(計)」とする者の割合が92.0%(「そう思う」(42.8%) + 「どちらかと言えばそう思う」(49.1%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が8.0%(「どちらかと言えばそう思わない」(6.5%) + 「そう思わない」(1.4%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合が上昇(90.0% 92.0%)している。(図 -2-2-1 カ~コ)

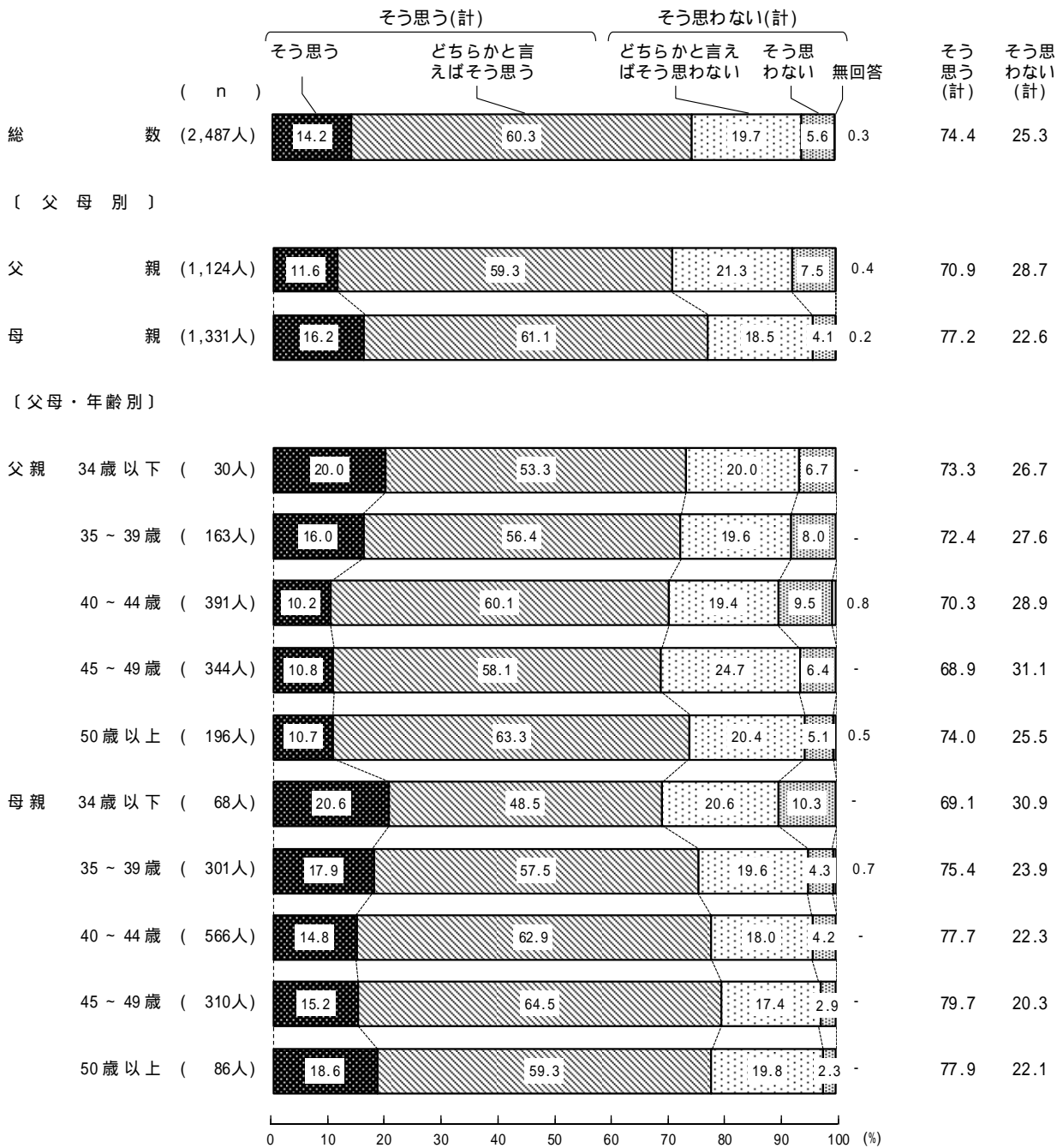
< (コ) 今が楽しければそれでよいと思う >

「そう思う(計)」とする者の割合が31.3%(「そう思う」(5.2%) + 「どちらかと言えばそう思う」(26.1%)), 「そう思わない(計)」とする者の割合が68.4%(「どちらかと言えばそう思わない」(43.8%) + 「そう思わない」(24.5%))となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな変化は見られない。(図 -2-2-1 カ~コ)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 1 性格 - (ア)人から頼まれるとイヤと言えない(父母別, 父母・年齢別)



「人から頼まれるとイヤと言えない」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

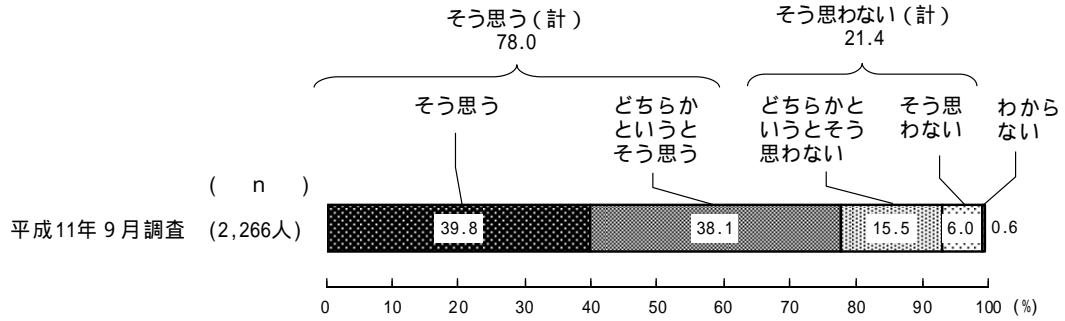
父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の40代で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の40代後半で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

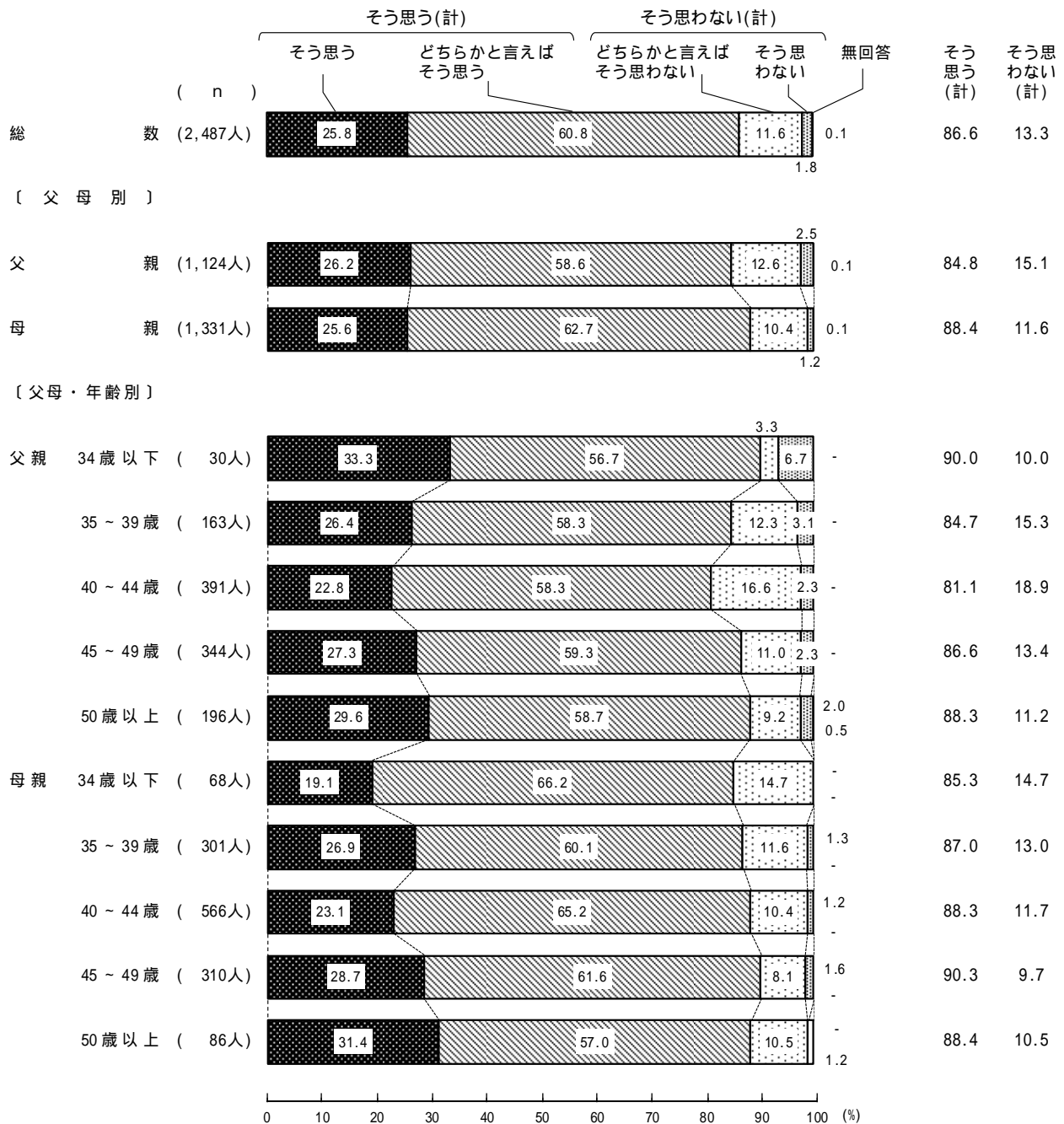
キ 友達から頼まれるとイヤと言えない



(注) 平成11年9月調査の質問文(保護者Q8キ)は、「友達から頼まれるとイヤと言えない」となっている。

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 2 性格 - (イ) 人の役に立つ人間になりたい(父母別, 父母・年齢別)

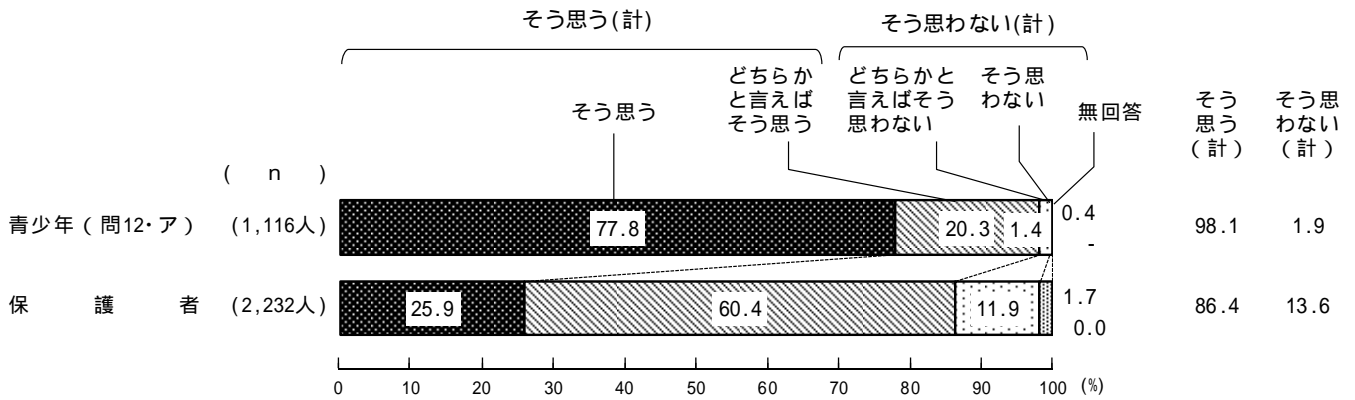


「人の役に立つ人間になりたい」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の40代後半で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の40代前半で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 3 性格 - (イ) 人の役に立つ人間になりたい (親子別・ペアベ - ス)



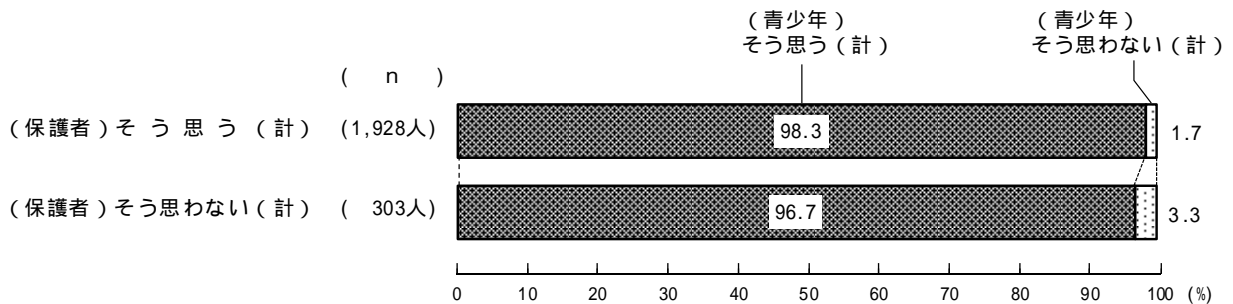
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年 (問12・ア) の選択肢は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う (計)」（青少年 98.1%：保護者 86.4%）とする者の割合は保護者より青少年で、「そう思わない (計)」（青少年 1.9%：保護者 13.6%）とする者の割合は青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 3)

図 - 2 - 2 - 1 - 4 性格 - (イ) 人の役に立つ人間になりたい
 (「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)



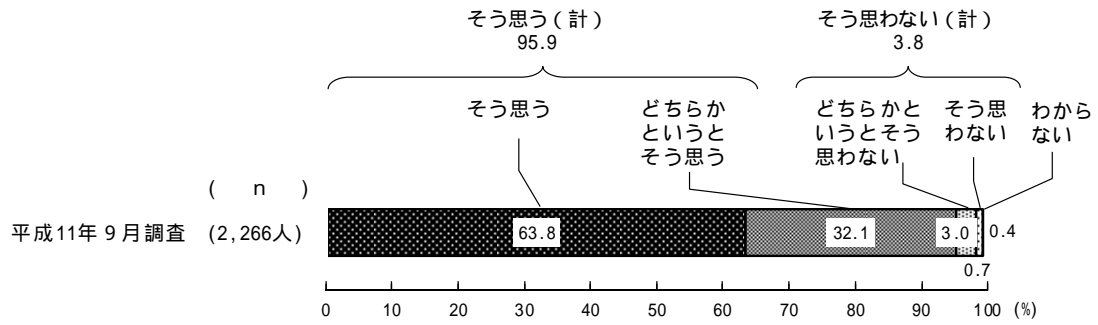
青少年の「そう思う (計)」を保護者の回答 (計) 別にみると、大きな差異は見られない。

(図 - 2 - 2 - 1 - 4)

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

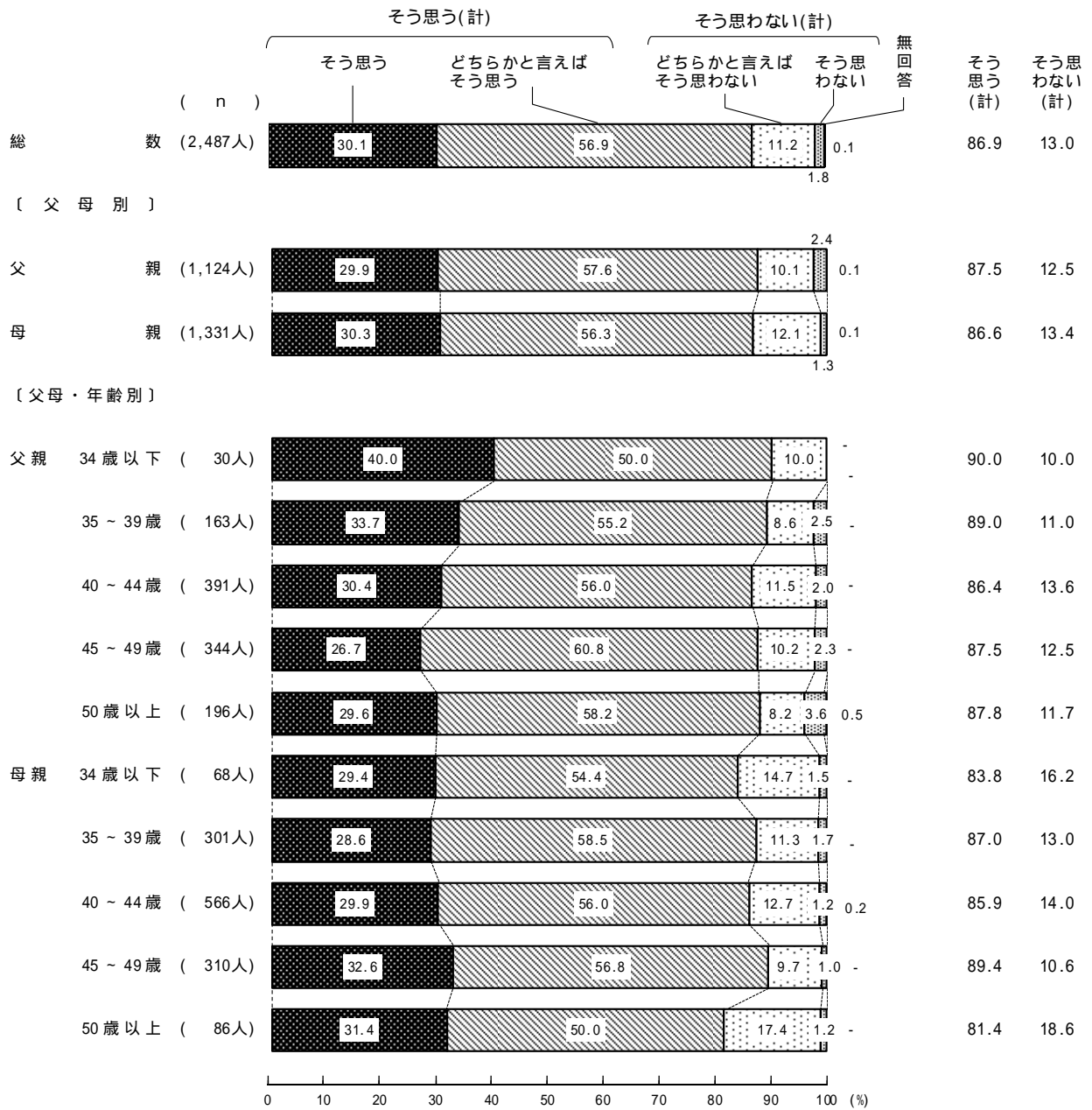
イ 人の役に立つ人間でありたい



(注) 平成11年9月調査の質問文(保護者Q8イ)は、「人の役に立つ人間でありたい」となっている。

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 5 性格 - (ウ) 勇気のある人間になりたい (父母別, 父母・年齢別)

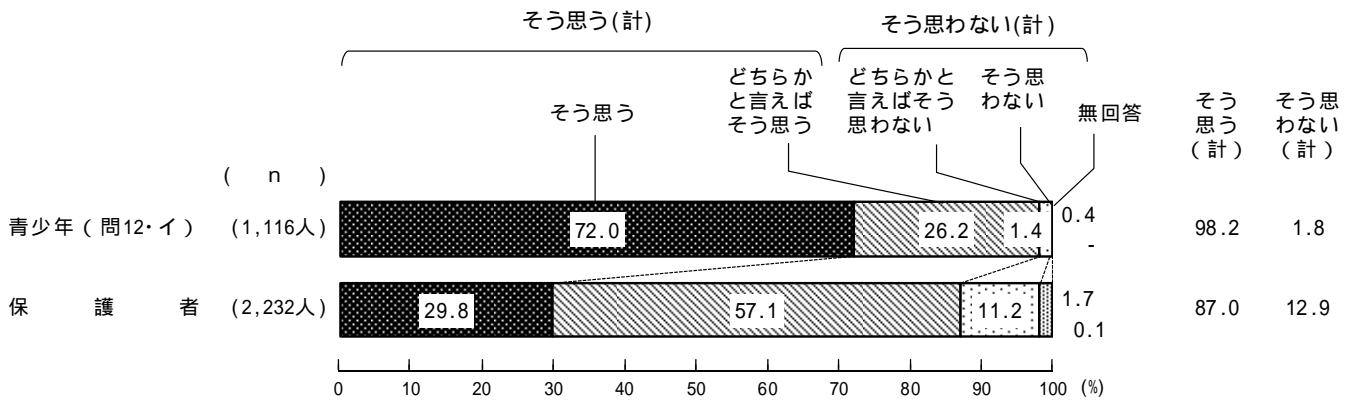


「勇気のある人間になりたい」について、父母別、父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

(図 - 2 - 2 - 1 - 5)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 6 性格 - (ウ) 勇気のある人間になりたい (親子別・ペアベ - ス)



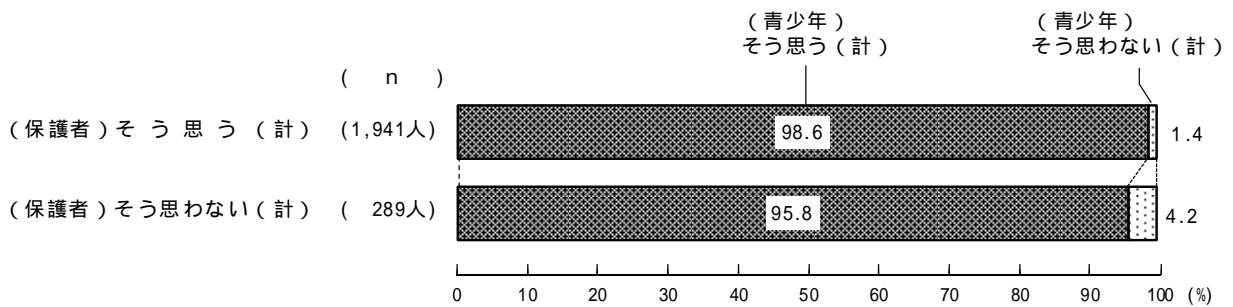
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・イ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」(青少年 98.2% : 保護者 87.0%)とする者の割合は保護者より青少年で、「そう思わない(計)」(青少年 1.8% : 保護者 12.9%)とする者の割合は青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 6)

図 - 2 - 2 - 1 - 7 性格 - (ウ) 勇気のある人間になりたい
 (「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)

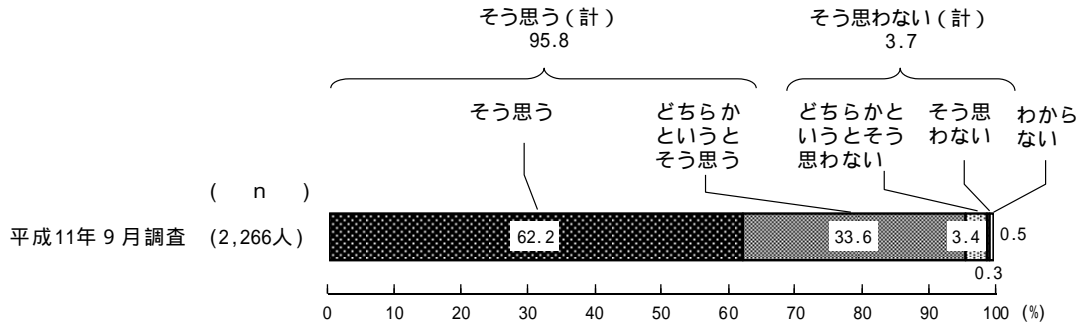


青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、「そう思う(計)」(98.6%)の方が「そう思わない(計)」(95.8%)より高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 7)

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

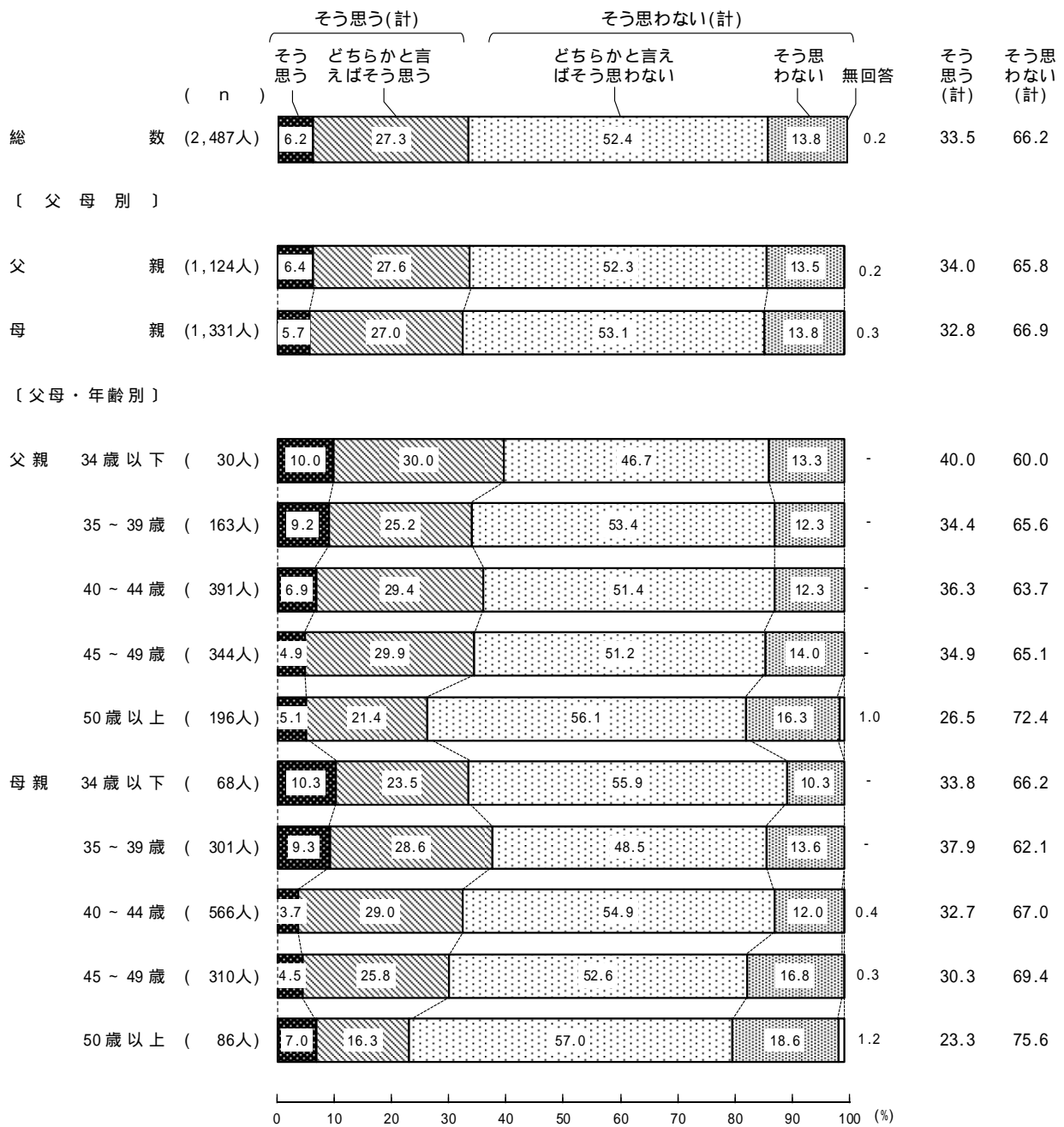
カ 勇気のある人間でありたい



(注) 平成11年9月調査の質問文(保護者Q8カ)は、「勇気のある人間でありたい」となっている。

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 8 性格 - (エ)人は信用できないと思う(父母別, 父母・年齢別)

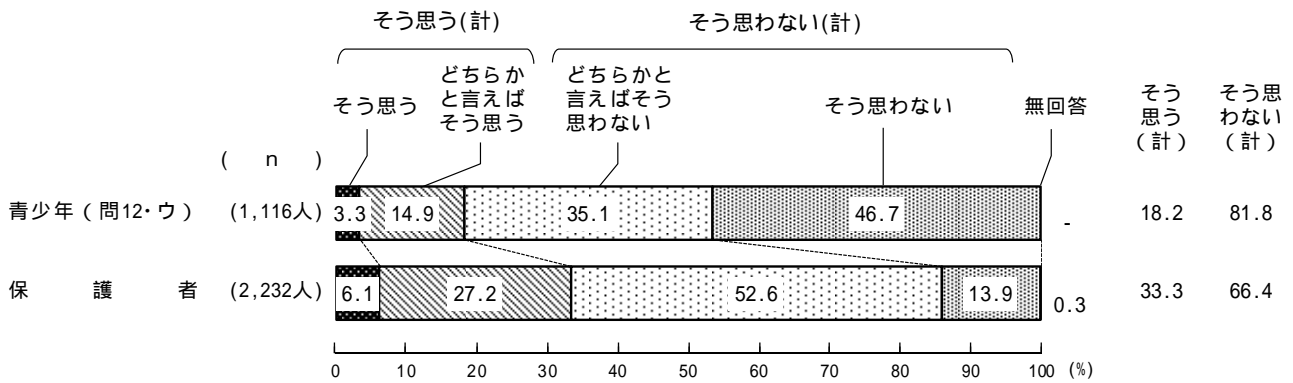


「人は信用できないと思う」について、父母別にみると、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 2 - 1 - 8)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 9 性格 - (エ)人は信用できないと思う(親子別・ペアベ - ス)



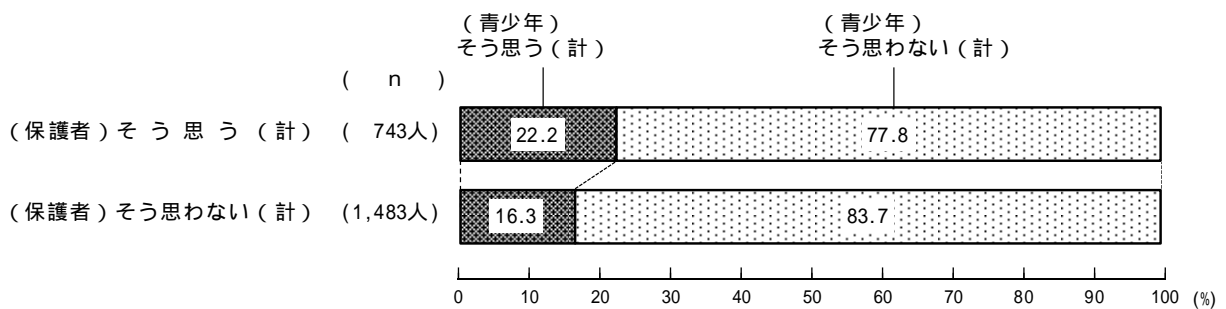
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・ウ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」「(青少年 18.2% : 保護者 33.3%)とする者の割合は青少年より保護者で、「そう思わない(計)」「(青少年 81.8% : 保護者 66.4%)とする者の割合は保護者より青少年で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 9)

図 - 2 - 2 - 1 - 10 性格 - (エ)人は信用できないと思う
 (「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)

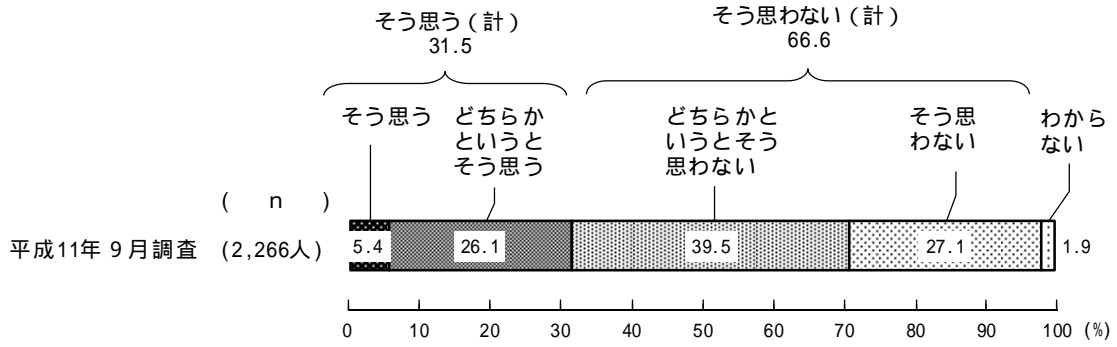


青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、「そう思う(計)」「(22.2%)の方が「そう思わない(計)」「(16.3%)より高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 10)

(参考)

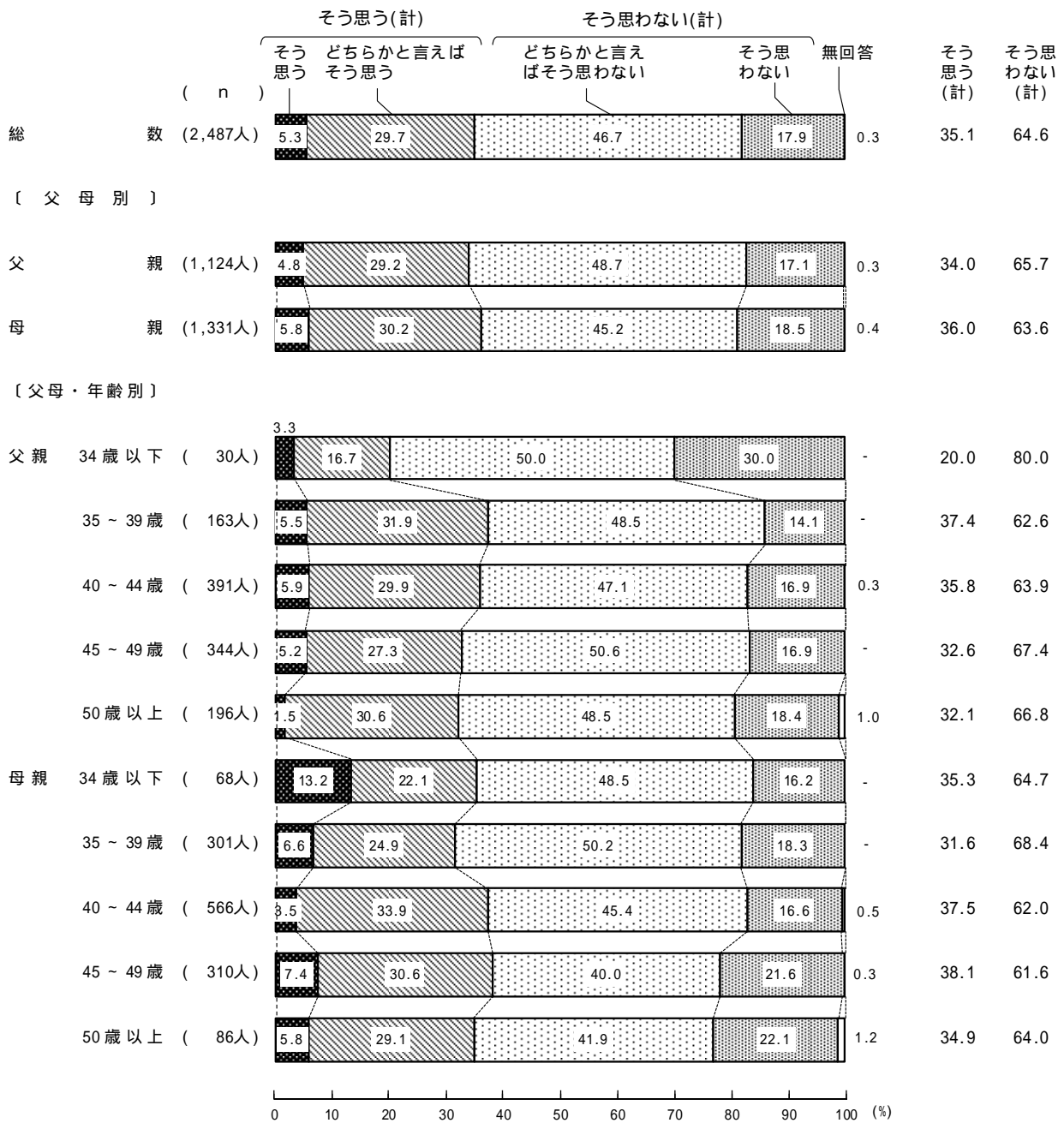
Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

ク 人は信用できないと思う



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 11 性格 - (オ)人といると疲れる(父母別, 父母・年齢別)

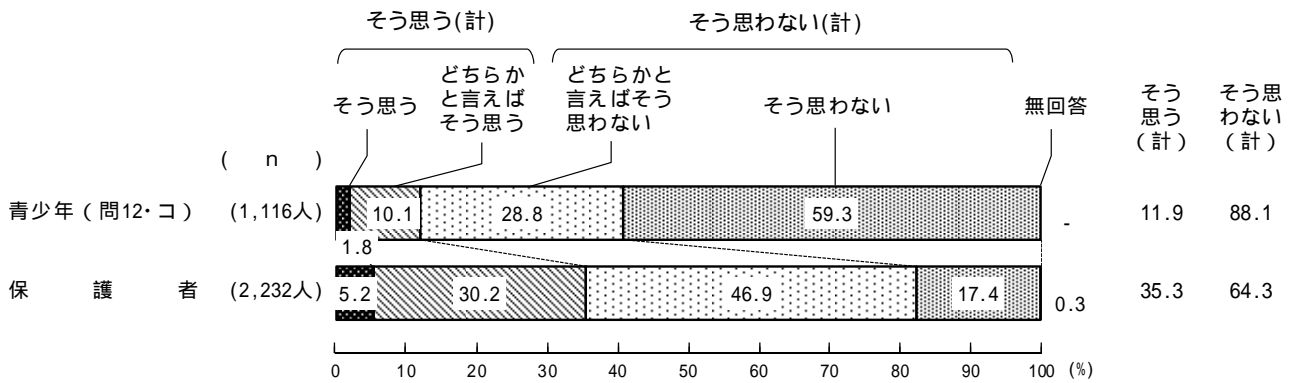


「人といると疲れる」について、父母別にみると、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。(図 - 2 - 2 - 1 - 11)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 12 性格 - (オ)人といると疲れる (親子別・ペアベ - ス)



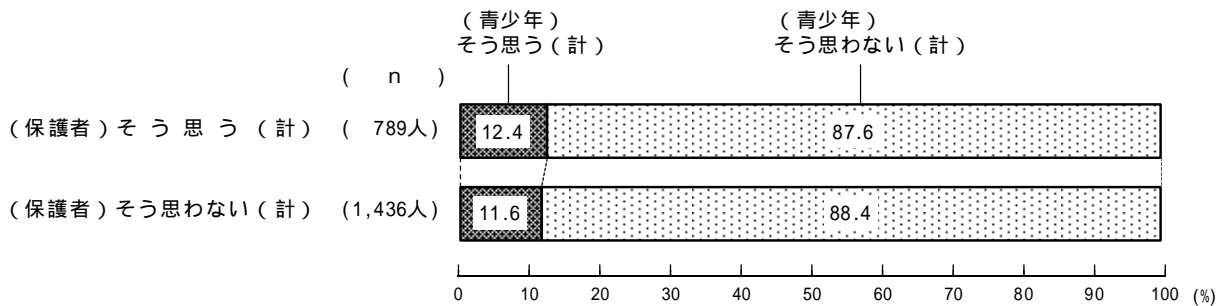
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・コ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」「(青少年 11.9% : 保護者 35.3%)とする者の割合は青少年より保護者で、「そう思わない(計)」「(青少年 88.1% : 保護者 64.3%)とする者の割合は保護者より青少年で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 12)

図 - 2 - 2 - 1 - 13 性格 - (オ)人といると疲れる
 (「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)



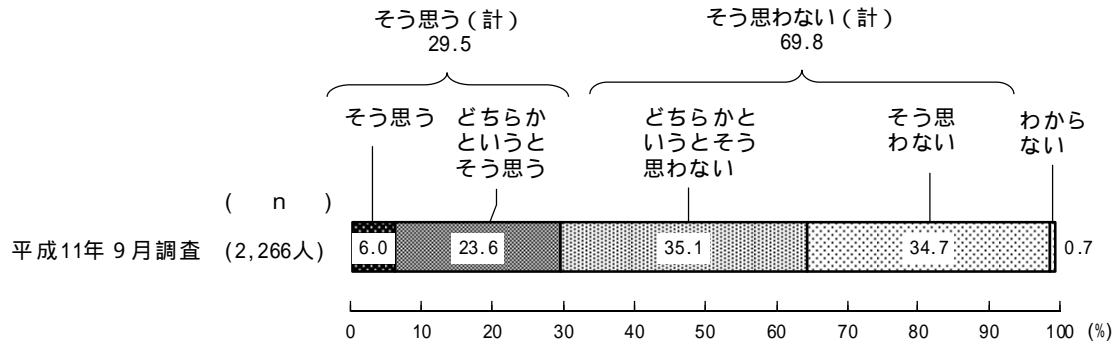
青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、大きな差異は見られない。

(図 - 2 - 2 - 1 - 13)

(参考)

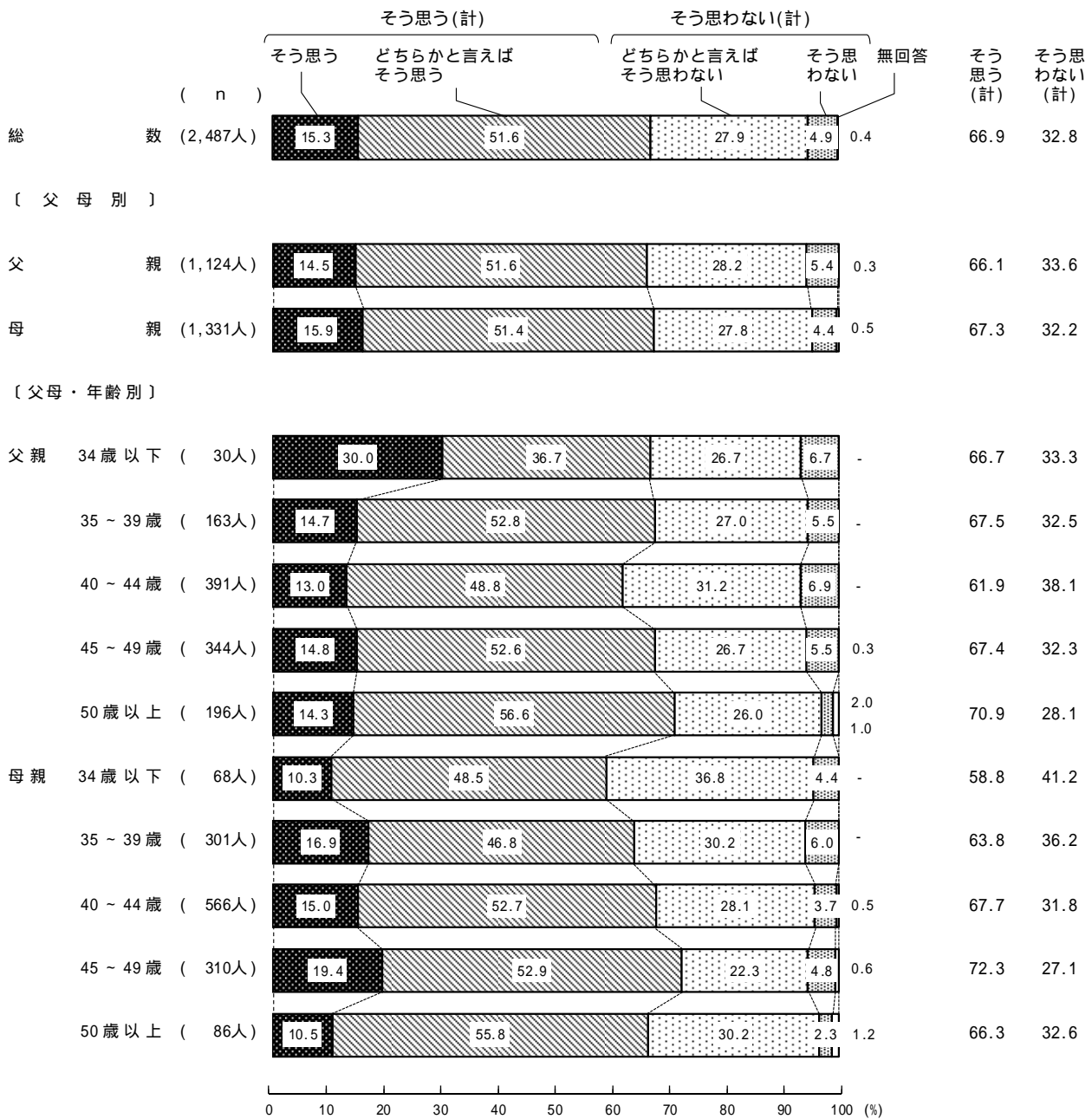
Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

ケ 人というと疲れる



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 14 性格 - (カ) 自分の気持ちに正直に生きている (父母別, 父母・年齢別)



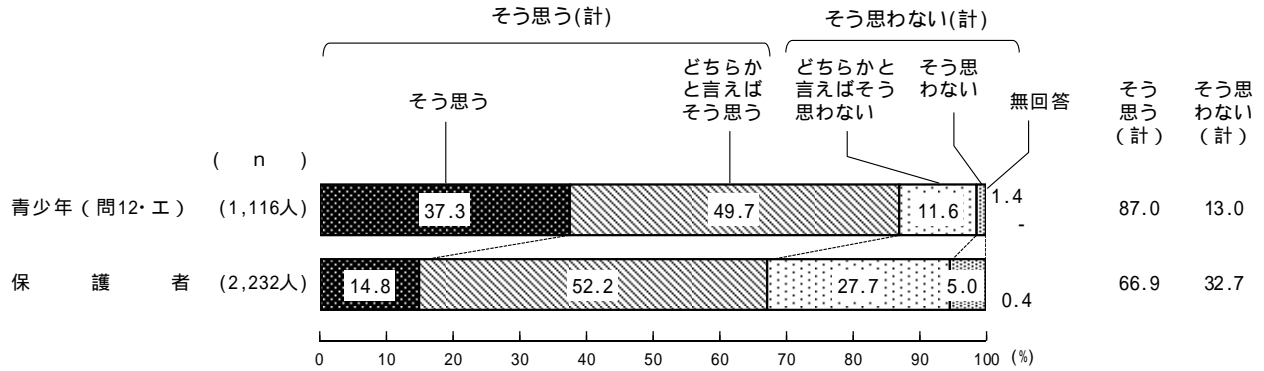
「自分の気持ちに正直に生きている」について、父母別にみると、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の40代後半で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の40代前半で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 14)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 15 性格 - (カ) 自分の気持ちに正直に生きている

(親子別・ペアベ - ス)



(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

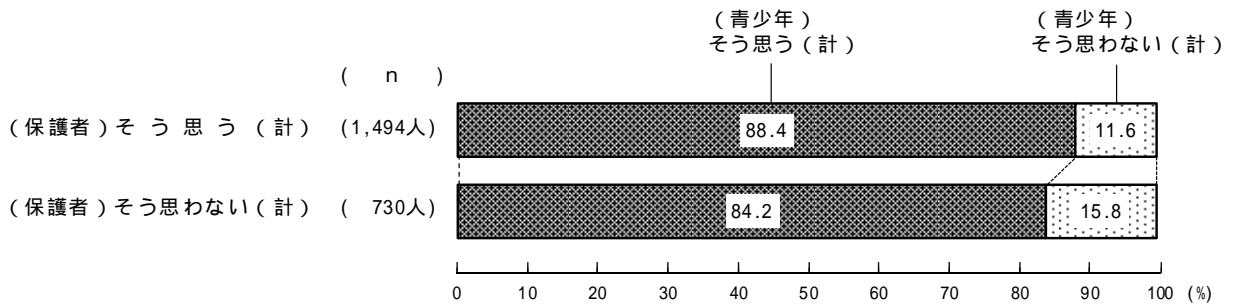
青少年(問12・エ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」「(青少年 87.0% : 保護者 66.9%)とする者の割合は保護者より青少年で、「そう思わない(計)」「(青少年 13.0% : 保護者 32.7%)とする者の割合は青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 15)

図 - 2 - 2 - 1 - 16 性格 - (カ) 自分の気持ちに正直に生きている

(「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)

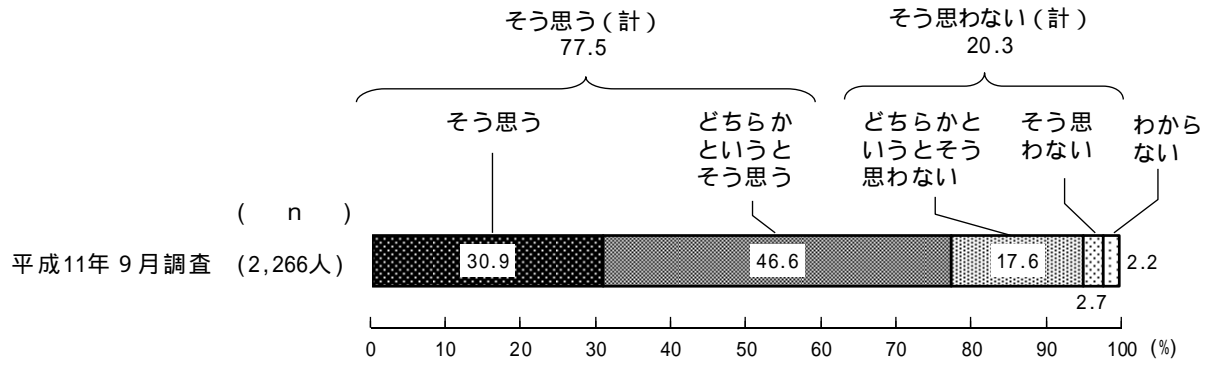


青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、「そう思う(計)」「(88.4%)の方が「そう思わない(計)」「(84.2%)より高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 16)

(参考)

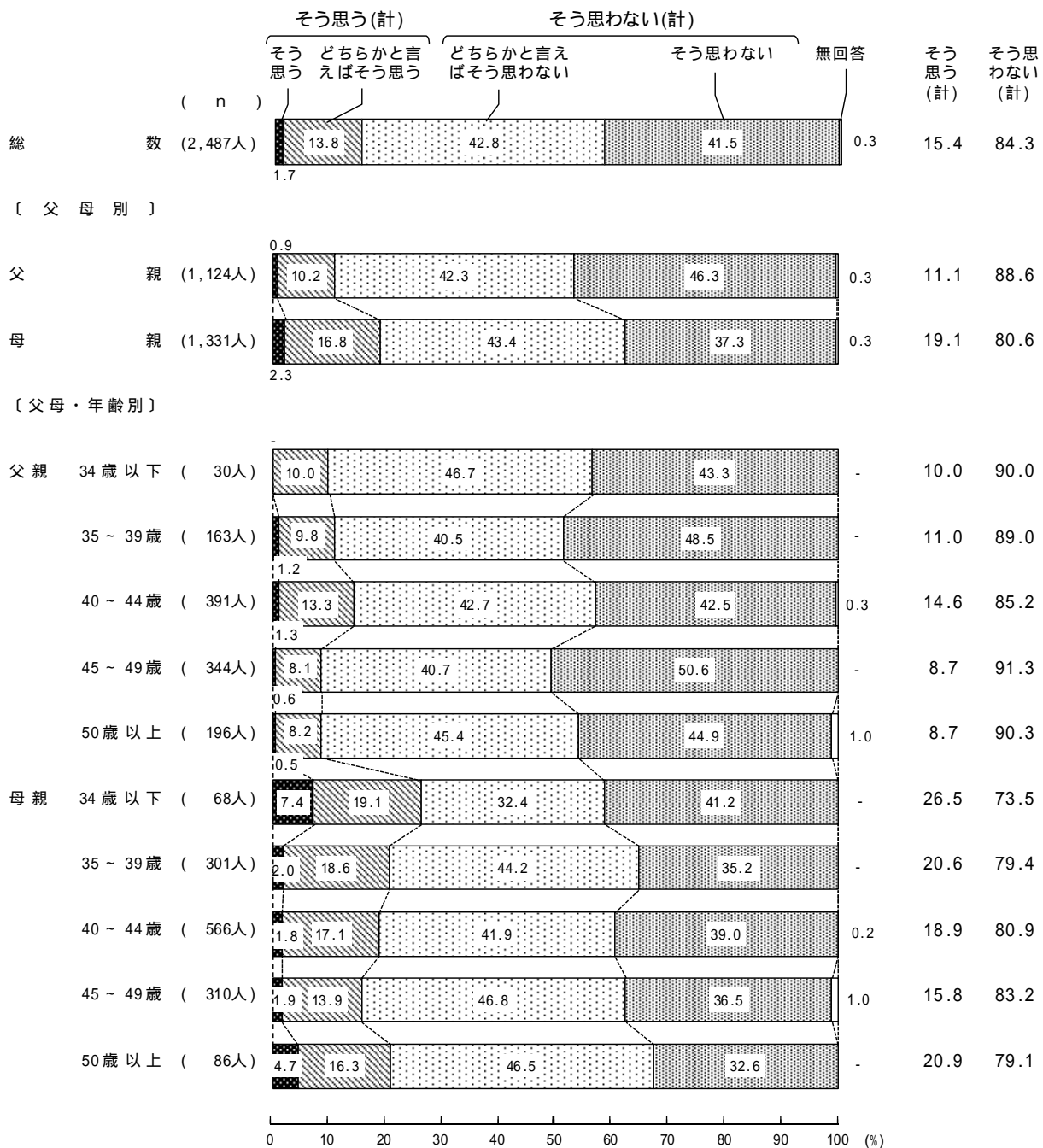
Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

コ 自分の気持ちに正直に生きている



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 17 性格 - (キ) 小さなことも一人では決められない(父母別, 父母・年齢別)



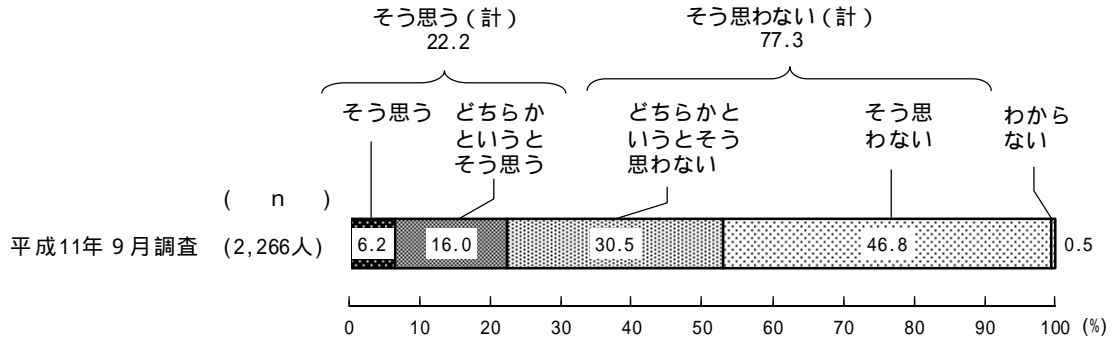
「小さなことも一人では決められない」について、父母別にみると、「思う(計)」とする者の割合は母親で、「思わない(計)」とする者の割合は父親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「思う(計)」とする者の割合は母親の40代前半以下で、「思わない(計)」とする者の割合は父親の40代後半以上で、それぞれ高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 17)

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のお答えください。

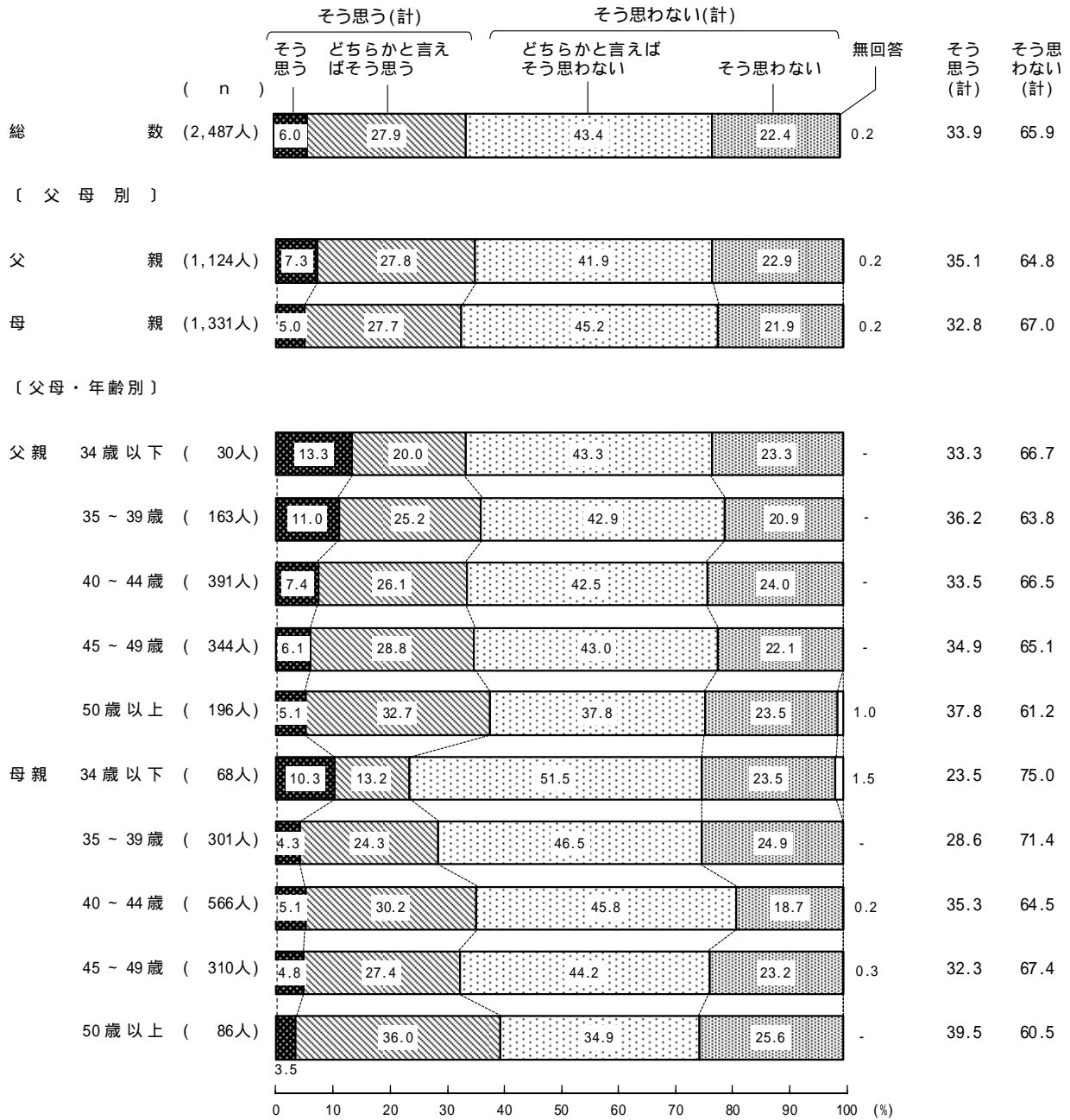
サ 小さなことも一人では決められない



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 18 性格 - (ク) 自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない

(父母別, 父母・年齢別)

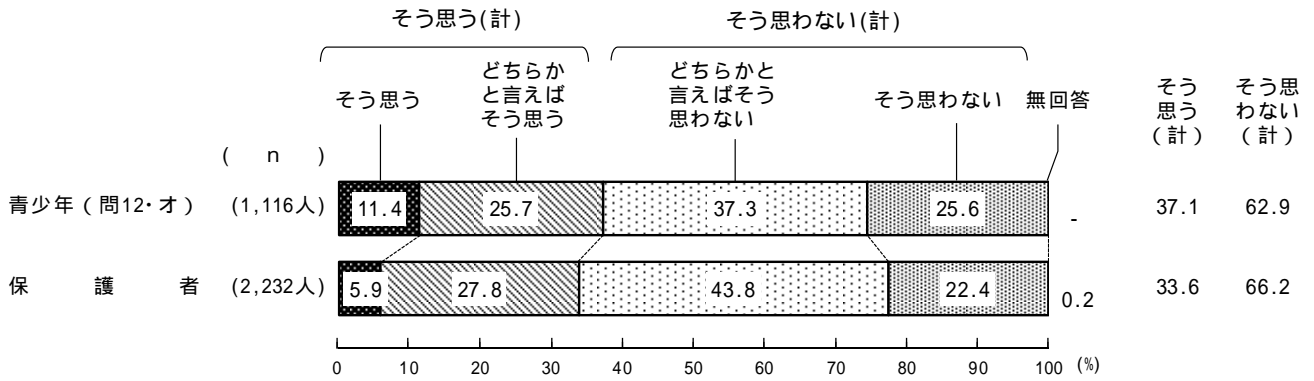


「自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合と、「そう思わない(計)」とする者の割合では、大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると、「そう思わない(計)」とする者の割合は母親の30代後半で高くなっている。(図 - 2 - 2 - 1 - 18)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 19 性格 - (ク) 自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない
(親子別・ペアベ - ス)



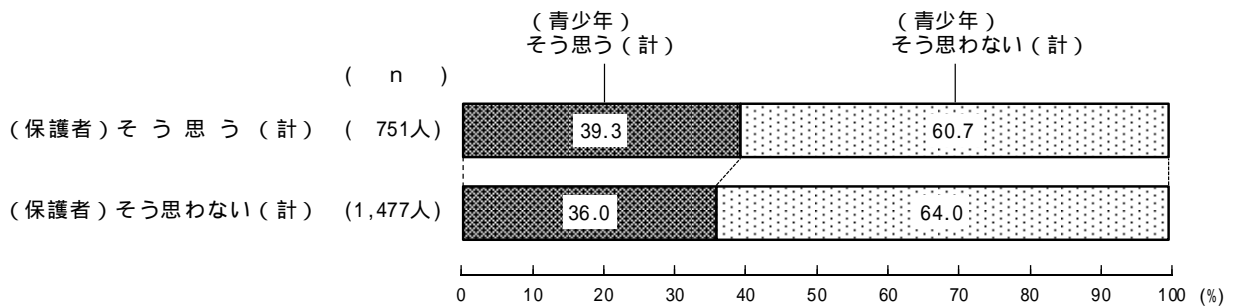
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・オ)の選択肢は、「思う」、「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」、「思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「思う(計)」「青少年 37.1% : 保護者 33.6%)とする者の割合は、保護者より青少年で高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 19)

図 - 2 - 2 - 1 - 20 性格 - (ク) 自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない
(「思う」「思わない」親子別・ペアベ - ス)



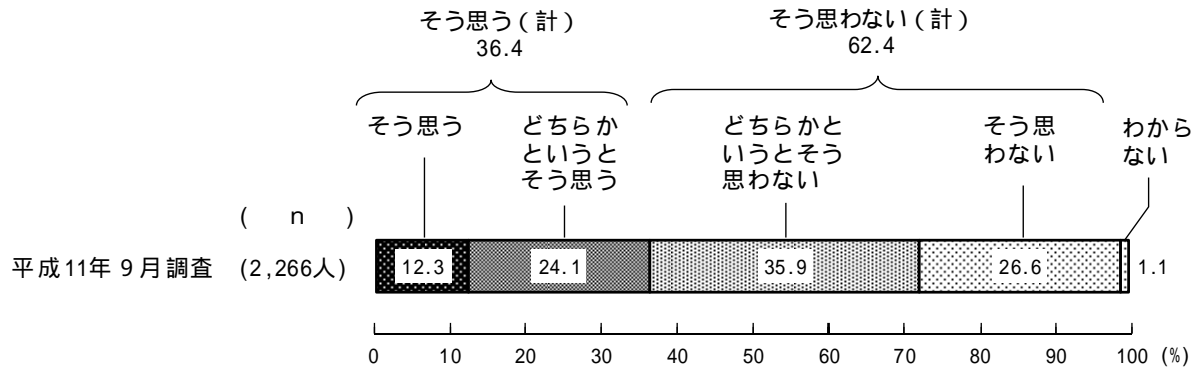
青少年の「思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、大きな差異は見られない。

(図 - 2 - 2 - 1 - 20)

(参考)

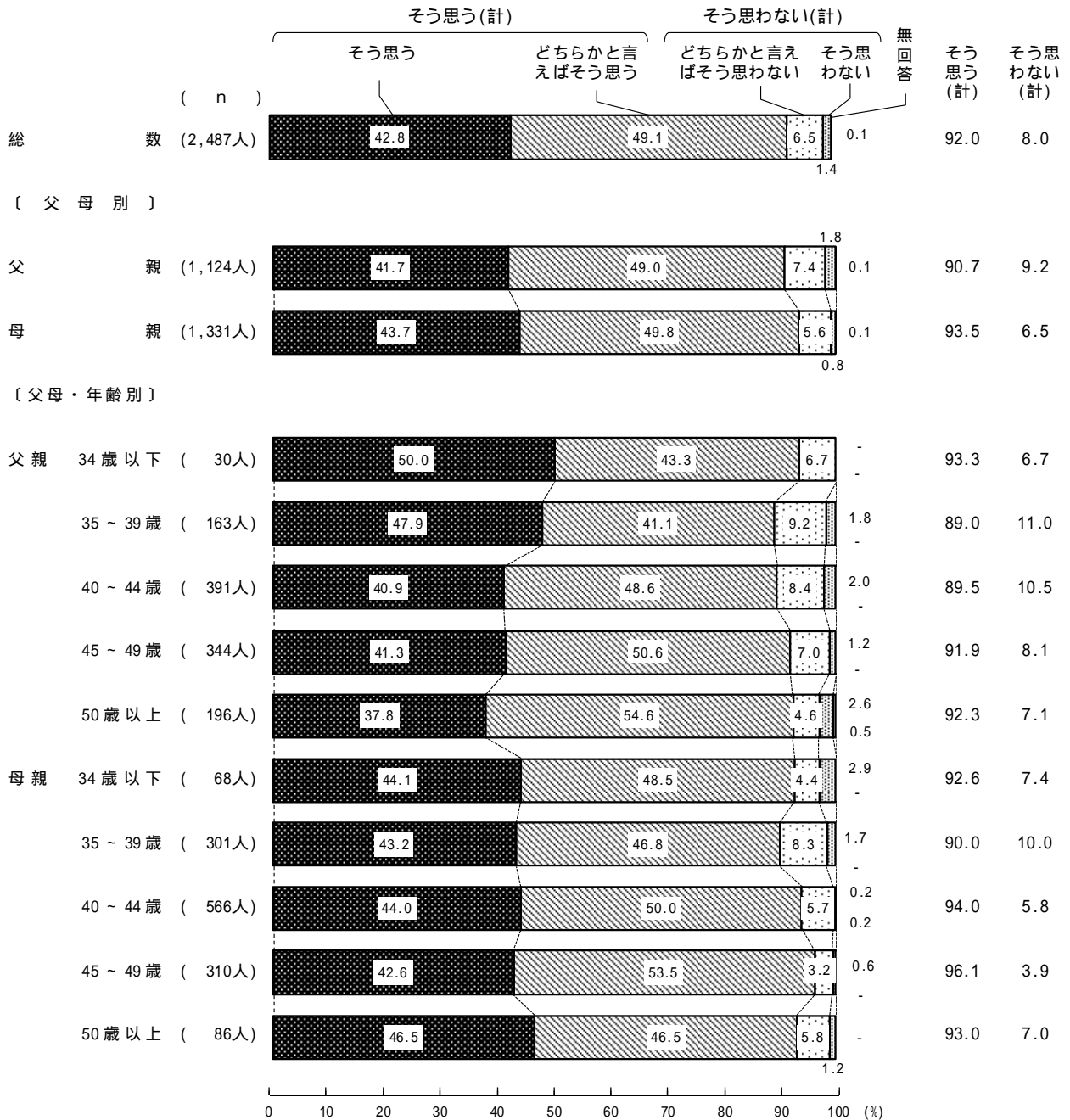
Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

シ 自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 21 性格 - (ケ) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う
(父母別、父母・年齢別)



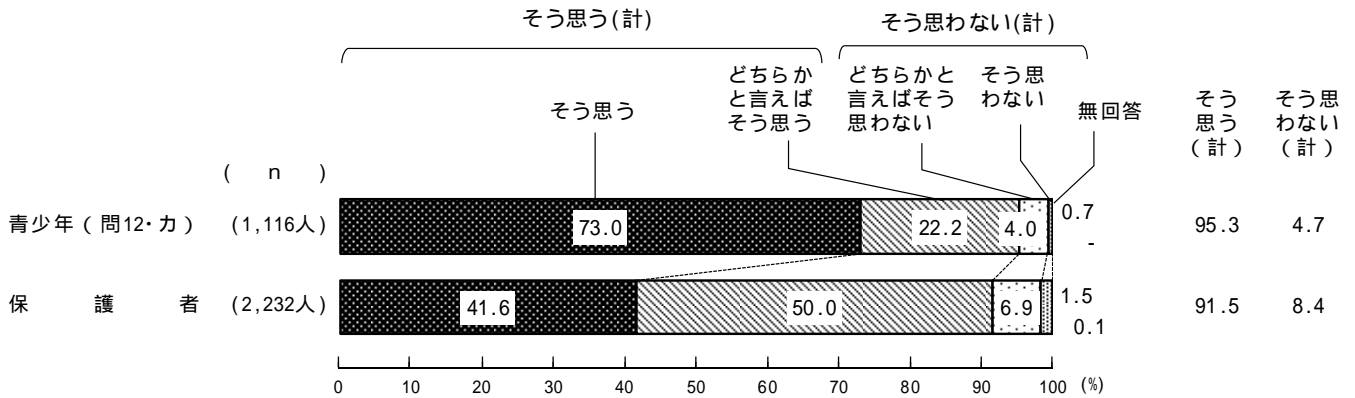
「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」について、父母別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は母親の40代で高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 21)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 22 性格 - (ケ) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う
(親子別・ペアベ - ス)



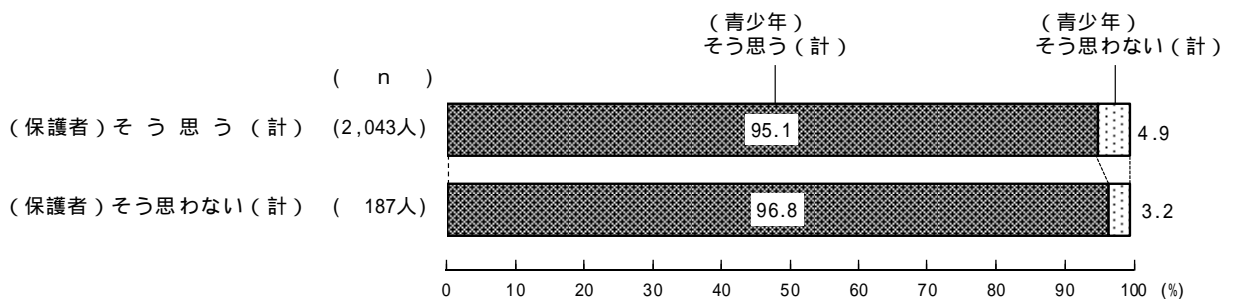
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・カ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」(青少年 95.3% : 保護者 91.5%)とする者の割合は保護者より青少年で高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 22)

図 - 2 - 2 - 1 - 23 性格 - (ケ) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う
(「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)



青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、大きな差異は見られない。

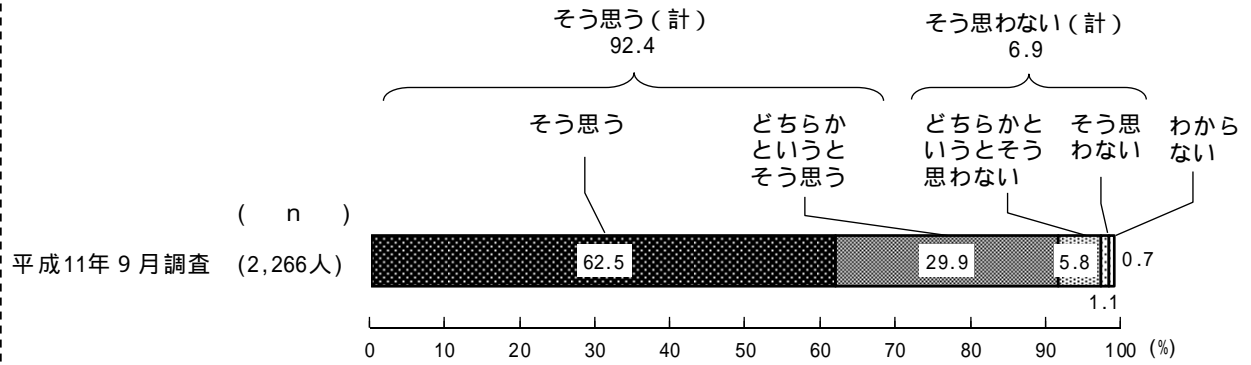
(図 - 2 - 2 - 1 - 23)

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。

それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

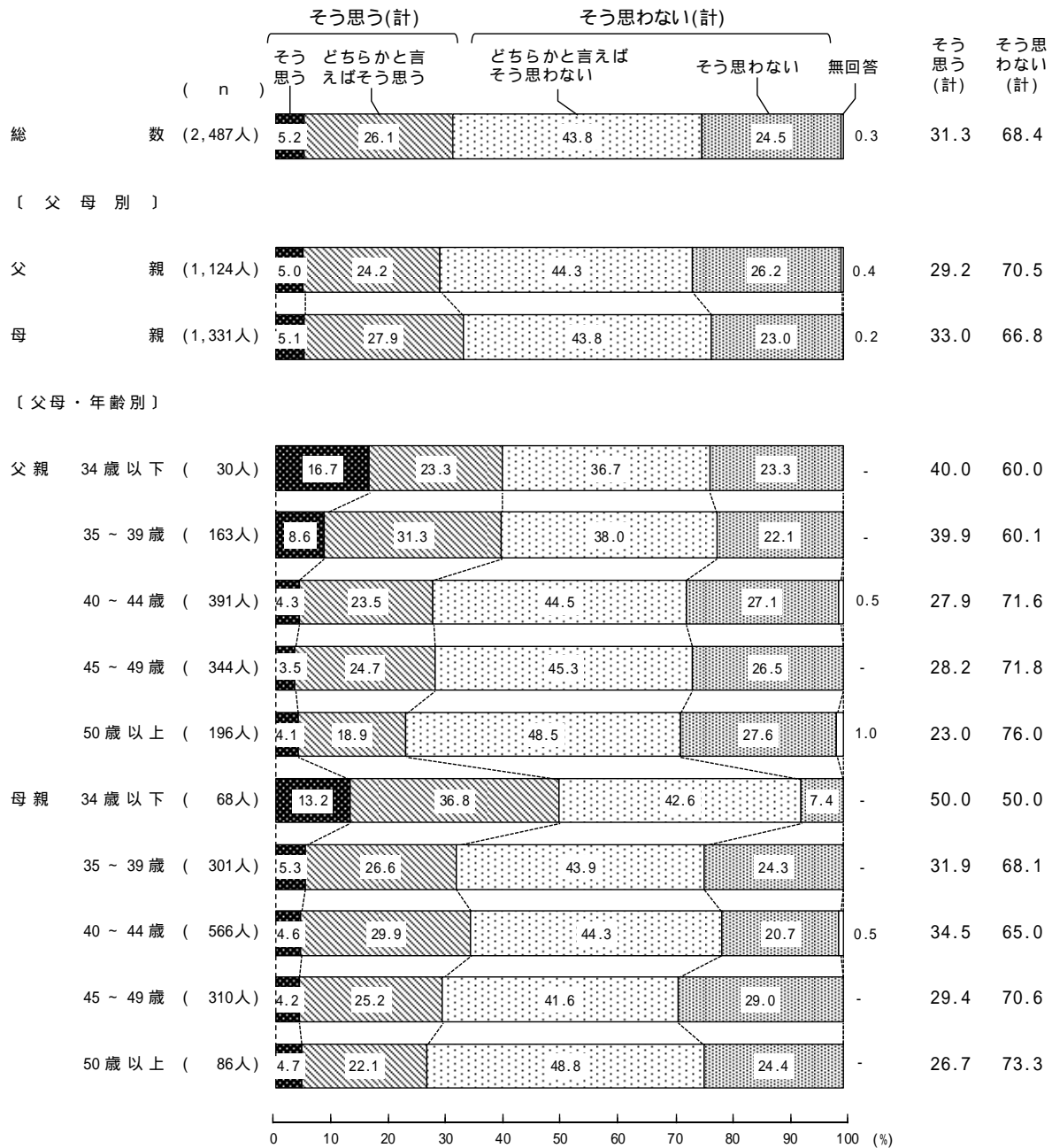
ス 将来のためにも、今、頑張りたいと思う



第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 24 性格 - (コ) 今が楽しければそれでよいと思う

(父母別, 父母・年齢別)



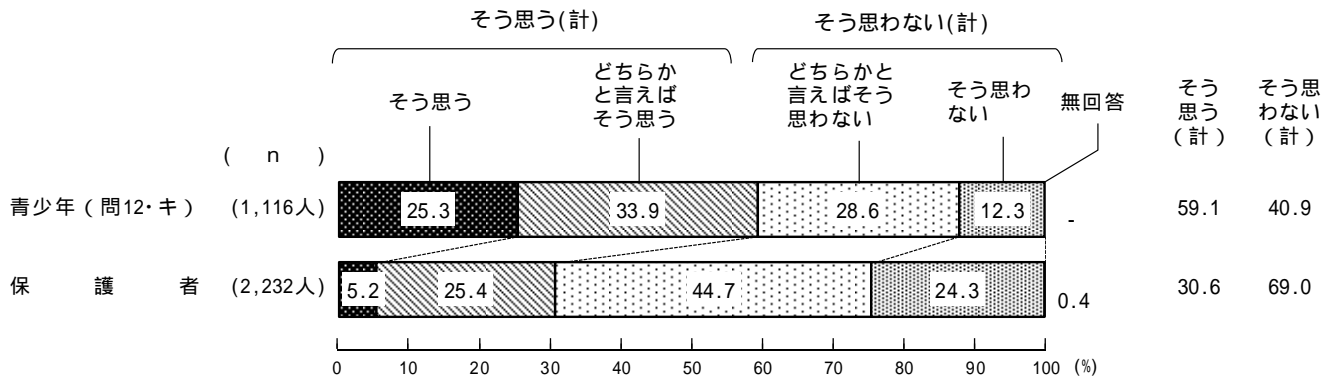
「今が楽しければそれでよいと思う」について、父母別にみると、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親で高くなっている。

父母・年齢別にみると、「そう思う(計)」とする者の割合は父親の30代後半、母親の34歳以下で、「そう思わない(計)」とする者の割合は父親の50歳以上で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 24)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 2 - 1 - 25 性格 - (コ) 今が楽しければそれでよいと思う (親子別・ペアベ - ス)



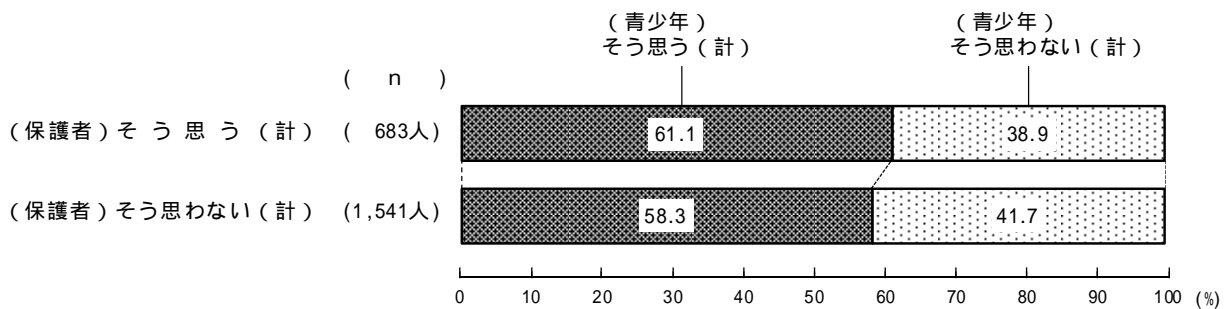
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

青少年(問12・キ)の選択肢は、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」となっている。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「そう思う(計)」「(青少年 59.1% : 保護者 30.6%)とする者の割合は保護者より青少年で、「そう思わない(計)」「(青少年 40.9% : 保護者 69.0%)とする者の割合は青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 2 - 1 - 25)

図 - 2 - 2 - 1 - 26 性格 - (コ) 今が楽しければそれでよいと思う
(「そう思う」「そう思わない」親子別・ペアベ - ス)



青少年の「そう思う(計)」を保護者の回答(計)別にみると、大きな差異は見られない。

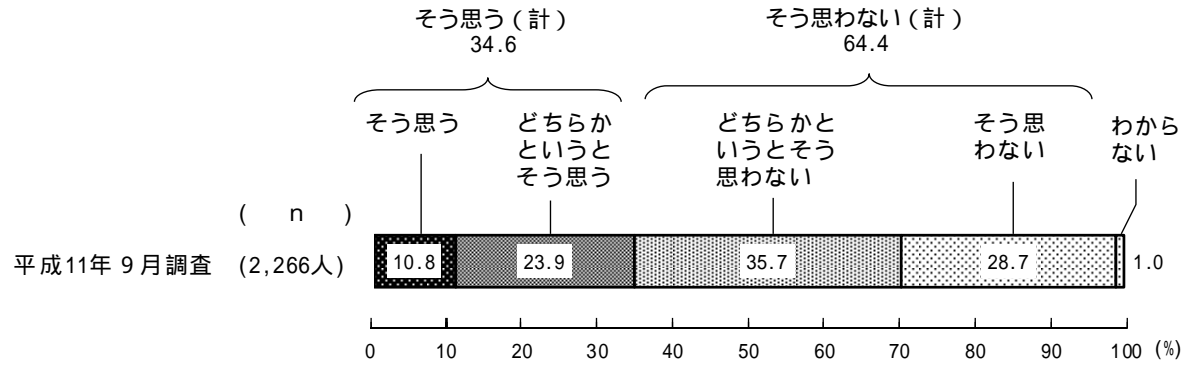
(図 - 2 - 2 - 1 - 26)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

(参考)

Q8 では、あなたは、ここにあげてあるアからセまでのことについてどう思いますか。
それぞれについて、お子さんのことではなくあなた自身のことでお答えください。

セ 今が楽しければそれでよいと思う

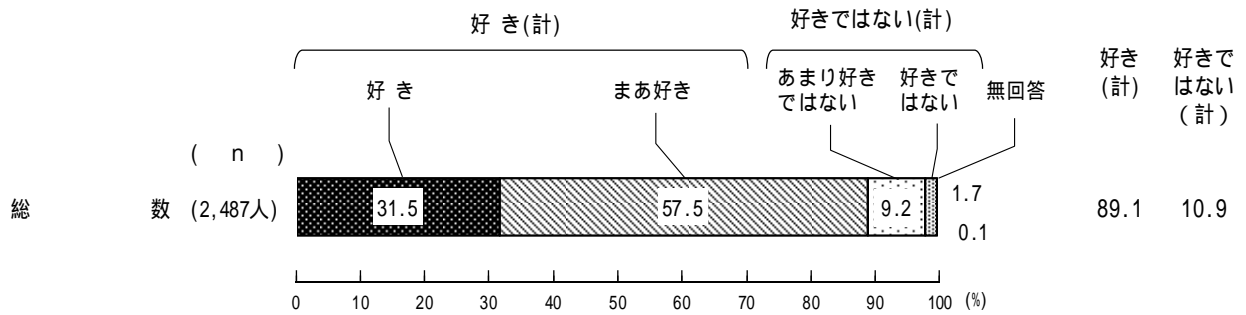


第3節 地域とのかかわり

1 今住んでいる町の評価

問15 あなたは、あなたの今住んでいる町や村が好きですか。この中から1つ選んでください。

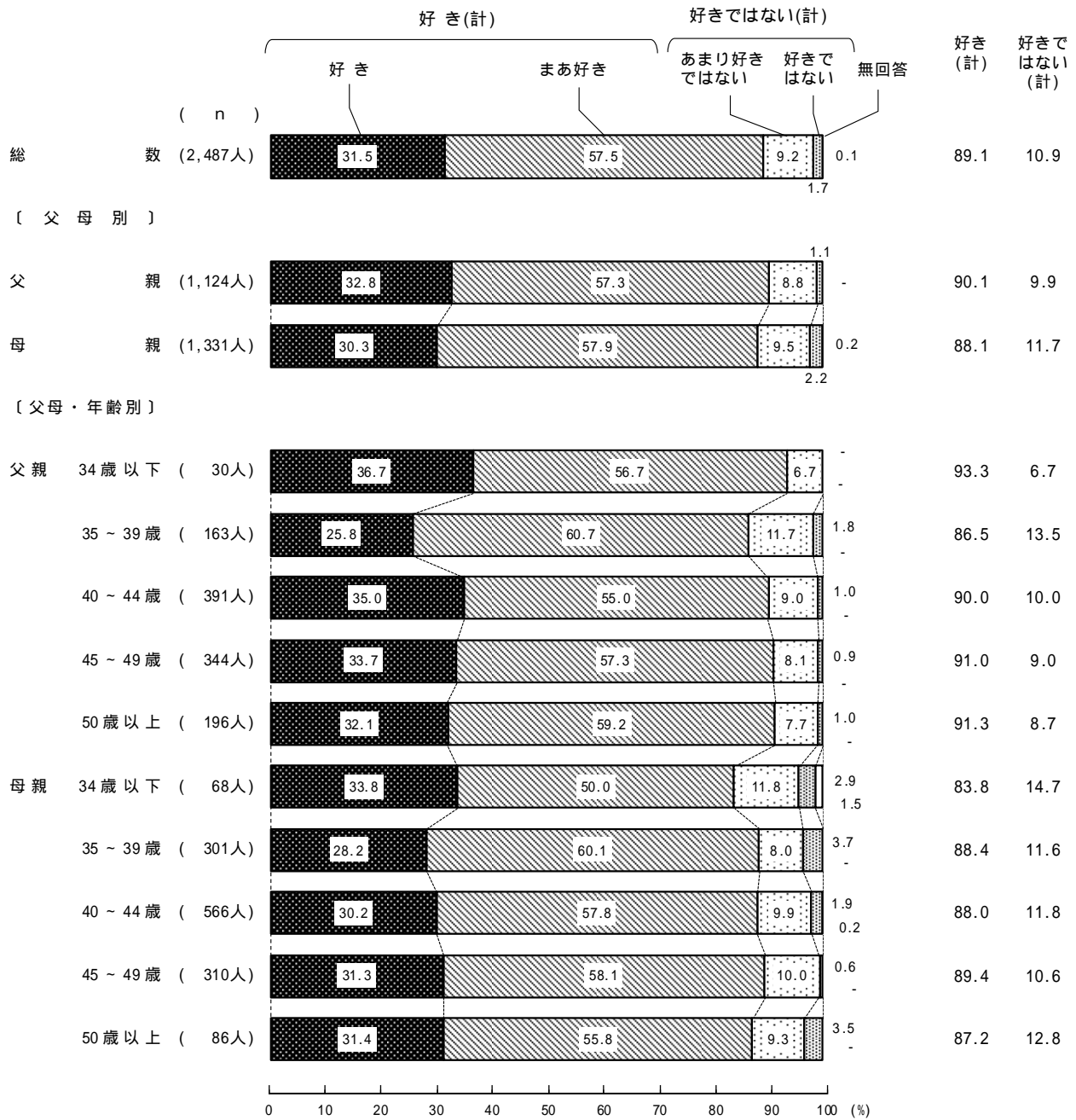
図 - 2 - 3 - 1 今住んでいる町の評価



今住んでいる町や村が好きか聞いたところ、「好き(計)」とする者の割合が89.1%（「好き」(31.5%) + 「まあ好き」(57.5%)）、「好きではない(計)」とする者の割合が10.9%（「あまり好きではない」(9.2%) + 「好きではない」(1.7%)）となっている。（図 - 2 - 3 - 1）

第2章 保護者を対象とする調査の結果

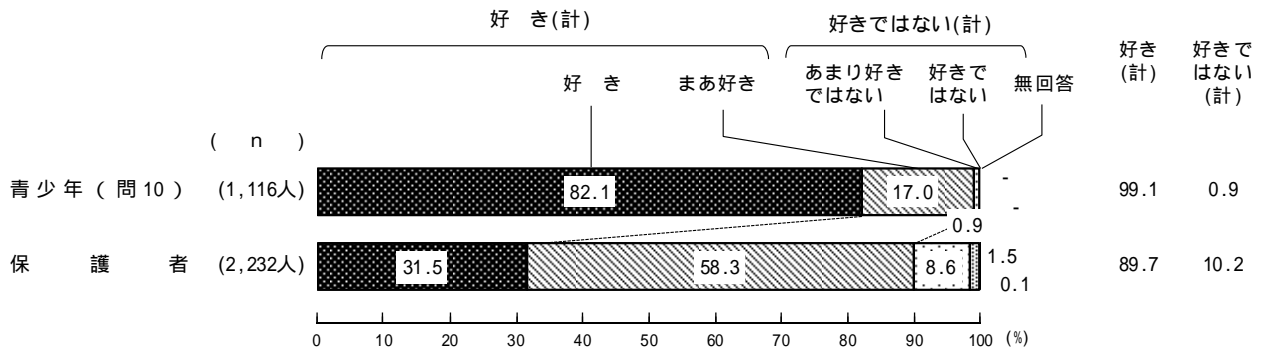
図 - 2 - 3 - 1 - 1 今住んでいる町の評価（父母別，父母・年齢別）



父母別，父母・年齢別にみると，「好き(計)」とする者の割合と，「好きではない(計)」とする者の割合では，大きな差異は見られない。(図 - 2 - 3 - 1 - 1)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 3 - 1 - 2 今住んでいる町の評価（親子別・ペアベ - ス）



(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

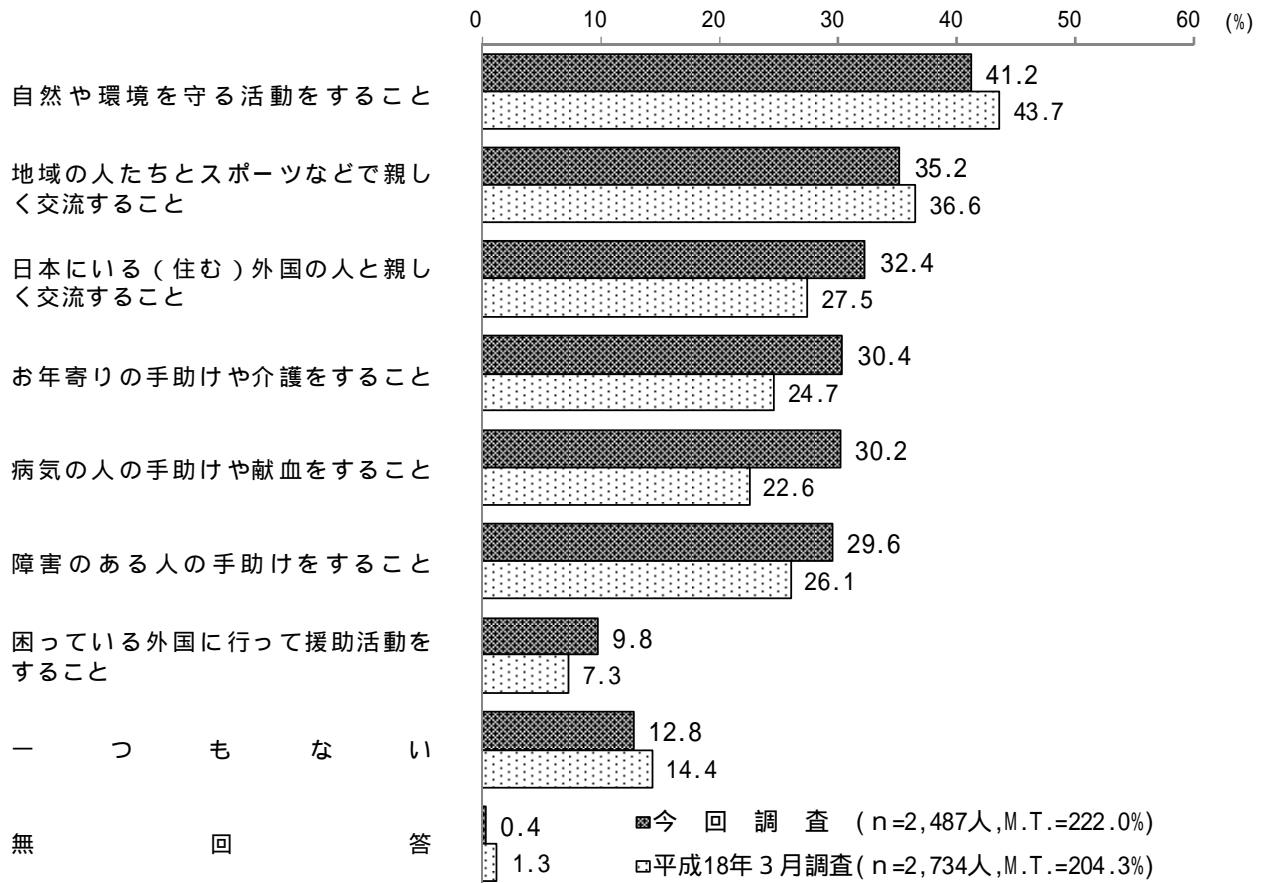
調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「好き(計)」(青少年 99.1% : 保護者 89.7%) とする者の割合は保護者より青少年で、「好きではない(計)」(青少年 0.9% : 保護者 10.2%) とする者の割合は青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 3 - 1 - 2)

2 様々な活動への参加意向

問 16 あなたは、次のような活動をやってみたいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

図 - 2 - 3 - 2 様々な活動への参加意向



様々な活動をやってみたいと思うか聞いたところ、「自然や環境を守る活動をする」を挙げた者の割合が41.2%と最も高く、以下「地域の人たちとスポーツなどで親しく交流すること」(35.2%)、「日本にいる(住む)外国の人と親しく交流すること」(32.4%)、「お年寄りの手助けや介護をする」(30.4%)、「病気のある人の手助けや献血をする」(30.2%)「障害のある人の手助けをする」(29.6%)などの順となっている(複数回答, 上位6項目)。なお、「一つもない」と答えた者の割合が12.8%となっている。

平成18年3月調査と比較してみると、「日本にいる(住む)外国の人と親しく交流すること」(27.5% → 32.4%)、「お年寄りの手助けや介護をする」(24.7% → 30.4%)、「病気のある人の手助けや献血をする」(22.6% → 30.2%)「障害のある人の手助けをする」(26.1% → 29.6%)を挙げた者の割合が上昇している。(図 - 2 - 3 - 2)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

表 - 2 - 3 - 2 様々な活動への参加意向（父母別，父母・年齢別）

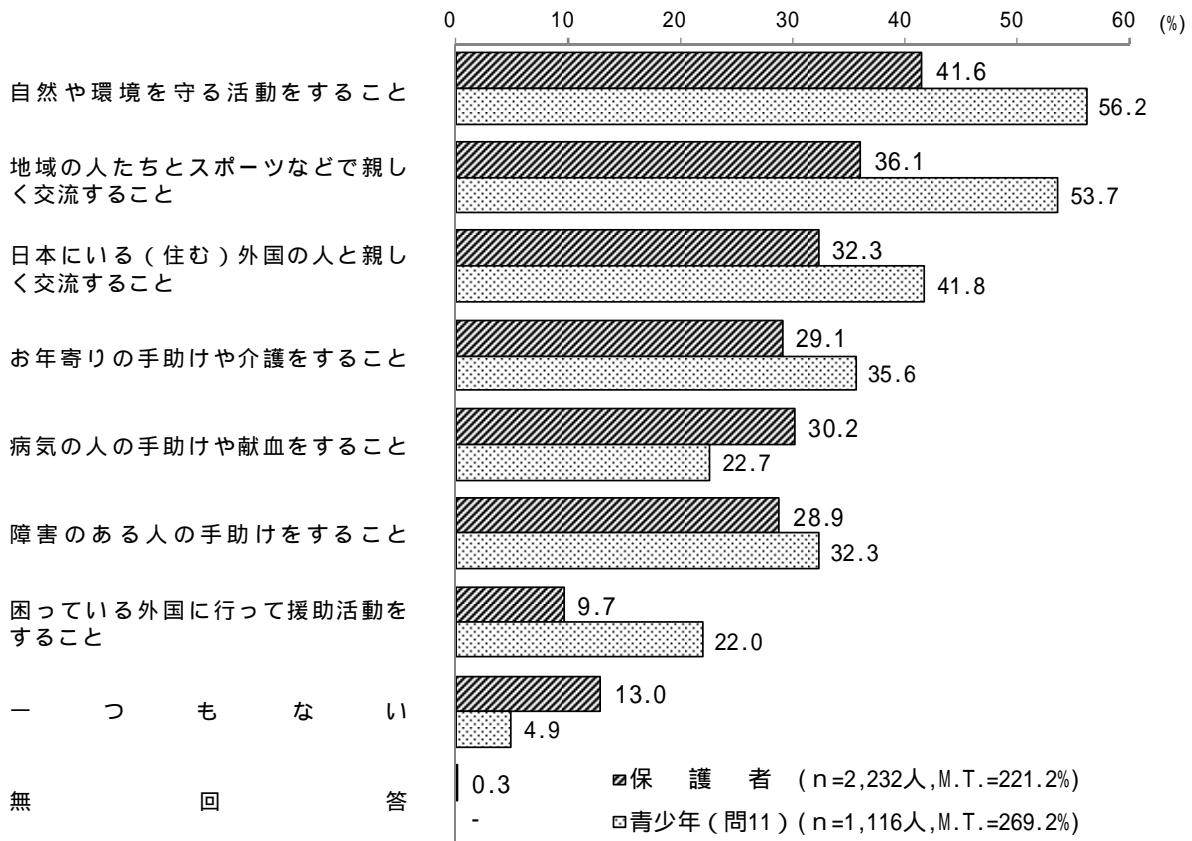
	n	自然や環境を守る活動をする	地域の人たちとスポーツなどで親しく交流すること	日本にいる（住む）外国の人と親しく交流すること	お年寄りの手助けや介護をすること	病気の人の手助けや献血をすること	障害のある人の手助けをすること	困っている外国に行つて援助活動をする	一つもない	無回答	計 (M.T.)
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	2,487	41.2	35.2	32.4	30.4	30.2	29.6	9.8	12.8	0.4	222.0
〔父母別〕											
父親	1,124	44.1	41.3	31.2	21.4	25.4	21.0	11.2	15.7	0.5	211.8
母親	1,331	39.0	30.4	34.0	38.1	34.7	37.0	8.9	9.9	0.2	232.2
〔父母・年齢別〕											
父親											
34歳以下	30	43.3	63.3	30.0	20.0	30.0	26.7	23.3	20.0	3.3	260.0
35～39歳	163	42.3	45.4	30.7	13.5	21.5	16.0	11.0	19.6	-	200.0
40～44歳	391	38.6	38.1	26.3	19.7	27.1	20.2	11.3	17.9	0.8	200.0
45～49歳	344	45.1	43.9	34.6	21.8	24.4	21.8	11.3	11.3	0.3	214.5
50歳以上	196	55.1	36.2	35.7	31.1	26.0	24.5	9.2	14.8	0.5	233.2
母親											
34歳以下	68	32.4	25.0	27.9	45.6	38.2	36.8	2.9	16.2	1.5	226.5
35～39歳	301	36.2	29.6	28.9	34.9	34.6	30.2	11.3	11.3	0.3	217.3
40～44歳	566	39.9	33.0	32.2	34.6	33.2	36.0	8.0	9.0	-	226.0
45～49歳	310	39.4	29.0	42.6	44.2	37.4	43.9	9.0	8.7	0.3	254.5
50歳以上	86	46.5	25.6	37.2	44.2	32.6	43.0	10.5	10.5	-	250.0

父母別にみると、「自然や環境を守る活動をすること」、「地域の人たちとスポーツなどで親しく交流すること」を挙げた者の割合は父親で、「お年寄りの手助けや介護をすること」、「病気の人の手助けや献血をすること」、「障害のある人の手助けをすること」を挙げた者の割合は母親で、それぞれ高くなっている。

父母・年齢別にみると、「自然や環境を守る活動をすること」を挙げた者の割合は父親の50歳以上で、「地域の人たちとスポーツなどで親しく交流すること」を挙げた者の割合は父親の30代後半、40代後半で、「日本にいる（住む）外国の人と親しく交流すること」を挙げた者の割合は母親の40代後半で、「お年寄りの手助けや介護をすること」を挙げた者の割合は母親の34歳以下、40代以上で、「病気の人の手助けや献血をすること」を挙げた者の割合は母親の40代後半で、「障害のある人の手助けをすること」を挙げた者の割合は女性の40代以上で、それぞれ高くなっている。（表 - 2 - 3 - 2）

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 3 - 2 - 1 様々な活動への参加意向（親子別・ペアベ - ス）



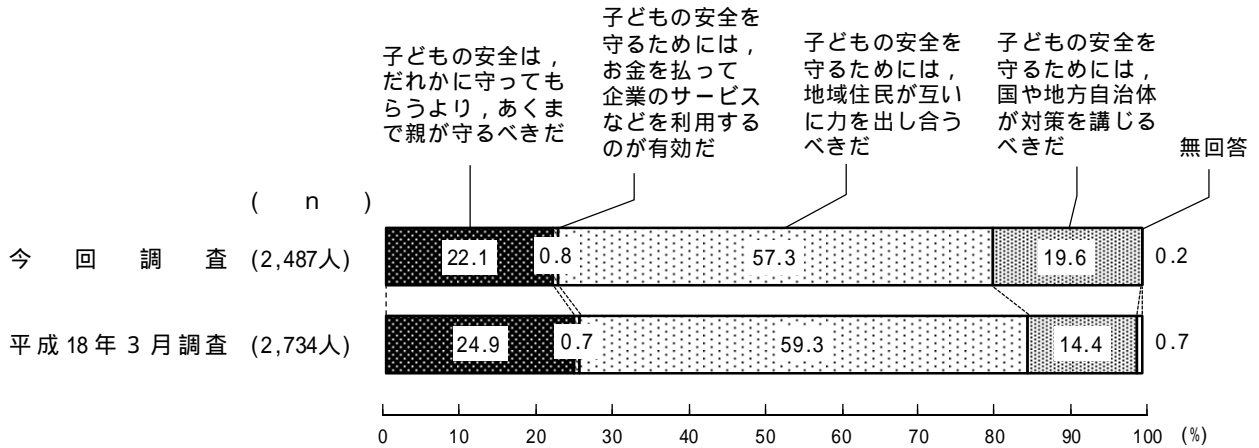
(注) 青少年の調査方法は個別面接聴取法、保護者の調査方法は訪問留置・郵送回収法である。

調査方法の違いはあるものの、青少年と保護者の調査結果を比較してみると、「自然や環境を守る活動をする事」(青少年 56.2% : 保護者 41.6%)、「地域の人たちとスポーツなどで親しく交流する事」(青少年 53.7% : 保護者 36.1%)、「日本にいる(住む)外国の人と親しく交流する事」(青少年 41.8% : 保護者 32.3%)、「お年寄りの手助けや介護をする事」(青少年 35.6% : 保護者 29.1%)、「障害のある人の手助けをする事」(青少年 32.3% : 保護者 28.9%)を挙げた者の割合は、保護者より青少年で、「病気の手助けや献血をする事」(青少年 22.7% : 保護者 30.2%)を挙げた者の割合は、青少年より保護者で、それぞれ高くなっている。なお、「一つもない」(青少年 4.9% : 保護者 13.0%)と答えた者の割合は、青少年より保護者で高くなっている。(図 - 2 - 3 - 2 - 1)

3 子供の安全，安心な子育てに大切なこと

問 17 子供の安全を守り，安心して育てていくためには何が大切でしょうか。
この中から，あなたの考えにいちばん近いものを1つだけ選んでください。

図 - 2 - 3 - 3 子供の安全，安心な子育てに大切なこと



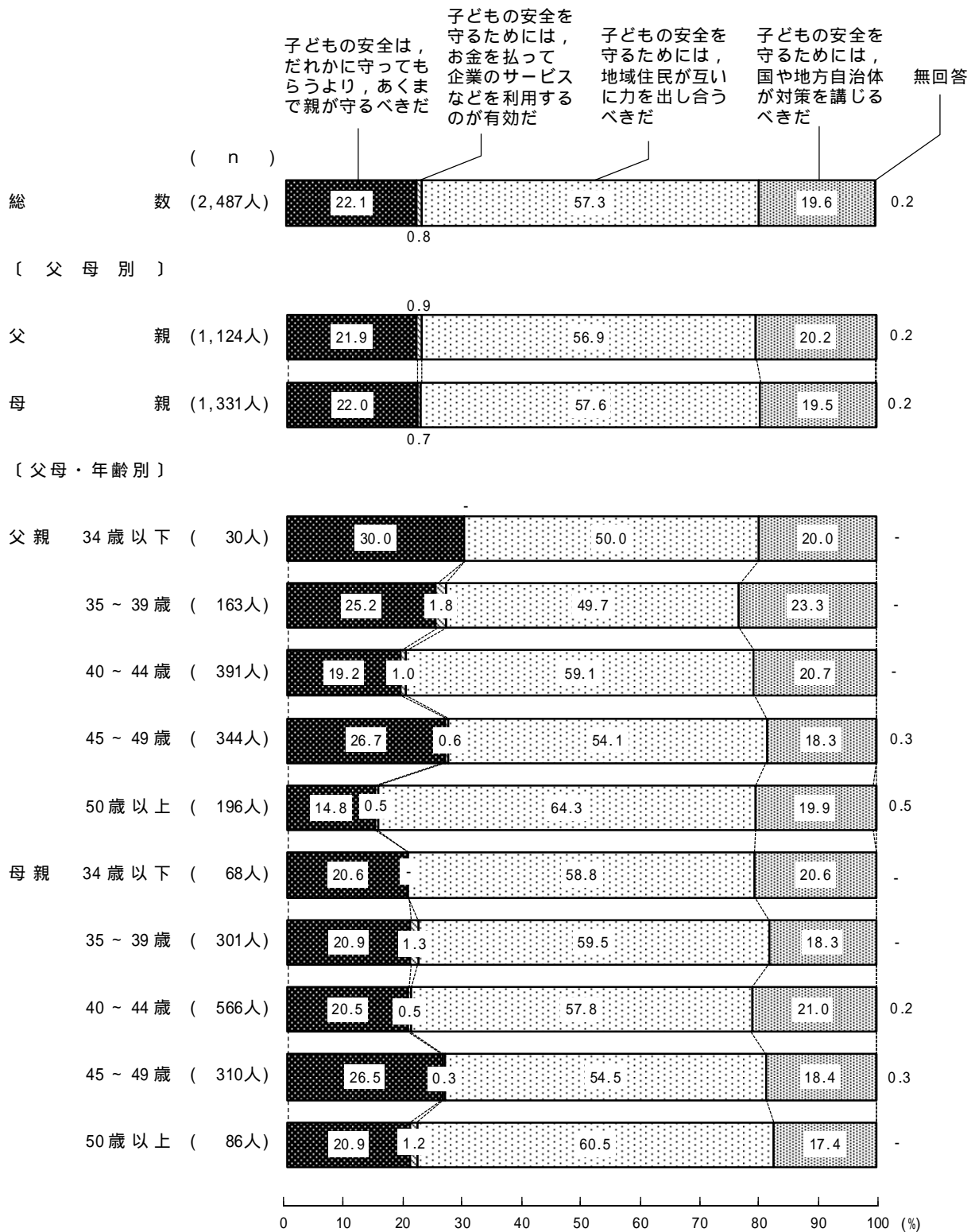
子供の安全を守り，安心して育てていくために何が大切か聞いたところ，「子供の安全は，だれかに守ってもらうより，あくまで親が守るべきだ」と答えた者の割合が22.1%，「子供の安全を守るためには，お金を払って企業のサービスなどを利用するのが有効だ」と答えた者の割合が0.8%，「子供の安全を守るためには 地域住民が互いに力を出し合うべきだ」と答えた者の割合が57.3%，「子供の安全を守るためには，国や地方自治体が対策を講じるべきだ」と答えた者の割合が19.6%となっている。

平成18年3月調査と比較してみると，「子供の安全は，だれかに守ってもらうより，あくまで親が守るべきだ」と答えた者の割合が低下（24.9% 22.1%）し，「子供の安全を守るためには，国や地方自治体が対策を講じるべきだ」と答えた者の割合が上昇（14.4 19.6%）している。

(図 - 2 - 3 - 3)

第2章 保護者を対象とする調査の結果

図 - 2 - 3 - 3 - 1 子供の安全，安心な子育てに大切なこと（父母別，父母・年齢別）



父母別にみると，大きな差異は見られない。

父母・年齢別にみると，「子どもの安全は，だれかに守ってもらうより，あくまで親が守るべきだ」と答えた者の割合は父親，母親ともに 40 代後半で，「子どもの安全を守るためには，地域住民が互いに力を出し合うべきだ」と答えた者の割合は父親の 50 歳以上で，それぞれ高くなっている。

(図 - 2 - 3 - 3 - 1)